

# 平成29年度 第1回文京区アカデミー推進本部 次第

(日時)平成29年5月24日(水)午前9時30分～  
(会場)庁議室

## 1 開 会

## 2 議 事

(1) 文京区アカデミー推進計画の進行管理について

(2) 文京区アカデミー推進計画の実施状況調査結果について

(3) その他

## 3 閉 会

### 【配付資料】

資料1 アカデミー推進計画の進行管理について (案)

資料2 平成29年度アカデミー推進計画進行管理・評価スケジュール

資料3 文京区アカデミー推進事業調査結果

参考資料1 文京区アカデミー推進本部 構成員名簿

参考資料2 文京区アカデミー推進本部設置要綱

平成 29 年 5 月 24 日  
アカデミー推進課

## アカデミー推進計画の進行管理について(案)

### 1 概要

平成 28 年 3 月に策定した「アカデミー推進計画」について、平成 29 年度より、毎年、前年度に実施した事業の実施状況について点検・評価を行う。

具体的な点検・評価の方法は、年度ごとに取り組みの進捗状況を担当課が行う自己評価について、アカデミー推進協議会からのご意見をいただくこととする。

それらの意見等は、担当課において、次年度に向けた既存事業の見直しや新規事業の検討など、今後の事業運営の参考とする。

### 2 協議会の構成について

別紙(案)のとおり、16 名の委員で構成する。

### 3 今後のスケジュール

平成 29 年

5 月 24 日	アカデミー推進本部
5 月 31 日	第 1 回アカデミー推進協議会 全体会：協議会について進行等説明
6 月上～下旬	分科会：分野ごとに別れて評価（1～2 回）
7 月 19 日	第 2 回アカデミー推進協議会 全体会：総合評価
7 月下旬	アカデミー推進本部
9 月	議会報告「アカデミー推進計画の進捗状況について」

## 文京区アカデミー推進協議会委員名簿（平成29年度）(案)

29.5.18現在

	分野	氏名	団体名・役職等
1	学識経験者	水越 伸 ミズコシ シン	東京大学大学院情報学環教授
2	学識経験者	久松 佳彰 ヒサマツ ヨシアキ	東洋大学国際学部国際地域学科教授
3	学識経験者	田中 雅文 タカナカ マサフミ	日本女子大学人間社会学部教育学科教授
4	生涯学習関係団体	増田 純 マサダ ジュン	文京アカデミア講座選定委員会 前期委員会 委員長
5	生涯学習関係団体	塩見 美奈子 シホミ ミコ	文京区生涯学習サークル連絡会 代表
6	スポーツ団体	井上 充代 イノウエ ミツヨ	文京区スポーツ推進委員会 副会長
7	スポーツ団体	奥村 透 おくむら とう	文京区体育協会 副理事長
8	文化・芸術団体	高澤 芳郎 たかざわ よしろう	シエナ・ウインド・オーケストラ 事務局長
9	文化・芸術団体	牧野 植良 まきの ちか	公益社団法人 宝生会 事務局長
10	観光団体	白井 圭子 しらい けいこ	文京区観光協会 副会長
11	観光団体	荒木 時雄 あらかみ ときお	公益財団法人 東京観光財団 常務理事
12	国際交流団体	佃 吉一 つくだ きちいち	公益財団法人 アジア学生文化協会 常務理事
13	区民	選考中	区民公募委員
14	区民	選考中	区民公募委員
15	区民	選考中	区民公募委員
16	区民	選考中	区民公募委員

## 平成29年度アカデミー推進計画進行管理・評価スケジュール

年月	アカデミー推進本部			アカデミー推進協議会		議会
	事務局	幹事会	本部	協議会	分科会	
4月	○28進行管理の実施 ○各部依頼(20日×切) ・28「実施状況調査」 ・309事業 ○調査結果集計	○第1回幹事会開催通知				
5月		○第1回幹事会(5/8) ・計画の進行管理について ・実施状況調査結果について	○第1回本部開催通知  ○第1回本部(5/24) ・計画の進行管理について ・実施状況調査結果について	○第1回協議会開催通知  ○第1回協議会(5/31) ・計画の進行管理について ・実施状況調査結果について		
6月					○5分野3分科会開催(1~2回) ・事業の実施状況の点検及び評価	
7月		○第2回幹事会(7月中旬) ・計画の進行状況について	○第2回本部開催通知  ○第2回本部(7月下旬) ・計画の進行状況について	○第2回協議会(7/19) ・事業の実施状況の点検及び評価について(まとめ)		
8月						
9月						○報告・9月定例 ・計画の進行状況について

# 文京区アカデミー推進事業調査結果

—平成 29 年 5 月—

【凡例】

表中の「目標1」～「目標4」については、「文京区アカデミー推進計画」のもと、5つの分野を通じて実現する共通目標を設定しています。ひとつは、「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、交流するための環境形成であり、もうひとつは、その環境を活かす人づくりです。さらに、人と人とのつながりを生み出し、コミュニティを形成しながら、そこでの交流と学び合いを通じて価値をともに生み出していくこと（協創）を目指します。

4つの共通目標について、各事業が、「目標1」～「目標4」のいずれかに該当する場合には「レ」点でのチェックをしています。

「目標1」・・・環境形成：充実した時間を過ごせる環境形成

「目標2」・・・人づくり：豊かな暮らしを支える人材育成

「目標3」・・・つながりの構築：活動を通じた多様なつながりの構築

「目標4」・・・価値の協創：資源を活かした新たな価値の創造

【参考】

分野	分野別目標	事業総数	目標1	目標2	目標3	目標4
1 生涯学習	1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実	90	76	41	53	15
	2 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実	41	18	28	30	10
	3 学びの継続を通じたまちづくり	39	17	21	35	17
小計		170	111	90	118	42
2 スポーツ	1 スポーツを身近に感じる機会の拡充	12	4	8	8	2
	2 いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツの活動の促進	24	8	12	14	1
	3 スポーツの活動を支える環境の整備	16	5	8	9	2
	4 スポーツを通じた仲間づくりと交流	3	1	2	2	1
小計		55	18	30	33	6
3 文化芸術	1 だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり	11	11	2	4	5
	2 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援	10	3	10	2	3
	3 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり	27	22	12	8	18
小計		48	36	24	14	26
4 観光	1 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出	15	13	8	13	12
	2 情報の収集・活用による来訪の促進	6	5	2	4	4
	3 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり	7	4	4	4	5
小計		28	22	14	21	21
5 国際交流	1 国際社会を育む機会づくり	8	2	3	5	5
	2 外国人が快適に過ごせる環境づくり	9	9	4	3	2
小計		17	11	7	8	7
5分野の合計		318	198	165	194	102

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
							1	2	3	4			
1 生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (1) 多様な講座や学習機会の提供・充実													
1	1-1-1(1)	18	161	文京アカデミア講座	区民の学習を支援するため、地域、文学、歴史・社会、自然科学、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなど、バラエティに富んだ講座を提供します。	【平成18年度～】 ・文京アカデミア講座 77講座 (受講者2,395人 定員2,243人 応募者3,521人) [民間教育機関企画講座23講座、大学キャンパス講座34講座、自主企画講座20講座] [分野別:地域5講座、文学10講座、歴史・社会14講座、自然科学4講座、芸術16講座、くらし19講座、健康・スポーツ5講座、語学4講座] ・外国人おもてなし英会話講座 5講座 (受講者99人 定員100人 応募者461人) ・魚のおろし方教室 3講座 (受講者48人 定員48人 応募者284人) ・パソコン講座 5講座10コース (受講者283人 定員300人 応募者458人) ・夏休み子どもアカデミア講座 14講座 (受講者437人 定員425人 応募者1,170人)	✓	-	✓	-	・年間を通して、バラエティに富んだ講座を提供することができました。 ・アカデミアサポーターの協力により、スムーズな講座運営ができました。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
2	1-1-1(1)	18		文京いきいきアカデミア講座	高齢者を対象とした2年制講座。1年次は教養課程で共通科目を履修し、2年次の専門課程に進みます。専門課程は、共通科目と選択科目を受講し、所定の受講回数(単位)をもって卒業認定とします。	【平成19年度～】 ・文京いきいきアカデミア(第5期2年次)【専門課程】 (受講者55人 定員60人 修了者47人)	✓	-	-	-	・2年制なので、受講者募集は隔年になります。 ・単位取得ができず、進級・卒業できない方が増える傾向にあります。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
3	1-1-1(1)	18	160	企業等連携講座(メセナ講演会)	企業等が社会貢献活動の一環として実施するビジネスやマネジメントをはじめとした多様な講座の企画・提案を募り、協力・連携して講座(講演会)を開催します。	・メセナ講演会 1講座(2月) (受講者50人 定員70人 応募者65人)	✓	-	✓	-	・バラエティに富んだ講座を提供できました。 ・講座を提供いただけるよう、企業等への周知や働きかけが必要です。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
4	1-1-1(1)	18	160	大学プロデュース特別公開講座(学長講演会)	大学の持つ高度で専門的な学習機能や人材を活用した事業として、大学プロデュース特別公開講座(大学学長の講演会)を実施します。	【平成6年度～】 ・学長講演会(大学学長(総長)による講演会) 2講座(7月・2月) (受講者254人 定員470人 応募者360人)	✓	-	✓	-	・大学が数多くある文京区の特長を活かした事業です。 ・受講者を増やすための広報が課題です。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
5	1-1-1(1)			資格取得キャリアアップ講座	区民の資格取得やキャリアアップを支援するため、区内大学と連携し、大学で開講する講座を区民が受講する際に一部補助を行い、区民の資格取得やキャリアアップを支援します。	・7講座(受講者25人 定員70人) (日本女子大学7講座)	✓	-	✓	-	・大学との連携ができていない文京区ならではの取り組みです。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
6	1-1-1(1) 3-3-1(1)		161	地域に関する講座	文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミアの中で地域に関する講座を実施し、文京区の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供します。	・文京アカデミア講座 5講座 (受講者148人 定員155人 応募者260人) ・文京いきいきアカデミア講座 5講座 (受講者55人)	✓	-	-	✓	・学習支援者等の協力もあり、地域に関する講座を提供できました。 ・何を地域学のテーマにするか、リサーチが必要です。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
7	1-1-1(1) 5-1-1(3)	70	161	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。	・文京アカデミア講座 21講座 [語学4講座、外国文化・歴史12講座、外国人おもてなし英会話5講座] (受講者569人 定員590人 応募者1,098人)	✓	-	✓	-	・様々な講座を提供することができました。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
8	1-1-1(1) 2-3-1(4) 3-1-1(3) 4-2-1(3) 5-1-1(3)			CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「文の京ウイークリーニュース」「くらしの情報室」「B☆Happy」「ぶんきょう浪漫紀行」「プレミアムステージ」「文京インフォメーション」ほか	✓	✓	✓	-	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。ただし、より広く視聴していただく取組が必要となっています。	広報課	CATV担当・2126
9	1-1-1(1) 2-3-1(4) 3-1-1(3) 4-2-1(3) 5-1-1(3)			区報の発行	区報による生涯学習関連情報の提供	4月10日～7月25日 123,000部 8回 8月10日～12月25日 123,500部 10回 1月25日～3月25日 124,000部 5回 計年23回 1月1日号 107,200部 年1回 平成28年度実績見込み	✓	✓	✓	-	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報課	広報担当・内線2121
10	1-1-1(1) 2-3-1(4) 3-1-1(3) 4-2-1(3) 5-1-1(3)	44 60 70		ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等による生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報の発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター、パブリシティ等で発信	✓	✓	✓	-	インターネット・SNS・各種メディアに掲載することにより、広く区民に周知をすることができます。	広報課	報道・ホームページ担当・2123
11	1-1-1(1) 2-3-1(4) 3-1-1(3) 4-2-1(3)			生活情報誌の発行	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供	✓	✓	✓	-	区内全世帯に配付することにより、広く区民に周知をすることができます。	広報課	広報担当・内線2121
12	1-1-1(1) 2-3-1(4) 3-1-1(3) 4-2-1(3) 5-2-1(2)			外国語生活情報誌の発行	外国語版生活便利帳の発行(4か国語併記 日本語・英語・ハンガール・中国語)	外国語版生活便利帳の発行(4か国語併記 日本語・英語・ハンガール・中国語) [平成28年度発行 7,000部]	✓	✓	✓	-	外国人住民にもイベント等を周知することができます。ただし、翻訳内容の確認方法については検討する必要があります。	広報課	広報担当・内線2121

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
13	1-1-(1)			生活技術を身につける学習機会の充実	豊かに安全で生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実する。	避難所総合訓練【1,327人】 防災フェスタ【1,881人】 地域防災訓練【12,858人】 防災コンクール【827人】 避難所運営訓練【1,705人】	✓	✓	✓	✓	・さまざま訓練を通じて、区民や区内事業所等へ防災意識の普及や知識の向上を図ることができた。 ・訓練等へ参加していない区民等への普及啓発が課題である。	防災課	訓練担当 内線: 2548・2554
14	1-1-(1)			職業に関する学習機会の充実	経営者や従業員が必要としている知識・技術の習得を図るため研修や講演会等を開催する。	中小企業向けセミナー 17回 中小企業向け講演会 3回	-	✓	✓	-	経営者や従業員が必要な知識・技術を学ぶ機会を提供できた。	経済課	産業振興係・内 線2452
15	1-1-(1)			職業に関する学習機会の充実	区内で創業を目指す人に対し、実践的な技術、理念を学ぶ機会を提供する。	創業支援セミナー入門編 創業支援セミナー実践編(全5回) 創業支援セミナーひとり起業編(全5回)	-	✓	✓	-	創業に必要な知識等を学ぶ機会を提供できた。	経済課	産業振興係・内 線2452
16	1-1-(1)			生活技術を身につける学習機会の充実	安全で豊かに生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実する。	消費生活研修会10回、携帯電話教室2回 消費生活展1回 出前講座43回	✓	✓	✓	-	安全で豊かに生活するための技術を身につけることのできる学習機会を提供できた。 予算上の制約により人数・回数に制限がある。	経済課(消費生 活センター)	消費生活セン ター内2460
17	1-1-(1)			生活技術を身につける学習機会の充実	子どもの生活技術向上を高める学習機会を提供する。	子ども向け研修会2回 子ども向け出前講座16回 幼児向け消費者教育2回	✓	✓	-	✓	子どもの生活技術向上を高める学習機会を提供できた。 予算上の制約により人数・回数に制限がある。	経済課(消費生 活センター)	消費生活セン ター内2460
18	1-1-(1)			幼児・児童・生徒を対象とした事業の充実	遊びを通じた学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会となる。幼児・児童・生徒を対象とした事業を提供する。	児童館行事各種(リトミック、遠足、卓球、リズムダンス、サッカー教室、ドッジボール大会、運動会、手芸教室、キッズバレエ、ベビーマッサージ、ベビーヨガ、季節行事、伝承遊び等)	✓	-	✓	-	遊びを通じた学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会となる。幼児・児童・生徒を対象とした事業を提供した。	児童青少年課	児童係・内線 7031
19	1-1-(1)			男女平等参画社会の実現に向けた学習機会の充実	男女平等参画社会の実現に向けた学習機会を提供する。	ダイバーシティ推進担当 ・男女平等参画セミナー 女性再就職セミナー&相談会 1回(4月27日 参加者 64人) ・カラーリボンフェスタ 1回(11月6日から3日間 661人) ・男性向け料理教室 1回(7月3日 20人) ・国際女性デーイベント 1回(3月7日 300人) ・グローバル推進事業 3回(11、1、2月) 男女平等センター事業 ・男女共同参画週間記念シンポジウム 1回(6月25日 参加者50人 定員150人) ・男女平等センター講演会 1回(3月11日 参加者91人 定員150人) ・配偶者暴力の防止等啓発講演会 1回(11月26日 参加者13人 定員100人) ・プラスワンセミナー 6回(①6月11日 参加者19人 ②7月30日 参加者50人 ③9月24日 参加者19人 ④11月12日 参加者30人 ⑤2月9日 参加者25人 ⑥3月12日 参加者22人 定員各30人) ・未来の女性科学者育成事業 2回(①7月24日 参加者10人 ②11月27日 参加者11人 定員各20人) ・父と子の料理教室 2回(①8月6日 参加者24人 ②8月7日 参加者24人 定員各24人) ・保活プロジェクト 1回(9月5~11日 参加者430人) ・区政を知る懇談会 2回(①9月8日 参加者14人 ②2月3日 参加者18人 定員30人) ・裁判ウォッチング 1回(9月12日 参加者30人 定員30人) ・利用者懇談会 2回(①7月15日 参加者29人 ②11月15日 参加者35人) ・男女平等センター30周年記念トーク&コンサート 1回(6月4日 参加者304人 定員300人)	✓	✓	✓	-	・男女平等センター事業は、指定管理者が実施 ・女性だけでなく男性向けのイベントを開催し、幅広い年齢層に対し学習機会を提供することができた。 ・イベント時には、成功体験だけでなく失敗体験も紹介する等、わかりやすく知ってもらえるイベントを目指していく。 ・固定的な性別役割分担意識は若い世代や女性を中心に変革が進んでいるものの、政策や方針の決定の参加、慣行や社会の様々な分野での不平等感はいまだに残っている。継続的に学習の機会を設けていく。また、男性の参加を増やすことを目指していく。	総務課	ダイバーシティ推 進担当・ 内線2261
20	1-1-(1)			自転車実技講習会	自転車の利用・点検や整備について理解を深め、交通のきまり、約束等を守って安全な乗車ができるようにする。	【平成28年度】 2回講習会開催 136人自転車運転免許証発行	✓	-	-	-	警察及び学校等の関係機関と連携し、小学校3~4年生を中心に自転車の安全な乗り方・交通ルールを習得させることにより、交通事故の減少につなげている。	管理課	交通安全係・内 線3008
21	1-1-(1)			園芸教室	みどりに関する知識の普及を目指すため、季節の花や樹木を用いた園芸教室を開催している。	【平成28年度】 園芸家の先生を講師に招き「はじめての寄せ植え教室」を開催	✓	✓	✓	✓	・参加者は楽しみながら作業を行い、自分だけの作品を完成させた。 ・完成後の管理についても、興味深く耳を傾けていた。	みどり公園課	緑化係・内線 3057
22	1-1-(1)			自然散策会	自然の植物と親しみ、緑に対する関心を深めるとともに、自然保護に対する意識の高揚を図るため、自然散策会を開催している。	【平成28年度】 秋(11月)東京大学本郷キャンパスにて開催春(3月)六義園にて開催	✓	✓	✓	✓	・自然に触れながら樹種の特徴や性質、由来などについて、講師の説明を受けながら散策を行っている。毎年、好評により回数を増やしていく予定である。	みどり公園課	緑化係・内線 3057
23	1-1-(1)			植物講演会	みどりに関する知識の普及及び啓発を行うため、小学生を対象とした講演会を開催している。	【平成28年度】 小学校3年生から6年生とその保護者を対象に実施	✓	✓	✓	✓	・植物について感心を持ってもらうことにより、みどりを大切に、守る心を育てていく。	みどり公園課	緑化係・内線 3057



【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
24	1-1-(1) 1-2-(1)			文京ecoカレッジ公開講座	区内で活動しているリサイクル団体の企画による公開講座を一般区民向けに行っている。	【平成12年度～】平成28年12月5日アカデミー向丘で実施。定員35名、応募者35名、参加者28名で、参加者の内リサイクルイン文京の会員が13名。	✓	✓	✓	-	・講師による調理デモンストレーションを通して、参加者の生ごみ減量に対する理解を深めることができた。 ・今後も安定した参加者数の確保をし、3Rの推進・啓発を進めるために、参加者の興味を引きやすいテーマを選択して講座を実施することが求められる。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2191
25	1-1-(1)			文京ecoカレッジ モノ・フォーラム	モノ・プランの推進を目指しごみ減量への区民向けの普及啓発の一環として年1回フォーラムを開催している。	平成29年2月9日にシビックホール会議室で実施した。定員40名、応募者23名、参加者20名。	✓	✓	✓	-	・「食品ロス」をテーマにグラフデータ等を用いた食品廃棄物量や賞味期限・消費期限の違いのほか、家庭でできる食品ロス削減のための取組を紹介してごみ減量のための推進・啓発を図った。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2192
26	1-1-(1)			家庭教育講座	家庭における教育力の向上のため、講座・講演会を開催する。	・家庭教育に関心のある方を対象に、講座9回、座談会1回実施した。 ・実施場所はシビックセンター地下1階、レクリエーションホール ①6月10日(102人) ②7月12日(95人) ③8月18日(親15人、子ども7人) ④9月12日(44人) ⑤10月17日(66人) ⑥11月15日(20人) ⑦12月13日(17人) ⑧1月10日(38人) ⑨2月14日(25人)	✓	-	✓	-	・保護者が抱える子育ての不安や悩みの解消の場となっている。 ・親子参加型の形式は好評だったが、より多くの方に参加してもらうために実施時期について検討する必要がある。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607
27	1-1-(1)			家庭教育講座「今だからこそ考えたい放射能—事故から三年半・測定の現場から—」	①東京大学大学院教育学研究科有志のコーディネートにより、放射性物質の特徴や正しい放射線量の測定方法等について、専門家の話を伺う。 ②東京大学大学院教育学研究科有志のコーディネートにより、被曝による健康問題等について、専門家の話を伺う。	第4回、第8回家庭教育講座内で実施。 ①「放射線との向き合い方：測定の現場から考える」 実施日：9月12日 参加人数：44人 ②「データから見た放射線の健康影響」 実施日：1月10日 参加人数：38人	✓	-	-	-	・放射能についての問題は、保護者関心も高く、好評である。 ・28年度は、放射能に関する講座を2回実施したが、今後同様のテーマでの講座実施回数についても検討する必要がある。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607
28	1-1-(1) 2-3-(4)			健康・体力づくりのための事業の充実	区民の健康・体力づくりを支援するため、広く区民を対象にした講演会等を行う。	開放期間：4月中旬～11月3日まで 区民利用実績：延べ648名 (平成27年実績 延べ636名)	✓	-	-	-	利用者のロコミ等により、利用者数は微増の傾向にある。一方、利用者が固定されている傾向にあるため、広報活動に工夫が必要である。	学務課	学校保健担当・内線3529
29	1-1-(1) 1-3-(2)			地域行事への学校の参加の促進	地域の様々な催しに学校が積極的に参加し、地域と学校の連携を図る。	各幼稚園・小学校・中学校において、地域のイベント等に幼児・児童・生徒が参加	-	✓	✓	-	・交流のよい機会となっている。 ・交流の機会を日常的なふれあいにしていくことが課題である。	教育指導課	教育指導課内線3541
30	1-1-(1)			科学教育事業の充実	児童・生徒等に対し、地域で交流したり、学習する機会を充実する。	幼児・児童・生徒・保護者を対象とした6講座を全52回実施し、計1699名が参加し、学習活動を行った。	-	✓	✓	-	幼児から小学生の参加が多く、自然科学や情報教育を推進できた。 中学生の参加者を増加させることが課題である。	教育センター	科学教育事業担当・内線3550
31	1-1-(1)			子ども科学カレッジ	区内大学等の研究者を講師として招き、小学校4年生～中学生を対象に、大学の高度な学術研究成果を体験できる講座を開催する(全10回)。	講座を全15回実施し、小学4年生から中学3年生まで計575名の参加があり、大学の最新の研究成果に触れるとともに、学術の素晴らしさを体験した。	-	✓	✓	-	優れた講師による講座や最新の科学技術に触れるよい機会となっている。 中学生の参加者を増加させることが課題である。	教育センター	科学教育事業担当・内線3550
32	1-1-(1)			教養を高める学習機会の充実	教養等に関する区民の要求に応える学習機会を充実するため、政治や選挙に関する教養講座を開催する。	区内における学校に対して、選挙出前授業・模擬選挙を7回実施	✓	✓	✓	✓	出前選挙を行った際のアンケート結果では将来投票に行くこと9割以上が答えている。一方で、実施できていない学校があるため、区立中学校全校実施に向けた取り組みを進める。	選挙管理委員会	選挙管理委員会事務局・内線3401
1生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (2)学習や活動ができる環境の提供													
33	1-1-(2)	19	161	大学連携による各種事業	区民のニーズにあった生涯学習機会を提供するため、大学と連携した事業を展開します。	・文京アカデミア講座 10大学 34講座 ・夏休み子どもアカデミア講座 4大学 6講座 ・資格取得キャリアアップ講座 1大学 7講座 ・外国人おもてなし英会話講座 5大学 5講座	✓	-	✓	-	・大学の人材やキャンパスを活かした講座等を提供することができました。 ・サテライトを含め、区内には21の大学・短大があるので、より多くの大学・短大に協力いただくことが課題です。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
34	1-1-(2) 1-1-(4) 1-3-(2)	19	24	大学連携による附属図書館の区民開放	大学の附属図書館を区民に開放していただくことで、区民の学習活動を支援します。	8館で区民利用が可能。 ・東洋大学附属図書館白山図書館 ・文京学院大学・短期大学本郷図書館 ・日本女子大学図書館(目白キャンパス) ・お茶の水女子大学附属図書館 ・跡見学園女子大学茗荷谷図書館 ・拓殖大学茗荷谷図書館 ・筑波大学大塚図書館 ・貞静学園短期大学附属図書館	✓	-	✓	-	・公立図書館では提供できない高度な学術書を文京区民の図書館利用者が閲覧できる。 ・各大学図書館の特色等をPRし、利用者の増加を図る。	真砂中央図書館	真砂中央図書館計画担当・内線3625
35	1-1-(2)	19		視聴覚資料等の貸出	学習や地域活動に必要な視聴覚学習資料を地域の幼稚園、小・中学校、社会教育登録団体、個人等に貸出しを行います。	・視聴覚機器、16ミリフィルム、DVD、ビデオ(VHS)等 貸出158件	✓	-	-	-	・16ミリフィルムの保存と映写機のメンテナンスが課題です。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
36	1-1-(2) 1-1-(3)	19		「文の京」施設予約 ねっとシステム	利用者サービス及び操作性向上の機能を持った 予約ネットシステムの活用により、施設利用者へ のさらなる利便性の向上を図ります。	平成28年3月末現在、インターネット施設システムの利用者は6,695名。	✓	✓	✓	-	・区民の利便性向上、事務処理の効率化が出来た。 ・利用者、管理者からの要望に応じていく必要がある。	アカデミー推進 課	アカデミー推進 係・内線2581、 2582
37	1-1-(2)			区内大学学長懇談 会の実施	区内大学学長懇談会を開催し、区と大学との連 携の強化を図る。	29.1.13区内大学学長懇談会の開催(32回開催) 区内19大学学長と区長外との懇談会	✓	✓	✓	✓	・毎回テーマについての意見交換、今年度は「東京 2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取 り組みについて」大学を代表する意見を拝聴できる。 ・19大学のため1大学の意見をいただく時間が短い。	アカデミー推進 課	アカデミー推進 係・内線2581
38	1-1-(2)			区内大学等との連 携の拡大	区民にとって大学を文化的資産ととらえ、区と大 学が相互に協力することで、文化・教育の学び の場としての賑わいを図り、文京区の魅力を高 め、地域社会の活性化を目指す。	相互協力協定締結大学 区内13大学 区内大学との連携事業数 28年度259件(事業数100)	✓	✓	✓	✓	・多くの事業で大学との連携、協働が進んでいる。 ・大学の特色により連携する大学に偏りが見られる。	アカデミー推進 課	アカデミー推進 係・内線2581
39	1-1-(2)			文京区インター シップ	事業参加者が、自己の適性を把握し個々の能力 に適した進路に進めるよう、区内大学等の学生 を対象に区政実務の体験実習を行っている。 なお、本事業は参加者より住民目線での提言を いただき、区民志向で質の高い効率的な行政運 営体制を確立することを目的としている。	【平成15年度～】 8月15日～8月26日のうち10日間 参加者:14名 学生 11大学11名 区民 3名	-	✓	✓	-	・公務員を目指す学生等に好評である。	職員課	職員育成担当・ 内線2237
40	1-1-(2) 5-2-(2)			能力開発『実務・専 門』ステージ 実務 研修「庁内留学in Bunkyo～国際交流 人の育成～」	東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け て、外国人講師による英語研修を実施すると同 時に、TOEICの受験を研修に盛り込み、TOEIC600 点以上の取得者及び既存で英会話可能な職員 をEnglish Navigatorとして配置し、外国人来庁者 への中心的役割を担わせる。	【平成27年度～】 5月～12月(前期・後期) グループレッスン、マンツーマンレッスン、自習 受講者 前期(5～8月) 19名 後期(9～12月) 20名	✓	✓	-	-	・受講生に好評である。 ・TOEIC600点以上の取得者を増やすことが課題であ る。	職員課	職員育成担当・ 内線2238
41	1-1-(2) 1-3-(2)			産学官が連携する ための拠点づくり	産学官が連携して創業及び中小企業支援を進 めていくために、連携の核となる新たな拠点づ くりを検討する。	創業に係る現在の経済情勢を踏まえ、区の方針について検討を実施し た。	-	-	✓	-	連携のあり方、手法についてもあわせて検討する必 要がある。	経済課	産業振興係・内 線2452
42	1-1-(2)			社会福祉士相談援 助技術現場実習	社会福祉士の資格を取得する為の実習。 毎年8月下旬～10月上旬までの期間で計180 時間	平成28年度は8月22日から10月3日まで実施 東洋大学	✓	✓	-	-	・社会福祉士の資格を取得するための実習となっ ているため、複数の大学より、学生の受入依頼がある。 ・実習指導者数が少なく、十分な学生の受入れがで きない。	福祉政策課	福祉企画係・内 線2702
43	1-1-(2)			認知症サポーター 養成講座	跡見学園女子大学で認知症サポーター養成講 座を実施します。	跡見学園女子大学において実施 ①H28.4.18 受講人数12人 ②H28.7.9 受講人数24人 ③H28.9.13 受講人数12人	-	✓	-	-	・サポーター養成人数は増加しているため、今後は、 サポーターの活用や活動の内容、ステップアップ講 座へのつながりを検討することが必要である。	高齢福祉課	高齢福祉課 認知症・地域包 括ケア係 (2707～2709)
44	1-1-(2) 2-2-(3)			シニアプラザ事業	跡見学園女子大学、地域の高齢者及び区が協 働して、高齢者の生きがいの向上及び健康の増 進に係る事業を行う。 実施期間:平成26～27年度(区重点施策事業)	シニアプラザ事業はH27年度で終了	-	✓	✓	-	当該事業で複数行っていたイベントのうち「健康まち 歩き」を一般事業化してH28年度も継続 実施 平成28年9月28日(水) 本大会 平成28年10月29日(土)	高齢福祉課	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
45	1-1-(2) 2-2-(3)			体力アップフェア	高齢者が今後の健康づくりを考える機会を提供 する。	体力アップフェアはH27年度で終了	✓	-	-	-	後継事業として、「健康まち歩き」を実施 ＜概要＞ 専門の講師による正しい歩き方教室を受講後、学生 が作成した区内探訪コースを学生の案内で歩く。多 世代交流を通じて高齢者の生きがい及び健康の向 上を図る。	高齢福祉課	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
46	1-1-(2) 2-2-(2)			からだコンディショ ニング事業(福祉セン ター江戸川橋・湯 島)	高齢者の心肺機能や運動機能の低下を防止、 要介護及び要支援状態になることを予防するた めの健康維持事業を行う。 ※「すこやか体操」(音羽)「心もからだもいきいき 体操」(湯島分館)の後継事業(平成28年度より)	高齢者の食事(栄養・嚥下等)や健康維持に資する体操を実施した。 【江戸川橋・湯島共通】 1クール12回×年4クール実施 【年間延べ参加人数】 江戸川橋 597人・湯島 572人	✓	-	✓	-	できるだけ多くの方に参加していただくため、江戸川 橋・湯島でそれぞれ年間4クール実施している。	高齢福祉課(福 祉センター)	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
47	1-1-(2)			児童館・育成室等の 整備	待機児童の解消のため新規育成室を設置する。 また、耐震補強工事に合わせて施設の整備を図 る。 全児童館の開館時間を午後6時まで延長し、中 高生の居場所として活用している。	平成29年4月設置の育成室 誠之育成室、汐見第二育成室、湯島小学校育成室	✓	-	-	-	新規育成室を3室設置した。待機児童の解消のため 引き続き育成室の増設に取り組んでいく。	児童青少年課	児童係・内線 7032



【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
							1	2	3				4
48	1-1-(2)			子ども家庭支援センター事業	相談事業や親子ひろば事業、育児支援ヘルパー事業等を実施することにより、家庭における保護者の子育て及び子どもの健全な育成を支援する。また、要保護児童対策地域協議会の調整機関として、関係機関のネットワークを整備し、児童虐待の予防、早期発見・対応ができる体制を構築する。	子ども家庭支援センター実績 ・総合相談事業：一般相談10,018件 専門相談753件 児童虐待(再掲)7,233件 総件数 10,771件 ・親子ひろば事業 登録者数 3,709人 利用者数 28,440人 ・子育て支援講座 27回開催 参加者数 655人 ・育児支援ヘルパー事業 派遣回数延844回 派遣家庭49家庭 ・要保護児童対策地域協議会 個別ケース会議105回 医療関係者会議2回 実務者会議4回 代表者会議1回	✓	✓	✓	-	子どもと家庭についての相談事業、情報交換や交流の場を提供する親子ひろば事業を実施するとともに、子どもとの関わり方や子育てに関する不安や悩み等をテーマに子育て支援講座を開催し、参加者の不安や悩みの軽減を図りました。 相談対応件数の増加に加え、複雑な状況を抱える子どもや家庭等を支援するために、関係機関との連携をさらに強化する必要があります。	子ども家庭支援センター	子ども家庭支援センター・家庭支援係内線7018から各係へ
49	1-1-(2)			レッドリボン展	ギャラリーシビックでエイズ啓発物展示	レッドリボン展：H28年12月8日ギャラリーシビックで開催。427名参加。区民ひろばで尚美ミュージックカレッジ専門学校によるレッドリボンコンサート同日開催。140名参加。	-	-	✓	-	・テーマに関心のない方へも動機づけや問題意識をもつことのできるような展示とし、アンケートで8割以上の方が感染予防行動をとれると回答あり。 ・学生等若年層の来場が少ないため、引き続き、専門学校等との協力や来場者から若年層へ伝えてもらう工夫が必要。	予防対策課	保健指導係・内線2819
50	1-1-(2)			巨木スタンプラリー 東大	小学生の親子を対象に、身近な自然に親しんでもらうため、巨木を巡るスタンプラリーを実施。会場に東京大学本郷キャンパスを使用し、事業運営に各大学の学生ボランティアが参加している。	【平成28年度】 区内在住の小学生が親子で参加し、東京大学本郷キャンパスにて実施	✓	✓	✓	✓	・身近で豊かなみどりにふれあい、楽しむことを目的に、開催している。 ・参加者158組(児童183名)全員がゴールすることができた。	みどり公園課	緑化係・内線3057
51	1-1-(2)			親子環境教室	環境意識啓発を目的として「体験を通じて、考え、調べ、学び、行動する」という体験型環境学習の機会を提供する。	親子環境教室(6回実施) ①7月23日 参加者50人(親:21 子:29) ②8月6日 参加者39人(親:18 子:21) ③8月6日 参加者40人(親:18 子:22) ④8月20日 参加者44人(親:19 子:25) ⑤10月29日 参加者57人(親:24 子:33) ⑥12月3日 参加者46人(親:20 子:26)	-	✓	-	-	・実施回数を2回増やすことで多くの親子に体験型環境学習の機会を提供することができた。 ・28年度も各教室で定員22組を超える応募があった。応募多数の場合は抽選となるため、受講できない親子の数が解消できるかが課題である。	環境政策課	地域環境係・内線3131
52	1-1-(2)			校外施設の区民利用	児童・生徒の心身の健全な育成を図るとともに、区民の健康及び余暇活動を促進することを目的として設置されている八ヶ岳高原学園について、区民利用者数の増加を図る。	開放期間：4月中旬～11月3日まで 区民利用実績：延べ648名 (平成27年実績 延べ636名)	✓	-	-	-	利用者の口コミ等により、利用者数は微増の傾向にある。一方、利用者が固定されている傾向にあるため、広報活動に工夫が必要である。	学務課	施設係・内線3537
53	1-1-(2)			文京区教育ビジョンの推進(教育ビジョンの具体化の推進)	教育ビジョン推進プランに基づき、生涯学習の基礎づくりを図り、豊かな人間性を育む教育を、学校・家庭・地域において推進するための環境整備を行う。	かがやく心(冊子)策定、全小・中道徳授業地区公開講座の実施	✓	✓	-	-	・保護者や地域の方とともに学ぶ機会となっている。 ・参加者の拡大が課題である。	教育指導課	教育指導課内線3541
54	1-1-(2)			校外施設での学習の推進	自然にふれ、自然の中で生活することにより、豊かな体験ができるよう、校外施設での学習を行う。	自然体験教室、八ヶ岳高原学園、岩井臨海学校	-	✓	-	-	・子どもたちが自然にふれ、成長のよい機会となっている。 ・今後、学習メニューを充実させていく。	教育指導課	教育指導課内線3541
55	1-1-(2)			理科推進事業	区立中学校1・2年生に対して、講義および演示、実験等を行い、科学に対する興味、関心を高める。	お茶の水女子大学	-	✓	-	-	・専門家の講義から科学に対する興味・関心を高める機会となっている。 ・科学に対する興味・関心を継続させることが課題である。	教育指導課	教育指導課内線3541
1生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (3)あらゆる立場の人たちに対応した学習支援の充実													
56	1-1-(3)	20	161	保育室の設置及び手話通訳者の配置	幼児を持つ親が学習活動に参加できるよう、講座・講演会等の開催時に保育室を設置します。障害者が講座・講演会等に参加できるよう、希望者に手話通訳者を配置します。	・平日日中のシビックセンターが会場の講座を対象に、希望者に保育を実施(実施実績4講座) ・語学以外全講座(文京アカデミア講座、区民プロデュース講座、大学プロデュース特別講座、特別公開講座、メセナ講演会等)を対象に、希望者に手話通訳者を配置(配置実績1講座)	✓	-	-	-	・保育・手話を希望されるすべての方に対応しました。 ・手話については、事前打ち合わせが必要なケースが出てくると思われます。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
57	1-1-(3)	20		文京eラーニング	外出困難な人や時間に制約のある人などを対象に、時間や場所に関係なく各種講座等を受講できるように、インターネットを活用した講座を配信します。	【平成18年度～】 ・3番組新規配信 累計33番組配信 アクセス数 6,056件	✓	-	✓	-	・様々な学習機会の提供に資する事業です。 ・資料等の著作権の関係で、配信できない部分もあります。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
58	1-1-(3)	20	161	夜間・休日の講座開設	平日の昼間に講座を受講することが困難な方のために、平日夜間や休日にも講座を開設します。	・文京アカデミア講座 平日夜間 7講座 土曜日 18講座	✓	-	-	-	・需要の多い土曜日に講座を開講しました。 ・講座内容や平日昼間の講座とのバランスを考慮して、平日夜間・休日の講座を開講していきます。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
							1	2	3	4			
59	1-1-(3) 2-3-(1)	20		学校施設の活用	区立小・中学校の屋内運動場・格技室・教室・校庭を地域の団体等に開放します。(余裕教室の社会教育的利用、夜間管理の分離)	【学務課】29年2月現在実績 小学校 5703件 中学校 4036件	✓	-	-	-	【学務課】例年、小・中学校合わせて1万件前後の利用があり、地域住民の身近なスポーツ・生涯学習の活動の場として定着している。一方で、利用団体が固定されている傾向にあるため、利用団体の拡大が課題である。	スポーツ振興課 学務課	スポーツ振興課 施設等担当・内 線2594学務課 施設係・内線3534
60	1-1-(3)	20		生涯学習の相談	区民がそれぞれのニーズや目的に応じて生涯学習に取り組めるよう総合的に紹介等を行います。	【平成28年度～】 ・生涯学習司による相談受付を6月より実施 週3日、1日3時間 相談件数131件	✓	-	✓	-	・相談窓口の周知及び、相談に必要な学習に関する情報の収集が課題です。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
61	1-1-(3)			学習関連情報の収集・提供	区が集約した行政機関学習関連情報に加え、生涯学習関連機関の情報も積極的に収集、一元化し、区民等に効果的に提供する。	行政機関や大学等から届いた公開講座等のポスターの掲示、チラシの配布をアカデミー施設及び図書館等で行っている。	✓	✓	✓	✓	・地域アカデミーや図書館で掲示等することにより区内全域に周知できる。 ・広報紙や区HPでの情報提供は行ってない	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2582
62	1-1-(3)			大学等の生涯学習情報の収集	大学の公開講座、社会人入学などに関する情報を収集し、区民等に提供する。また、高校の公開講座の情報も収集する。	大学の公開講座・講演会の予定を指定管理者である(公財)文京アカデミーの広報紙「Square」ポスターの掲示及びチラシ配布をアカデミー施設及び図書館等で行っている。	✓	✓	✓	✓	・地域アカデミーや図書館で掲示等することにより区内全域に周知できる。 ・区報やCATVでもできれば良い。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581
63	1-1-(3)	161		文京アカデミー講座案内、(公財)文京アカデミーHPによる講座・講演会案内及び申込受付	生涯学習講座の受講者募集に合わせ、講座案内、区報、(公財)文京アカデミー広報紙などの活字メディアのほか、(公財)文京アカデミーHP内に講座案内を掲載。申込は、はがきのほか、インターネットからも受け付けます。	・文京アカデミー講座案内パンフレット 3回発行(前期・後期・後期Ⅱ 各4000部) ・夏休み子どもアカデミー講座パンフレット 1回発行(6,000部) ・財団広報誌(100,000部)、区報、HP等各種メディアを活用した講座案内及び申込受付を実施	✓	-	-	-	・様々なツールを用い、財団事業を効果的にPRできました。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
64	1-1-(3)			障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供する。	各種障害者対象講座の開催(料理、フラワーアレンジメント、お点前、陶芸等)	✓	-	-	-	各種講座の開催は、学習機会の提供のみならず、障害者のふれあいの場、交流の場となっている。	障害福祉課(福祉センター)	知的障害者支援係(基幹)・内線3339
65	1-1-(3)			保育施策	事業所内保育所である「順天堂もとまち保育所」において、区民枠として30名を保育している。また、旧元町小学校で運営している順天堂病後児ルーム「みつばち」に、病後児保育事業を委託している。	病後児保育事業延べ利用者数 1,022人	-	-	✓	✓	病気により集団保育の困難な児童を一時的に預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援した。 一方、利用予約により、定員が満員になるが、保護者の勤務予定や子どもの体調等の変化により、直前のキャンセルが多数あるため、結果的に空きが出る状況になっている。	子育て支援課	幼児保育課民間施設係・内線7052  子育て支援課子育て支援推進担当・内線7012
66	1-1-(3)			保育サービスの充実	多様化する保育需要に対応するため保育サービスの充実に努める。	延長保育 55園(全園) 0歳児保育 43園 障害児保育 全園 年末保育 3園 緊急一時保育 17園 リフレッシュ一時保育 17園 一時保育 3カ所 認証保育所 3カ所 グループ保育室 1カ所 地域子育てステーション 19園 臨時保育所 1カ所	✓	✓	✓	✓	私立認可保育所の開設により、延長保育、0歳児保育、障害児保育の充実を図った。 今後も、私立認可保育園や小規模保育所等の開設により、更なる充実を図っていく。	幼児保育課	幼児保育課幼児保育係・内線7051
67	1-1-(3)			お茶の水女子大学認定こども園(仮称)の開設準備	区とお茶の水女子大学は、平成28年4月に認可保育所に幼稚園機能を備えた区立の保育所型認定こども園を大学の敷地内に開設する予定である。当該認定こども園の運営については、区が大学に業務全般を委託して実施するものであり、現在、開設に向けての協議を行っているところである。 ※本計画に関する共同記者会見を9月29日に実施	平成28年4月に開園し、初年度は5歳児を除く0～4歳までの71名で園運営を開始した。育児相談等の地域子育て支援事業のほか、区内保育士の研修受け入れや、区立中学生の職場体験などの地域連携交流も積極的に実施した。 3月には、1年間の成果を発表する「第1回お茶大こども園フォーラム」を開催した。	✓	✓	✓	✓	開設初年度は保護者からの人気も高く、研究機関の視察やマスコミの取材依頼等も多く、注目の高さがうかがわれた。異年齢児との交流や夕方の読み聞かせボランティア受け入れ等、当園ならではの活動も定着してきている。今後は大学の知見とこども園の実践の成果を、区内の幼児教育・保育施設へ還元していくことが課題である。	幼児保育課	幼児保育課私立幼稚園・認定こども園担当・内線7061
68	1-1-(3)			講座等での保育室の設置	子育て中の男女が積極的に参加できるよう一時保育について配慮する。	ダイバーシティ推進担当 ・女性再就職セミナー 1回(利用者4名) 男女平等センター事業 ・男女共同参画週間記念シンポジウム 1回 ・男女平等センター講演会 1回 ・配偶者暴力の防止等啓発講演会 1回 ・プラスワンセミナー 6回(利用者6名) ・父と子の料理教室 2回 ・区政を知る懇談会 2回 ・利用者懇談会 2回	✓	-	-	-	・子育て中の男女にもイベントに参加してもらうことができた。 ・託児付のイベントでは子育て中の男女が気軽に参加できるように、周知を工夫する。	総務課	ダイバーシティ推進担当・内線2261
69	1-1-(3)			講座等での手話通訳者の設置	障害のある方が講座等に参加できるよう、手話通訳者を配置する。	男女平等センター事業 ・男女共同参画週間記念シンポジウム 1回 ・配偶者暴力の防止等啓発講演会 1回 ・プラスワンセミナー 6回 ・区政を知る懇談会 2回 ・利用者懇談会 2回 ・男女平等センターまつり 1回(利用者2名) ・利用者懇談会 2回	✓	-	-	-	・障害のある方にもイベントに参加してもらうことができた。 ・手話通訳付の講座等については、聴覚障害のある方にも気軽に講座等へ参加できるような周知を工夫する。	総務課	ダイバーシティ推進担当・内線2261



【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4			
70	1-1-(3)			特別保育(障害者と ともに生きる社会を つくるための学習機 会の設置)	文京区立幼稚園において、支援が必要な幼児 が集団の中で生活することを通して、幼稚園教 育の機能や特性を活かしながら、健常児とともに その幼児の発達を促していくことを目的とする。	継続33件 新規27件 合計60件	✓	✓	-	-	・障害のあるなしに関係なく、共に学ぶ環境が形成さ れている。 ・人材の確保が難しい。	教育指導課 教育指導課 内線3541
1生涯学習 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実 (4)地域の学習拠点としての図書館づくり												
71	1-1-(4)	20		地域資料の充実	区史や古地図のような貴重な資料を用いた地域 に関する調査・研究に資するため、引き続き資料 を購入するとともに、ホームページでも閲覧でき るデジタル化の取組を充実させます。	真砂中央図書館改修により、地域資料コーナーの充実を図った。 資料の収集を積極的に行うとともに、保存と提供に資するため、古地図 等のデジタル化を実施した。	✓	-	-	-	・デジタル化により、貴重な資料を誰でも気軽に閲覧 することが可能となった。 ・行政資料を紙で発行しない部署が増加傾向にあり、 収集と保存に関する検討が必要である。	真砂中央図書館 サービス事業係・ 内線3624
72	1-1-(4)	20		図書館サービスの 充実	知識や情報を提供するとともに、利用者サービ スを向上させ、区民の読書活動の推進を図りま す。	資料の収集と保存、レファレンスの充実。 各種行事や資料の特集展示の実施。	✓	-	-	-	・区民へのサービス向上のため、平成29年度より区 民優先制度を導入し、スムーズな資料提供を実現す る。 ・快適性の向上を図る。	真砂中央図書館 サービス事業係・ 内線3624
73	1-1-(4)			図書館の運営	平成22年4月より真砂中央図書館を除く7館3室 が指定管理者制度の導入による図書館運営と なり利用者サービスの向上を図る。	【平成27年度～】第2期指定管理者による運営。 開館日の拡大及び開館時間の延長を継続して実施するとともに、多彩な 行事の実施等、図書館サービスの拡充に取り組んでいる。	✓	-	-	-	・開館時間の拡大の実現に加え、企画力やPR等にお いて、効果をあげている。 ・指定期間が長期化することによる士気の低下を招 かないよう、連携を強化する。	真砂中央図書館 計画担当・内線 3625
74	1-1-(4)			保護者のための学 習機会の提供	家庭教育への理解を深め、家庭教育を一層充 実するために保護者のための学習機会を提供 する。	出版社連携講演会 4月23日 参加者36名 トークと読み聞かせ 5月7日 参加者22名 祖父母向け読み聞かせ講座 6月11日 参加者17名 調べる学習を楽しもう お父さん・お母さんの巻 6月18日 参加者55名 小学校での読み聞かせボランティア養成講座(4回連続) 9～10月 参 加者各回13名 本好きの子どもに育てるレシピ 10～11月 参加者63名 秋の読み聞かせ講座 10月30日 参加者8名 子どもと読書の講演会 11月19日 参加者8名 子育て中こそ図書館を楽しもう 11月23日 参加者73名 大人のためのStorytime 11月30日 参加者25名 ボランティアさんのための読み聞かせ講座 2月12日 参加者11名	✓	✓	✓	-	・読み聞かせの必要性について説くとともに、技術の 向上のため、講座や講演を実施。家庭や学校等での 読み聞かせの実践につなげた。 ・読書を習慣づけ、図書館の利用促進を図るため、よ り多様な事業を展開することが必要である。	真砂中央図書館 サービス事業係・ 内線3624
75	1-1-(4)			親と子がふれあうイ ベント等の実施	親と子が共に楽しみ、ふれあいを深める行事を 実施する。	春・夏・クリスマス・子ども読書の日子ども会(人形劇等) 36回実施 3,557名 映画会 21回実施 参加者1,424名	✓	-	-	-	・良質の文化に触れる機会の提供と図書館利用の促 進が図られる。 ・乳幼児向けサービスの取組が奏功し、幼児の参加 が増えたが、小学生の参加が減少している。	真砂中央図書館 サービス事業係・ 内線3624
76	1-1-(4)			親子のふれあいを 深める活動の支援	乳児期の早期から絵本を介して親子のふれあ いを深め、親子の健全な関わりを育む子育て支援 の一助とする。	【平成14年度～】ブックスタート(4か月児健診時実施) 2,060名 【平成24年度～】フォローアップ事業(1歳6か月児対象) 1,183名 乳幼児向け読み聞かせ行事 219回実施 参加者6,067名 育児関連図書、絵本の選び方や読み聞かせに関する図書の収集及び 提供。	✓	-	-	-	・ブックスタートは対象者の96%に実施しており、その 後の図書館利用に結びついている。 ・家庭での読み聞かせの習慣を定着させるため、フォ ローアップの強化が必要である。	真砂中央図書館 サービス事業係・ 内線3624
77	1-1-(4)			児童・生徒を対象と した事業の充実	学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会 となる、児童・生徒を対象とした事業を提供す る。	おはなし会 367回実施 参加者5,726名 ビブリオバトル中高生大会 参加者26名 ビブリオバトル小中学生大会 参加者32名 調べ学習関連事業 106名 小学生のための宇宙教室 参加者27名 じっけんはっけんバランスの本 参加者53名 工芸館がやってきた! 参加者37名 中高生向けポップ作り講座 参加者5名 工作会 10回実施 参加者385名 カルタ会 5館実施 182名	✓	-	-	-	・多彩な事業を展開することで、読書への動機づけと なる。 ・10代の読書離れ、図書館離れを改善するため、中 高生向け行事の充実が求められる。	真砂中央図書館 サービス事業係・ 内線3624
78	1-1-(4)			教養を高める学習 機会の充実	教養等に関する区民の要求に応える学習機会 を充実する。	資料の収集・提供、季節や時節の話題をテーマにした特集展示などの実 施。 講演会・講座・読書会・朗読会等 71回実施 参加者2,081名	✓	-	-	-	・指定管理者の自主事業を含め、多種多様な特集、 行事を実施している。 ・館ごとの特色を生かし、区民の学習意欲を高める企 画が求められる。	真砂中央図書館 サービス事業係・ 内線3624
79	1-1-(4)			利用者開放用イン ターネット端末利用 サービス (図書館の整備)	平成18年度～平成20年度において、区立図書 館全館に利用者開放用インターネット端末を設 置した。 利用者が図書館資料の検索を始めとして多様な 情報にアクセスし、必要な情報が収集できるイン ターネット端末利用サービスを実施している。	真砂中央図書館再開館に伴う4台増により、全館で19台設置。パソコン の利用は無料。また、真砂中央と小石川では、国立国会図書館デジタル 化資料送信サービス、オンラインデータベース(官報情報検索サービス、 日経テレコン21)の閲覧が可能。情報プリントアウトは有料。	✓	-	-	-	・利用者の知る権利を保障し、多様な要求に応えるた め、インターネット端末及び各種データベースを導入 した。	真砂中央図書館 管理係・内線 3625
80	1-1-(4)			図書館ネットワー クの充実	区内図書館相互、都立図書館や国会図書館と の各種ネットワークの強化を図る。	第二ブロック(台東・北・荒川)を中心に、他自治体や国会との相互協力 を実施。 国会図書館からの歴史的音源配信サービス、デジタル化資料送信サー ビスを実施。	✓	-	-	-	・幅広い資料提供が可能となった。 ・平成29年度からの区民優先制度導入により、区民 の利用拡大が見込まれる。	真砂中央図書館 サービス事業係・ 内線3624

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
81	1-1-(4)			IT図書館システムの運営 (図書館オンラインシステムの運営)	図書館システムを更新して利用者サービスを拡充するとともに、業務の効率化を図るものである。	インターネットによる利用者サービスを提供。資料検索、予約、レファレンスのほか、貸出延長や予約情報変更手続きが可能。また、おすすめリストや新着資料案内メール、返却期限日お知らせメールサービスも提供している。ホームページは、パソコン用だけでなく、携帯電話用、スマートフォン用のページも開設しているほか、視覚等障害者のための点字・録音図書専用の検索・予約ページも提供している。	✓	-	-	-	・利用者からの要望に応えるため、機能を追加し、充実を図っている。 ・ホームページを活用しての情報発信の充実が求められる。	真砂中央図書館	管理係・内線 3625
82	1-1-(4)			図書館運営の区民 参画推進	区内の多彩な人材を受け入れることにより図書館サービスの充実を図るとともに、図書館運営に区民の参画を促進することにより地域に密着した図書館運営を目指す。	【平成14年度～】図書館ボランティア(ライブラリーパートナー)登録者 個人59人、団体11団体 おはなし会、布の絵本の製作、資料の装備・修理等を実施。 ライブラリーパートナーを対象に読み聞かせ等の研修を実施。	✓	✓	✓	-	・区民に図書館運営の一端を担ってもらうことで、より多様な事業を行うとともに、区民にとって身近で、親しみやすい環境をつくる。 ・研修を実施し、技術の向上を図る。	真砂中央図書館	サービス事業係・ 内線3624
83	1-1-(4) 1-3-(2)			地域に関する学習 機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域資料の収集・提供。 特集展示「明治・大正の本郷を訪ねて」「花よりだんご～江戸東京物見遊山」等 写真展 11月25～27日 参加者198名	✓	✓	✓	-	・地域への関心の高まりによって、展示資料を中心に利用が増えている。	真砂中央図書館	サービス事業係・ 内線3624
84	1-1-(4) 1-3-(2)			図書館ホームペ ージの充実	子どもの読書活動の重要性や意識について広く理解を得るために、子ども・中高生向けのページを設置し、情報を発信する。	図書館ホームページに「子ども読書の部屋」「YA10代のためのページ」等を開設し、情報発信。	✓	-	-	-	・子どもと読書に関わる人々の交流にも活用できるよう開設したが、十分に活用できていない。 ・中高生に向けて、内容の充実と情報の更新が必要である。	真砂中央図書館	サービス事業係・ 内線3624
85	1-1-(4)			文の京デジタル文 庫の公開	区史や古地図のような貴重な資料の長期保存と後年の複製のために、地域資料のデジタル化を行った。	【平成24年度～】 「地籍台帳」等、図書11冊 「東京都全住宅案内図張」等、地図14点をデジタル化。	✓	-	-	-	・古地図等の紙資料の劣化が進行する前にデジタル化することにより、長く閲覧に供することが可能となる。 ・行政資料の保存と公開に関する方針策定が課題となる。	真砂中央図書館	サービス事業係・ 内線3624
86	1-1-(4) 1-1-(2) 1-3-(2)			大学図書館の区民 開放	区民に大学の付属図書館を開放する 区立図書館で受付及び閲覧証を発行	【平成15年度～】東洋大学 【平成17年度～】文京学院大学	✓	-	✓	-	・公立図書館では提供できない高度な学術書等を文京区民の図書館利用者が閲覧できる。 ・各大学図書館の特色等をPRし、利用者の増加を図る。	真砂中央図書館	計画担当・内線 3625
87	1-1-(4) 1-1-(2) 1-3-(2)			大学図書館の区民 開放	区民(女性)に大学の付属図書館を開放する 区立図書館で受付	【平成21年度～】お茶の水女子大学 【平成22年度～】跡見学園女子大学 【平成25年度～】日本女子大学	✓	-	✓	-	・公立図書館では提供できない高度な学術書等を文京区民の図書館利用者が閲覧できる。 ・各大学図書館の特色等をPRし、利用者の増加を図る。	真砂中央図書館	計画担当・内線 3625
88	1-1-(4)			ひなぎくおはなし会	日本女子大学児童文学研究会に属している学生が、子どもに絵本や紙芝居等の読み聞かせを行う 実施日：第4土曜日 目白台図書館にて開催	12回実施 参加者137名	✓	-	✓	-	・学生との協働により、子どもたちが読書に親しむ機会を提供する。	真砂中央図書館	サービス事業係・ 内線3624
89	1-1-(4)			えほんのじかん (大学生による読み 聞かせ)	しいのみこどもかいに属している学生が、子どもに絵本や紙芝居等の読み聞かせを行う 実施日：第4土曜日 千石図書館にて開催	11回実施 参加者128名	✓	-	✓	-	・学生との協働により、子どもたちが読書に親しむ機会を提供する。	真砂中央図書館	サービス事業係・ 内線3624
90	1-1-(4)			文化講座	大学教授による講座(千石図書館)	【平成24年度～】 「万葉の花を味わう」4月3日 参加者35名 「ジョークで異文化体験」11月20日 参加者45名	✓	-	✓	-	・指定管理者によって、事業開始、継続されており、利用者からも好評である。講師は大学教授だけでなく、学芸員や医師などにも依頼している。 ・千石図書館以外の館でも同様の事業を開催しており、区民が利用しやすくなっている。	真砂中央図書館	サービス事業係・ 内線3624
1生涯学習 2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実 (1)主体的な活動を支える仕組みづくり													
91	1-2-(1) 1-3-(2) 2-4-(1) 3-2-(2)	21		社会教育登録団体 登録制度による活 動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	文化団体、29.3.31現在 581団体 平成28年度新規登録 24団体 スポーツ団体、29.3.31 571団体	✓	✓	✓	✓	・施設優先利用や利用料金減免により活動の支援となっている。 ・団体に加入していない人にとっては不公平感が有る。 ・スポーツ施設利用料金減免等の措置で団体の活動を支援することで、スポーツの普及やスポーツ実施率の向上につながっている。しかし、登録の更新が5年ごとと長いので、登録内容の確認方法に工夫が必要である。	アカデミー推進課 スポーツ振興課	アカデミー推進係・内線2581、 2582 スポーツ振興係・ 内線2592
92	1-2-(1) 3-2-(2)	21		文京区生涯学習 サークル連絡会の 支援	文京区生涯学習サークル連絡会によって実施される公開講座、合同学習会、史跡・施設見学等の各種自主学習活動への支援を行います。	代表者会議7回実施。公開講座、合同学習会、バス見学会、アカデミア講座企画を各1回実施。年度当初会員37団体。	✓	✓	✓	✓	代表者会議で活動内容について自主的に決定されており、各事業の参加者も募集定員を満たしている。参加団体の減少。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581
93	1-2-(1) 1-2-(2) 1-2-(3) 1-3-(3)	21		区民プロデュース講 座	区民の学習成果を活かし、地域に根差した生涯学習を推進するため、個人・NPO等の団体が企画する講座を公募して実施します。	・文京アカデミア講座(区民プロデュース講座)15講座 (採用数16件 実施数16件 応募数57件) ※第2回選定の講座は次年度に実施	✓	-	-	✓	・地域の人材等を活かした講座を提供することができました。 ・アカデミア講座として実施するための支援体制を整えることが課題です。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
94	1-2-(1)			キャリアアップ講座 の実施	個々の職員の生涯学習に対する認識を高めるために、自己啓発事業を実施する。	キャリアアップ講座受講 0件	✓	✓	-	-	・受講者が増えるよう、助成対象や周知方法等の再検討が必要である。	職員課	職員育成担当・ 内線2239



【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
95	1-2-(1)			男女平等センター資料コーナーの充実	インターネット接続パソコンの活用及び図書館や関係機関との連携によって、男女平等参画に関する情報や資料を収集し提供する。		✓	-	-	-	・女性関連の本が充実しており、利用者から喜ばれおり、貸出するための登録も27年・28年度では継続して25名程度あった。 ・SOGIや女性関連の本が継続して充実できるよう、引き続き本を選定していく。	総務課	タイバーシティ推進担当 内線2261
96	1-2-(1)			ボランティア・市民活動についての情報提供・相談	ボランティア・市民活動についての情報収集を行い、活動に関する相談、ボランティアコーディネートを行う。		-	✓	✓	-	窓口での相談でボランティア活動につながったケースがあり、一定の成果があった。またぼらんていあニュースとホームページを連携し、よりタイムリーに情報発信できるように改善を進めていく。	福祉政策課	社会福祉協議会 文京ボランティア 支援センター・内 線4321
97	1-2-(1)			ボランティア活動基盤づくり	ボランティア活動が円滑に行えるよう、ボランティア保険に関する案内や資機材の整備を行う。 ◎ボランティア活動室・機材の貸出し 印刷機、紙折り機、点字プリンター ◎ボランティア保険の加入受付		✓	-	-	-	活動室・機材の貸出、ボランティア保険の受付については活動環境の整備として一定の効果があった。また活動室・機材の貸出についてはインターネット予約ができるように改善を行った。今後も継続して支援を行っていく。	福祉政策課	社会福祉協議会 文京ボランティア 支援センター・内 線4321
1生涯学習 2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実 (2)活動成果披露の場の充実													
98	1-2-(2) 1-3-(1)	22	158	生涯学習フェア	文京アカデミー講座や区内大学生涯学習センターの紹介、講座受講相談を実施し、区民に対し生涯学習活動への参加を促す機会をつくとともに、区内サークルの活動紹介や体験コーナー、ステージでの活動発表等を行うことにより、学習成果披露の場や区民同士の交流の機会を提供します。		✓	-	✓	✓	・生涯学習活動に取り組むきっかけ作りと、活動している方々の発表の場を設けることができました。 ・区民同士の交流の機会を充実させることが課題です。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
99	1-2-(2) 1-3-(1)			いきいきシニアの集い	高齢者が地域社会や家庭等で幅広く培った、豊かな経験や技術・知識を活かし、作品展示などを通して、他世代との交流を図るとともに高齢者の生きがいの推進を図る。		✓	-	✓	-	28年度から2日間に短縮して実施したが、例年と比べ遜色ない来場者数だった。(H27までは3日開催。H27来場者数5,860名) 2日に集中したが混乱はなく、かえって活況が高まった。	高齢福祉課	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
100	1-2-(2) 1-3-(1)			「敬老の日施設開放」	高齢者の生活が健康で明るいものとなることを願って、福祉センター利用者と職員が一緒になって「敬老の日」を祝う。 内容は、敬老の日に高齢者自身が演芸大会で歌・踊り・手品等の特技を披露し合う。また、お茶会を催す。		✓	-	-	-	80名以上のシニアの方が集い楽しんでいただいた。会の性格上シニアばかりの集まりとなるため、今後は多世代間交流が図れるような企画も取り入れることを検討している。	高齢福祉課(福祉センター)	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
101	1-2-(2) 1-3-(1)			福祉センター祭り	福祉センターを利用している高齢者、障がい者等が制作した作品の展示等を通じて、地域社会との交流を図る。また福祉センターを利用する自主的サークルの活動発表の場を提供する。		✓	-	✓	-	参加者が4千人越えの来場があり盛況であった。結果、地域交流が促進され、特に複合施設の様々な利用者・団体の発表会やワークショップ、講演等により、多世代間交流や共生社会の街づくりの一助となった。	高齢福祉課(福祉センター)	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
102	1-2-(2) 1-3-(1)			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための交流の場をつくる。		-	-	✓	-	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための交流の場を作ることができた。	障害福祉課	障害者在宅サービス係・内線2754
103	1-2-(2) 1-3-(1)			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	活動成果や施設の紹介、利用者と地域住民との交流を図る。		-	-	✓	-	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者と地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課	知的障害者支援係・内線3339
104	1-2-(2) 1-3-(1)			世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流機会の提供(本郷福祉センター)	本郷福祉センター利用者の日常活動での成果の発表等を通じて地域との交流を図る。		-	-	✓	-	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者と地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課	知的障害者支援係・内線3339
105	1-2-(2)			東京大学総合研究博物館・モパイル・ミュージアム	東京大学総合研究博物館の研究成果を教育センターで展示し、トークイベント等を実施する。		✓	-	✓	-	最先端の科学技術研究の成果を子ども達に還元することができた。 区報の掲載文や展示の仕方は、博物館の意図を尊重し、確認を徹底する。	教育センター	科学教育事業担当・内線3550
1生涯学習 2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実 (3)人材育成・活用の推進													
106	1-2-(3)	22		区民プロデュース講座の企画支援	区民プロデュース講座企画者の負担を軽減し、企画を支援するための取り組みを実施します。		-	✓	-	-	・企画内容がわかりやすくなりました。 ・さらなる支援を検討します。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
107	1-2-(3)	22	159	人材育成のための講座	区や公益財団等と協働して事業を行う人材を育成するため、「文の京生涯学習司」、「文の京地域文化インタープリター」「文京アカデミアサポーター」の3つの養成講座を実施します。		-	✓	✓	✓	・地域の人材の掘り起こしに効果がありました。 ・養成講座受講の動機や目的に個人差があります。それぞれの意向に応じた対応が課題となります。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
108	1-2-(3)	22		各種講座・展示会の企画への起用	インタープリターや生涯学習司等の活躍を支援し、区の文化事業に活かしていく事業(企画展等)を展開していきます。	・文京アカデミー学習推進・選定委員会(学識経験者1人、区民委員15人) 全体会2回 学習推進委員会9回、講座選定委員会6回 ・学習推進委員会・生涯学習支援者企画講座 14講座 ・文京アカデミー生涯学習フェアの運営 ・特別公開講座 3講座 インタープリターの会協力 2講座 生涯学習支援者の会協力 1講座	-	✓	✓	✓	効果:区が主催する企画展の業務を一部委託することにより、文の京地域文化インタープリターの活用と活動支援を行いました。 課題:今後は、文の京地域文化インタープリターの会からの提案事業や区が主催する企画展の業務委託の範囲の拡大等、さらなる活躍の機会を提供する必要があります。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
109	1-2-(3)	159		学習支援者スキルアップ講座	財団と協働して事業を行う「文京アカデミアサポーター」「文の京生涯学習司」「文の京地域文化インタープリター」などの生涯学習支援者を対象としたスキルアップ講座を実施し、より多角的な活動が行える技能等を学習する機会を提供します。	・スキルアップ講座 3講座(受講者63人) (うち生涯学習支援者の会協力 1講座)	-	✓	✓	-	・学習支援者の要望を取り入れた講座を開催しました。 ・受講者数を増やすことが課題です。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
110	1-2-(3)			大学の人材の審議会での活用	大学の人材を、各種審議会等の委員として活用する。	アカデミー推進協議会委員委嘱(28年度実施無し)文京区立森鷗外記念館運営協議会委員委嘱 文京区立森鷗外記念館資料収集等検討委員会委員委嘱 森鷗外記念館指定管理者選定専門部会委員委嘱	✓	✓	✓	✓	・学識経験者の知識により客観的、総合的評価検討ができる。 ・スケジュール等から会議の回数が制限されてしまう。	アカデミー推進課	アカデミー推進係・内線2581
111	1-2-(3)			大学の人材の起用	大学プロデュース講座・大学プロデュース特別公開講座(学長講演会)を充実させることで区内大学の人材を講師等として起用します。	・大学プロデュース講座(文京アカデミア講座) 10大学 34講座 ・大学プロデュース特別公開講座(学長講演会) 2大学 2講座 ・文の京・最先端生命科学講座 1大学 3講座	✓	-	✓	-	・大学の人材やキャンパスを活かした講座等を提供することができました。 ・サテライトを含め、区内には21の大学・短大があるので、より多くの大学・短大に協力いただくことが課題です。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
112	1-2-(3)			職員の育成	文京区職員育成基本方針に基づき、職員一人ひとりが地域行政のプロとして、地域課題の解決に向けて自ら考え行動できるよう、職員の育成に取り組む。	各種職員研修の実施 新規採用職員育成ローテーション 等	-	✓	-	-	・多様化する行政需要に対して、的確かつ適切な行政サービスを提供していくために、文京区職員育成基本方針に基づく職員育成をいっそう推進していく。	職員課	職員育成担当・内線2240
113	1-2-(3)			ボランティアの育成	ボランティアに関する理解を深めボランティア活動への参加を促進する。 また、専門的な知識を持ったボランティアを育成する。	文京区登録手話通訳者26名に対し、5月・7月・8月・11月・1月・3月の計6回、専門研修を実施。	-	-	✓	-	専門的な知識を持ったボランティアを育成することができた。	障害福祉課	障害者在宅サービス係・内線2754
114	1-2-(3)			子育てサポーター認定制度	地域における子育て支援の担い手を育成するため、全国共通の子育て支援員制度と文京区独自のカリキュラムで構成する子育てサポーター認定制度を創設する。子育てサポーターに認定された方は、社会福祉協議会がファミリー・サポート・センター事業を拡充して実施する訪問型保育事業の担い手として活動する。 今回、子育てサポーター認定制度における子育て支援員研修について、区内大学との事業連携により実施する。	貞静学園短期大学での研修実施回数 2回	-	✓	✓	✓	子育てサポーター認定研修を開催し、地域人材の掘り起こしと育成を実施し、ファミリーサポートセンター事業の提供会員数が増えた。 今後は、継続して受講者を確保していくことが必要となっている。	子育て支援課	子育て支援推進担当・内線7012
115	1-2-(3)			環境ライフ講座	環境保全について、日常生活と身近な視点に立った講座を実施し、地域における環境保全意識啓発活動等のリーダーとして取り組む人材を育成する。	講座期間:平成28年9月～平成28年12月 講座内容:『食』をテーマに環境について考えてみよう』をテーマに学習回数:全8回(うち1回は環境イベントへの参加) 受講生:24人(うち、修了生は16人)	-	✓	-	-	・大学の農場見学や身近な体験談など環境について学び、受講者で協力して、環境イベントへの準備、発表を経験することで、環境保全意識啓発活動等に取り組む知識となった。 ・過去の受講生の受講が多い。	環境政策課	地域環境係・内線3131
116	1-2-(3)			文京ecoカレッジリサイクル推進サポーター養成講座	廃棄物を減らし資源循環型社会の構築を進めるためには、区民一人ひとりの日々の実践が重要である。「文京エコカレッジ」は、地域でのリサイクル推進活動および区のリサイクル事業への区民への参画を進め、3Rの推進の実践につながる人材の育成及び活用を図るための「リサイクル推進サポーター」を養成する。講座は、文京学院大学と協働で実施する。	【平成21年度～】28年5～6月の水曜日計5回開講した。定員15名、応募者12名、参加者11名で、リサイクル推進サポーター登録者6名。	✓	✓	✓	-	・講座の受講生は、3Rの推進、ごみ減量に関心の高い方が集まった。今後はリサイクル推進サポーターとして、一歩進んだ3R推進活動に取り組んでいただけるよう、環境整備が必要。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2192
117	1-2-(3)			PTA育成(PTA合同研修会:広報研修会、合同講演会)	PTAを育成するため、学習の場として、また、PTA相互の交流を図るため、広報研修会、合同研修会を開催する。	【PTA合同講演会実施日(参加人数)】 5月10日(64名) 【広報研修会実施日(参加人数)】 4月26日(72名)	-	✓	✓	✓	【PTA合同講演会】 ・講師や講演テーマをPTAのニーズにあったものにする必要がある。 【広報研修会】 ・PTA広報紙作成の実践講座であり、初めて役員になったPTAに好評である。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607
118	1-2-(3)			PTA育成(PTA連合会主催事業の支援)	PTA連合会事業を共催または支援することにより、PTAを育成する。PTA相互の連携強化、家庭教育力の向上を図る。	①小学校PTA岩井臨海学校施設見学会 ②中学校PTAスポーツフェスティバル ③小学校PTAバレーボール大会 ④小学校PTA卓球大会 ⑤小学校PTAバスケットボール大会	-	✓	✓	-	・各学校のPTA役員どうしのみならず、他校PTA役員の交流になっている。	教育総務課	教育総務課・地域教育支援担当・内線3607



【文京区アカデミー推進事業調査結果】

	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
							1	2	3	4			
119	1-2-(3)			生涯学習に関する 教員研修の実施	生涯学習の基礎づくりの場としての学校教育を 充実するため、教員に対する生涯学習の研修を 実施する。	進路指導担当教員に対して研修会を実施	-	✓	-	-	・生き方の指導の充実につながっている。 ・今後は、キャリア教育の視点ももって指導の充実を 図る。	教育指導課	教育指導課 内線3541
120	1-2-(3)			大学との連携による 学校活動支援事業 (大学等との連携に より、学生等を活用 した学校活動支援 事業)	大学生等ボランティアを活用した学習指導補助 員を派遣して、小・中学生の学力向上等を支援 する。	小・中学校26校で実施、大学生述べ174人派遣	✓	✓	✓	-	・子どもたちにきめ細かく支援できている。 ・人材の確保が難しい。	教育指導課	教育指導課 内線3541
121	1-2-(3)			バリアフリーパート ナー(大学等との連 携により、学生等 を活用した学校活動 支援事業)	バリアフリーパートナーとして、区内大学の学生・ 区民・ボランティア等と協働し、特別な支援が必 要な幼児・児童・生徒をサポートする。	17小学校、4中学校、10幼稚園	✓	✓	✓	-	・障害のあるなしに関係なく、共に学ぶ環境が形成さ れている。 ・人材の確保が難しい。	教育指導課	教育指導課 内線3541
122	1-2-(3)			総合的な学習の時 間(地域の人材の学 校での活用)	生活科・総合的な学習の時間の充実を図るた め、地域の人材を生かした区民講師を招聘する 。	各小学校・中学校で実施	-	✓	-	✓	・多様な学びが展開されている。 ・学校の求めている人材と区民講師のマッチングがう まいかないことがある。	教育指導課	教育指導課 内線3541
123	1-2-(3)		044	大学との連携による 学習指導補助員配 置事業	学生ボランティアを学習指導補助員として区立 小・中学校へ派遣する。	42大学 跡見学園女子大学、お茶の水女子大学、中央大学など	✓	✓	✓	-	・子どもたちにきめ細かく支援できている。 ・人材の確保が難しい。	教育指導課	教育指導課 内線3541
124	1-2-(3)			学生による授業のイ ンターシッブ	学生が区立幼稚園・中学校で指導の補助をす る。	お茶の水女子大学	-	✓	✓	-	・子どもたちにきめ細かく支援できている。 ・学校の求めている人材の確保が難しい。	教育指導課	教育指導課 内線3541
125	1-2-(3)			特別支援教育相談 委員会	就学就園にあたって、相談のあった幼児・児童・ 生徒の状況を審議するため、専門委員を委嘱し ている。	筑波大学	✓	✓	-	-	・専門的な助言が得られ、審議内容が充実している。 ・ケースが多くなっており、専門委員の負担がある。	教育指導課	教育指導課 内線3541
126	1-2-(3)			往還型教育実習	教育学科の学生が区立小学校において通年(1 年生秋から4年生まで)実習を行う。	東洋大学	-	✓	✓	-	・子どもたちにきめ細かく支援できている。 ・大学の希望を叶えること、また、学校の求めている 人材を確保することが難しい。	教育指導課	教育指導課 内線3541
127	1-2-(3)			大学連携協働ヘル プデスク	区内各園・学校からの相談及び区内大学等から の提案を受け、専門的知識人材等を区内各園・ 学校の教育活動に活用する。	東京大学による個別学習相談に27名の申込みがあり、認知カウンセリング により効果的な学習方法を学ぶことができた。	-	✓	✓	-	個別学習相談を実施することにより、生徒が効果的 な学習方法を自発的に使うことができた。 更に参加者を増やすため、チラシ等で学校への周知 を徹底する。	教育センター	科学教育事業担 当・内線3550
128	1-2-(3)			教員研修	区内大学の教授等を講師として招き、教員の指 導力向上を図るため、研修会を開催する。 参加対象:区内幼稚園、小・中学校教員	地域大学や学識経験者等を講師とし全23講座を開催し、幼稚園・小中 学校の教員の資質向上を図った。	-	✓	✓	-	大学等の専門知識を活用し充実した研修を実施でき た。 学校のニーズによりマッチした研修に改善することが 課題である。	教育センター	学校支援係・内 線3550
129	1-2-(3)			ボランティアの育成	ボランティアに関する理解を深めボランティア活 動への参加を促進する。 また、専門的な知識を持ったボランティアを育成 する。	夏のボランティア体験教室 参加者135人 手話講習会 修了者162人 点訳と触ってわかる図の講習会 修了者5人	-	✓	✓	-	ボランティアに関する理解を深めるということでは、多 くの方が参加し一定の効果があった。課題として は、一人でも多くの方を継続的な活動に繋げられる ような方法を確立することである。	福祉政策課	社会福祉協議会 文京ボランティア 支援センター・内 線4321
130	1-2-(3)			障害者パソコン支援 ボランティア養成講 座	障害者の社会参加を支援する一助として、障害 者のパソコン使用を支援するボランティア養成講 座を開催	修了者 3人	-	✓	✓	-	講座を通じて障害者への理解とパソコン操作をサ ポートする人材の育成ができた。しかし応募者が少な く、講座とは違った手法での人材育成を検討する必 要がある。	福祉政策課	社会福祉協議会 文京ボランティア 支援センター・内 線4321
131	1-2-(3)			傾聴ボランティア講 習会	傾聴の技術を学び、施設などで傾聴ボランティア 活動を行うことを目的としたボランティア養成講 座を開催	修了者 22人	-	✓	✓	-	講習会をきっかけに、今までボランティア活動の経験 がなかった方を活動に引き込むことができた。傾聴活 動だけに限らず広く地域福祉活動に参加できるよう、 場や情報の提供を行っていきたい。	福祉政策課	社会福祉協議会 文京ボランティア 支援センター・内 線4321
1生涯学習 3. 学びの継続を通じたまちづくり (1)学びを通じた交流・仲間づくりの推進													
132	1-3-(1)	23		サークル活動の広 報	アカデミー文京・地域アカデミー等において、各 団体の活動内容等を記載した社会教育関係団 体名簿の閲覧ができます。	財団文京アカデミー、アカデミー文京、地域アカデミー、行政情報セン ター、シルバーセンター、区民センター、学務課に名簿配架、区HPIに掲 載	✓	✓	✓	✓	・名簿が閲覧できることから自分の求める団体が探 せる。 ・冊子のため掲載情報が限られてしまう。	アカデミー推進 課	アカデミー推進 係・内線2581、 2582
133	1-3-(1) 1-3-(2) 1-3-(3)	23		ふれあいサロン	地域活動センターにおいて、幅広い年代の区民 が参加する各種イベントや様々な教室を開催し、 生きがいづくりや区民間の交流の支援、地域の さらなる活性化を目指します。	礒川・大原・湯島・向丘・汐見・駒込地域活動センターで、カーレット教 室、健康と吹き矢教室、折り紙教室、編み物教室などの講座のほか、提 案公募講座を実施しました。	-	✓	✓	✓	ふれあいサロンの目的である地域の特色を生かした 事業内容、各地域での人材発掘・育成をより一層促 進していく必要がある。また、今後は2020年東京オリ ンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成の取り組みも 検討する必要がある。	区民課	地域振興係・内 線2404
134	1-3-(1)		185	宿泊施設事業及び 山村体験宿泊施設 の運営	区民の健康増進と福祉の向上を図るため、区民 が一般料金より低廉な宿泊料金で利用できる宿 泊施設と各種サービス条件等について協定を締 結している。 区民と魚沼市との交流や体験の場として、や まびこ荘の運営を薬師スキー場組合に運営を委 託し、山村体験宿泊施設として、区民に都会で は得られない人や自然とのふれあいの機会を提 供している。	これまでの協定宿泊施設(6施設)に加え、新たに1施設との協定を締結 し、29年度以降の協定増を視野に入れ、官界団体等と協議調整を行っ た。 やまびこ荘については、安定的な施設運営を行うため、施設運営に係 る協定期間を1年から3年更新に見直しを行った。 山村体験交流事業については、魚沼市との相互交流協定の趣旨を踏 まえ、新たな事業展開について、魚沼市観光協会等の関係団体との協 議調整を行った。	-	✓	✓	✓	魚沼市との相互交流協定や区民の山村体験施設の 拠点であること等を踏まえ、運営のあり方や施設の 老朽化に伴う設備改修などの検討を行っていく。 また、協定宿泊施設や山村体験交流事業について も、魚沼市観光協会等の関係団体と連携を図りなが ら、より充実した様々な事業となるよう取組を行っ ていく。	区民課	庶務係・内線 2403

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
135	1-3-(1) 1-3-(2)			交流館における交流事業の充実	世代間を越えて、広く区民同士が交流を図れるよう、交流館において、様々な交流事業を実施する。	軽体操教室、フラワーアレンジメント教室、ママとベビーのふれあい教室、ぐるぐるバザー等	-	✓	✓	✓	指定管理者により区民同士の交流事業を多く実施している。	区民課	地域振興係・内線2404
136	1-3-(1) 1-3-(2) 3-3-(1)			地域に関する学習機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域広報紙発行補助25団体 平成28年度は、町会・自治会をはじめとした地域活動団体を対象に、「広報」をテーマとした地域を知るセミナーを開催し、広報力の強化を図った。	-	✓	✓	✓	町会・自治会が発行する地域広報紙は、地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっている。	区民課	地域振興係・内線2404
137	1-3-(1) 1-3-(3)			新たな公共プロジェクト	対話等を通じて地域の多様な主体が関わり合いながら、地域課題の解決を図る担い手を創出していく事業	25年度からの3か年事業として実施してきた。28年度については、“中間支援”パワーアッププロジェクト及び社会福祉協議会への移行期として各種事業を開催し、28年度をもって全ての事業を終了した。 対話の場(全11回、延べ参加者数309名、定員260名)、各種講座(3講座全24回、延べ参加者数401名(交流会一般参加者を含む)、定員384名)、団体連絡会(全9回、延べ参加者数95名、定員180名)、フォーラム(12月11日、参加者数149名)、ニュースレター(6回発行、1回5,500部)、ポスター(5回作成、1回500部)、成果検証会議報告書(平成28年9月発行、本編700部、概要版900部)、メールニュース(14回配信)等	✓	✓	✓	✓	28年度は、各種講座等に延べ954名の方が参加し、地域課題の解決を目指す15の活動が生まれた。29年度以降は、社会福祉協議会が運営する中間支援施設「フミコム」が主体となって新たな事業を展開し、より一層、団体活動の支援を行っていく。そのため、社会福祉協議との連携及び情報共有を有機的に行っていく必要がある。	区民課	協働推進担当・内線2422
138	1-3-(1)			各種サークル等の育成	区民の自主的な学習活動を促進するため、各種サークルの支援を行う。	消費者グループ活動助成 10名以上の消費者グループ活動の講師への助成	✓	✓	✓	✓	区民の自主的な学習活動を促進するため、各種サークルの支援を推進できた。 新規活動団体へのフォローが必要である。	経済課(消費生活センター)	消費生活センター内2460
139	1-3-(1)		090	文京区家族介護支援事業	区内に住所を有する、認知症の高齢者その他在宅の介護が必要な高齢者を現に介護する方等を対象に、認知症家族交流会、介護教室等を社会福祉法人等に委託して実施する。主な事業内容は介護技術・方法に関する指導、介護保険及び保健福祉に係るサービスの情報提供、介護者同士の交流等である。また、認知症の方やその家族だけではなく、地域の方、介護保険の事業者や専門職の方など、誰もが集い、話せる場として認知症カフェを社会福祉法人等に委託して実施する。	各高齢者あんしん相談センターにおいて事業実施 家族交流会(年8回) 介護者教室(年7回) 認知症カフェふんにこ(年19回)	-	-	✓	-	・家族交流会…参加人数が少ないため、参加しやすい開催方法(時間帯や日程等)について検討する必要がある。 ・介護者教室…テーマ等により参加人数の増減がみられるため、テーマや講師の選定について検討する必要がある。 ・認知症カフェ…圏域による参加者数のばらつきや、会場の確保が難しい状況にある。近年は、住民主体のカフェが増えてきており、運営者から相談を受けることもある。今後は、運営者への助言など、後方支援も行う。	高齢福祉課	高齢福祉課 認知症・地域包括ケア係 (2707~2709)
140	1-3-(1)			障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供する。	平成28年12月3日(土)~5日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 2,783人。	-	-	✓	-	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供することが、障害者の励みとなっている。	障害福祉課	障害者在宅サービス係・内線2754
141	1-3-(1)		065	文京区青少年の社会参加推進事業補助金	区内で非営利活動を行う団体(NPO等)が実施する、青少年の社会参加を推進する事業に対して、経費の一部を補助する。これにより、当該事業の充実を図り、青少年が主体的に社会と関わることができる機会や場を提供し、青少年の社会参加を推進し、青少年の自立を促進することを目的とする。	【平成14年度~】 7事業に対し経費の一部を補助	-	-	✓	-	NPO等の特性を活かした、青少年が主体的に社会と関わることができる機会や場を提供する各種事業が実施された。 様々な事業が展開できるよう、申請実績のないNPO等にも情報が行き届くよう、補助事業に関する周知の充実を図ることが課題である。	児童青少年課	青少年係・内線7033
142	1-3-(1)			さまざまな交流の機会の提供	男女平等参画のための相互交流の機会を提供する。	男女平等センターまつり(10月22~23日 参加団体40団体、来場者数延1,436人)	✓	✓	✓	✓	・日頃センターで活動している団体の活動発表や、講演会及びコンサートを行うことでセンター利用者間の交流ができた。 ・今後も継続して集客するために、まつりの実施方法を工夫していく。	総務課	ダイバーシティ推進担当・内線2261
143	1-3-(1)			湯遊入浴デー	毎月第2日曜日及び第4日曜日を「湯遊入浴デー」として、区内在住者を対象に、区内実施浴場を100円(小学生以下は無料)で利用できる入浴デーを実施し、異世代交流の場を提供する。また、特別湯として、敬老の湯(9月の第4日曜日)・初春の湯(1月の第2日曜日)を実施している。	年間入浴者実績数:41,053人(平成29年3月末時点での実績)	-	✓	✓	-	・設備機器の更新、入替等を実施した浴場は、入浴者数の増加があった。 ・幾つかの銭湯で混雑のため、入場待ちや脱衣室での空きロッカー待ち等、浴場自体の広さの問題が浮き彫りとなった。	生活衛生課	管理計画係・内線2814
144	1-3-(1)			出合いの湯	公衆浴場が自ら計画、イベント等を企画し、特別湯等を実施する。 地域住民に積極的に参加してもらうことにより、高齢者、若者、親、子の交流の場としての公衆浴場の有効活用と活性化が図られる。	区内6浴場で、年10回実施	-	✓	✓	-	・「文の京~坂と銭湯ゆったり巡り~」は区内の坂を巡り、巡ったあとは昔ながらの大きいお風呂(銭湯)に行こう!という企画を実施。 例年と比べ、銭湯マップの配布は好評であった。 ・季節毎の特別湯の実施時期(特にお盆)により、利用者数が著しく減少。利用する上での活性化(PR事業)が課題。	生活衛生課	管理計画係・内線2814
145	1-3-(1)			健康づくり自主グループ等の育成	健康づくり自主グループの活動に対し助言を行い、活動を支援する。	栄養関係健康づくり自主グループへの支援・助言	✓	✓	✓	✓	支援・助言の実施により、自主グループの安定した活動を支えることができたが、高齢化等で減少していく会員の拡大を図るためには、区の事業に参加された区民を紹介していく必要がある。	保健サービスセンター	健康相談係・内線2844
146	1-3-(1)			ステージ・エコ イン 区民ひろば	リサイクル事業のひとつとして、年6~7回区民ひろばでフリーマーケットを開催し、ゲスト団体のブースを併せて展開している。	【平成20年度~】4、7、9、12、2月に区民ひろばで、5、10月に教育の森公園でフリーマーケットを行った。来場者数は区民ひろばが各約千名、教育の森公園の5、10月とも約7千名。	-	✓	✓	-	・毎回盛況であり、事業が定着している。 ・区民ひろばの出店者が固定しているため、新規の出店者を開拓することが課題である。	リサイクル清掃課	リサイクル推進係・内線2192



【文京区アカデミー推進事業調査結果】

	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
							1	2	3	4			
147	1-3-(1)			ボランティアの交流・協働への支援	ボランティア・市民活動団体の交流を図り、活動しやすい環境をつくる。また、多様な協働を支援し、区内のボランティア活動がより活発化するよう働きかける。	来場者 1,900人	-	-	✓	-	出展団体の出展目的、活動の周知が果たせる場となっている。また個人のボランティアが活動しやすいイベントであり、多くの参加がある。今後は来場者にまつりの目的を明確に伝えられるような工夫が必要である。	福祉政策課	社会福祉協議会 文京ボランティア 支援センター・内 線4321
1生涯学習 3. 学びの継続を通じたまちづくり (2)地域で支える学習環境の充実													
148	1-3-(2)			地域公益活動情報サイトの運営	サイトによる地域活動の情報を提供	地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」の「トピックス記事」や「イベント情報」などの情報発信を充実させるとともに、夏休み特集の小中学校への周知などにより、多くの区民に情報を発信した。 なお、平成29年1月に社会福祉協議会が地域活動情報サイト「どっとフミコム」をオープンしたことに伴い、地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」の運営を終了した。	✓	✓	✓	✓	地域活動の情報発信を充実させ、区民の地域活動への参加促進を図った。 引き続き、社会福祉協議会と連携しながら、地域活動情報サイト「どっとフミコム」の各種情報発信機能を充実させていく必要がある。	区民課	協働推進担当・ 内線2422
149	1-3-(2) 4-3-(1)			文京博覧会(ぶんぱく)2015	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介	H28.11.18～19開催 会場:区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビックホール小ホール、スカイホール 7大学 跡見学園女子大学、お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、日本医科大学、日本女子大学 来場者数:10,105人	✓	-	✓	-	区内企業・産業団体・消費者団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業・消費生活について広く区内外に情報発信を行った。区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知ってもらうため、積極的な情報発信を行っていく必要がある。	経済課	産業振興係・内 線:2453
150	1-3-(2)			登録消費者団体との連携	必要とされる消費生活の情報提供を行い、消費者団体の活動促進を図る。	消費者団体登録数/7団体 文京区消費者団体連絡会6回 消費生活見学会2回	✓	-	✓	✓	必要とされる消費生活の情報提供を行い、消費者団体の活動促進を図れた。 消費者を取り巻く社会状況の変化に対応できるよう、情報収集手法に工夫が必要である。	経済課(消費生活センター)	消費生活セン ター内2460
151	1-3-(2)			障害者施設の学園祭への参加	昨年度の大学連携会議で提案したものが具体化し、障害者施設自主製品の委託販売を実施。今年度は4施設が出店で参加予定(障害当事者も参加)。	貞静学園短期大学 11月25日(金)施設職員と学生の顔合わせ 12月10日(土)・11日(日)学園祭にハートフル工房外部出店	-	-	✓	-	障害者施設自主製品の委託販売を実施することができた。	障害福祉課	障害福祉係・内 線2752
152	1-3-(2)			文の京ハートフル工房(障害者施設商品販売会)における区内大学との地域連携	毎月1回開催されている文の京ハートフル工房(障害者施設商品販売会)で、区内大学学生との協働として販売会内でのイベント企画等を行っている。学生は障害者と接する学びの機会となっている。	跡見学園女子大学山下ゼミとの協働プロジェクトとして、販売会及び施設への訪問取材、施設へのアンケートを実施し、文の京ハートフル工房の商品カタログを作成。 学生による施設職員へのプレゼン:7月15日(金) 施設への訪問取材:8月19日(金)、8月22日(月)、9月7日(水)、9月9日(金)、11月11日(金)	-	-	✓	-	区内大学生との協働として、販売会内でのイベント企画等を行うことができた。学生にとっては、障害者と接する学びの機会となっている。	障害福祉課	障害福祉係・内 線2752
153	1-3-(2)			文京区青年育成事業補助金	区内で非営利活動を行う団体(NPO等)が実施する、青年を育成する活動に対して、経費の一部を補助する。これにより、当該事業の充実を図り、地域社会において自主的に活動できる青年の育成を図ることを目的とする。	【平成20年度～】 4事業に対し経費の一部を補助	-	-	✓	-	NPO等の特性を活かした、青年自らが企画・実施し、地域社会において自主的に活動できる青年の育成を図る各種事業が実施された。様々な事業が展開できるよう、申請実績のないNPO等にも情報が行き届くよう、補助事業に関する周知の充実を図ることが課題である。	児童青少年課	青少年係・内線 7033
154	1-3-(2)			文京区「家庭の日」啓発	毎月第2日曜日を文京区「家庭の日」と定め、家庭の意義を見直し、家族のふれあいや結びつきを深めるため、各種啓発事業を展開している。	・広報啓発用植物の種8,500個を作製し、区立小学校全児童へ配付 ・文京区青少年健全育成会が実施する家族のふれあい促進事業に対し、補助金を交付 ・文京区「家庭の日」に合わせ、11月13日(日)に文京区青少年健全育成会九地区合同行事「文の京こどもまつり」を実施	-	-	✓	-	広報啓発用植物の種の配付及び「文の京こどもまつり」等の事業を通して、家庭の意義を見直す機会を創出するとともに、家族のふれあいの場を提供し、啓発の充実を図った。 事業等の継続実施による意識啓発が重要であり、事業の性質として、短期的な効果が測れない点が課題である。	児童青少年課	青少年係・内線 7033
155	1-3-(2)			文京区青少年健全育成会活動支援(平成27年4月より、文京区青少年健全育成会へ変更)	青少年の健全育成のため活動している文京区青少年健全育成会(9地区)を支援する。	・事業補助 ・会長会 年3回 ・地区連絡会 年2回 ・委員研修会 年1回	-	-	✓	-	地域の特性を活かして実施する事業に対して補助を行うとともに、地区連絡会等の開催を通して情報交換を行い、活動の充実を図った。 地域団体、PTAなど幅広い年代が連携して事業を実施することにより、多様なつながりが生まれ、地域の交流が促進された。	児童青少年課	青少年係・内線 7033
156	1-3-(2)			PTA育成(親子ふれあい教室)	PTAが実施する親子のふれあいを深めるための事業を支援し、経費の一部を負担する。	対象:区立幼稚園、小学校、中学校 全40校(園) 【28年度実績:35校園】	-	-	✓	-	・PTA、学校、子どもたち、地域住民が交流するよい機会となっている。	教育総務課	教育総務課地域 教育支援担当・ 内線3607
157	1-3-(2)			学校支援地域本部事業	地域の教育力の活性化を図り、子どもたちの「生きる力」「確かな学力」を育むため、地域全体が学校教育を支援する体制を整備し、推進する。また、本事業は、地域住民等の学習成果を活用する機会にもなっている。	平成20年度より開始。現在区立小学校15校、中学校4校に設置。 各本部に置かれた地域コーディネーターのコーディネートにより、地域の方々が、校外学習の支援、図書ボランティア、クラブ活動の指導などを行っている。 平成28年度からは、学習支援ボランティア事業を5校で開始。	✓	-	✓	-	・学習支援ボランティア事業は、個別指導形式により子どもたちの学力向上、学習の習慣づけになっている。 ・コーディネーターやボランティアの人材確保が課題である。	教育総務課	教育総務課・地 域教育支援担 当・内線3607

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線		
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4					
158	1-3-(2)			青少年委員による 学校支援活動等	青少年委員会に、学校支援に深く関わりのある 事業を委託することにより、地域とのつながりを 深め、地域全体で学校教育を支援する体制づく りを推進するとともに、青少年の健全育成を推進 する。	5事業を青少年委員会へ委託した。 ・五者合同研修会(7月実施。講師：一般社団法人Colabo代表 仁藤夢 乃) ・中学生サミット(7月・12月実施。区立中学校各2名、幹事校のみ5名参 加) ・クリーンウォーク(7月・2月実施、会場校:昭和小・第三中、延参加者217 名) ・小学生向け事業(12月実施、会場校:窪町小、参加者73名) ・青少年委員会HPの更新	✓	✓	✓	-	・学校、地域、PTA等のパイプ役となっている。 ・他校の児童や生徒の交流の場を提供している。	教育総務課	教育総務課・地 域教育支援担 当・内線3607	
1生涯学習 3. 学びの継続を通じたまちづくり (3) 学び合いとまちづくりにつながる学習の促進														
159	1-3-(3)		24	文京お届け講座	区民の自主的な学習活動を支援するとともに、 区の職員が地域の団体の要望に応じて講師とし て職務に関する話をする事で、職員の意識改 革と住民との協働関係の醸成を図ります。	実施講座数19 受講人数1,685人	✓	✓	✓	✓	・区職員が講師のため身近で実用的である。 ・76講座に対し19件の依頼で、もっと活用してほし い。	アカデミー推進 課	アカデミー推進 係・内線2581	
160	1-3-(3) 3-3-(1)		24	161	「文京学」講座	文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミア講 座の中で地域に関する講座を実施し、文京区 の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるた めの学習機会を提供します。	・文京アカデミア講座 5講座 ・文京いきいきアカデミア講座 5講座	✓	-	-	✓	・学習支援者等の協力もあり、地域に関する講座を 提供できました。 ・何を地域学のテーマにするか、リサーチが必要で す。	アカデミー推進 課	(公財)文京アカ デミー庶務係・内 線4004
161	1-3-(3)			災害時における相 互協力に関する協 定書	発災時における避難場所の提供等	6大学 お茶の水女子大学、拓殖大学、筑波大学、東洋大学、三室戸学園、文 京学院大学	-	-	✓	-	28年度新たに文京学院大学と相互協力に関する協 定を締結し、さらに災害時の区内大学との連携を強 化することができた。	防災課	計画担当 内線 2543・2544	
162	1-3-(3)			防災訓練	協定締結に基づき、東洋大学・地元町会・区とで 防災訓練を実施。	東洋大学に係る実績ではないが、協定締結に基づき、文京学院大学の 学生に、避難所総合訓練にて、外国人避難者受け入れボランティアとして 協力していただいた。	✓	✓	✓	-	・協定締結先との連携の強化及び避難所総合訓練に おいて、災害時を想定したより実践的な訓練を行い、 災害対策の推進を図ることができた。 ・今後も協定締結先と平常時からの協力関係をさら に構築することが必要である。	防災課	庶務担当 内線 2541	
163	1-3-(3)			災害時における母 子救護所の提供に 関する協定書	発災時において、妊産婦・乳児救護所としての 施設提供等	5大学(跡見学園女子大学、順天堂大学、貞静学園短期大学、東洋学園 大学、日本女子大学) ※跡見学園女子大学では、区と協力し、妊産婦・乳児救護所開設訓練を 行った。	✓	✓	✓	-	・跡見学園女子大学にて実施した訓練を通じ、発災 時の避難者受け入れ態勢の整備を図ることができ た。	防災課	計画担当 内線 2543・2544	
164	1-3-(3)			新成人を祝い、成人 としての自覚を促す 式典の開催	区内の新成人を含めた「はたちのつどいを考え る会」によりアトラクション等を選定し、新成人た めの式典を開催する。	H29.1.9実施 新成人対象者1,848人 参加者1,114人 区制70周年記念事業「新成人座談会withくまモン」実施	-	-	-	✓	「はたちのつどいを考える会」を5回実施し、新成人が 中心となり式典内容の検討を進めた。	区民課	地域振興係・内 線2404	
165	1-3-(3) 4-2-(4)			商店会との連携	商店会イベントの運営にインターンシップの一環 で学生が参加	H28.11.13 第19回追分通り商栄会まつり 文京学院大学 380人	-	✓	✓	✓	商店街街区の来場者が多かったため、日常の会話 や顔なじみへの進展・活性化が図れた。	経済課	産業振興係・内 線:2452	
166	1-3-(3)			とびだせ！消費者 きょういく	区内各施設へ消費生活センターが外向き、若者 や高齢者の消費者被害防止のための講義や相 談を受け付ける。	クールアースフェア1回 区民ひろば3回 区内事業者1回 区内大学1回 計6回	✓	✓	-	✓	庁舎外へ消費生活センターが外向くことにより、若者 や高齢者の消費者被害防止のための講義を提供で きた。 他部署との連携も視野に入れていきたい。	経済課(消費生 活センター)	消費生活セン ター内2460	
167	1-3-(3)			団体への講師派遣 制度の実施	団体の自主的な学習を促進するため、学習団体 等が合同で講習会等行う場合に講師を派遣す る。	○子育てひろば西片「トイレトレーニング」(6月、59人) ○椿山荘「妊娠期の特徴と配慮」(9月、54人) ○ろうきんロジテック「健康を守る いつまでも元気であるために」(10月、 40人)	✓	-	✓	-	子育てに関する知識の提供や、妊婦への配慮、地域 資源の周知、会社内の職員の健康維持に向けた工 夫等について共有を行った。	保健サービスセ ンター	保健指導係・内 線2855 本郷支 所・内線2850	
168	1-3-(3)			文京エコ・リサイクル フェア	地球環境に配慮した資源循環型社会の構築を 目指すため3R推進月間に合わせて、リサイク ル・環境団体の活動の成果を紹介し地域住民と の交流を図る。	【平成12年度～】10月22日開催 参加団体22 教育の森公園で展示や体験等の出展およびフリーマーケットの開催 来場者約14,000名	-	✓	✓	✓	・平成12年度から行っており、定着した事業となっ ている。 ・事務局の3R啓発の取り組みが不足していた。啓発 の方法が課題である。	リサイクル清掃 課	リサイクル推進 係・内線2191	
169	1-3-(3)			ふれあい給食・ふれ あい会(学校行事へ の住民参加)	地域の人やお年寄りを給食に招待しコミュニ ケーションを図る(小・中学校でのふれあい給食) 地域の人やお年寄りとの交流会を開く(幼稚園 でのふれあい会)	各幼稚園・小学校・中学校で実施	-	-	✓	-	・交流のよい機会となっている。 ・交流の機会を日常的なふれあいにしていくことが課 題である。	教育指導課	教育指導課 内線3541	
170	1-3-(3) 3-3-(1) 4-3-(3)			社会科副読本の作 成及び購入(地域に ついての学習の推 進)	地域の歴史や伝統・文化を理解するため社会科 副読本(小学校「わたしたちの文京区」「わたした ちの東京」、中学校「わがまち文京」)を作成・購 入する。	社会科副読本の作成「わがまち文京」「わたしたちの文京区」 「わたしたちの東京都」購入	✓	✓	-	-	・作成した副読本を社会科の授業等で活用している。 ・今後も内容の充実を図る。	教育指導課	教育指導課 内線3541	



【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
							1	2	3	4			
2 スポーツ 1. スポーツを身近に感じる機会の拡充 (1)スポーツの楽しさを知る機会の創出													
171	2-1-(1) 2-2-(1)	28		初心者向けスポーツ教室	区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。	平成28年度より、初心者向けスポーツ教室を指定事業として位置づけ、全3教室を実施しました。 28年5～6月：初心者アーチェリー教室、28年6月：初心者弓道教室、28年10～11月：初心者合気道教室	✓	-	-	-	初心者向けの教室を実施することにより、普段体験することができない競技を区民の方に経験してもらうことができた。 より多くの方に体験して頂けるよう、積極的に周知を行う。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
172	2-1-(1)	28		小・中学生向けスポーツ教室	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、スキー、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。	ジュニアスキー教室(平成14年度より実施) 平成28年12月17日、40名参加(173名応募) ジュニアローラースポーツ教室(平成26年度より実施) 平成29年3月30日、31日それぞれ42名参加(255名応募)	-	✓	✓	-	区内在住・在学の小中学生を対象に心身の健全育成・ジュニアスポーツ振興を目的に嫉視する。いずれも人気の事業で毎年抽選の倍率が高いので、多くの方が参加できるように、主管団体と協議する必要がある。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
173	2-1-(1) 2-2-(2) 2-4-(2)	28		親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次世代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催する。	親子はげ釣り教室(平成23年度より毎年実施) 平成28年7月23日、48名参加(366名応募) 親子ボウリング教室(平成21年度より毎年実施) 平成28年9月3日、10日、24日、延べ69名参加(74名応募)	-	✓	✓	-	親子のスポーツ活動を通じ、スポーツに親しみをもつきっかけをつくる。申込み者が多いので、より多くの方が参加出来るよう、主管団体と協議する必要がある。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594 スポーツ振興係・内線2592
174	2-1-(1)	28		体育の日事業	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、体育の日事業を開催します。	平成27年度より指定事業として実施し、28年度が2回目の開催となりました。 ロンドンオリンピック競泳メダリストや東京オリンピック体操メダリストを講師に招聘した教室の外、各スポーツ施設を無料開放して各種教室を実施しました。	✓	-	-	-	施設の無料開放を行うことにより、広く区民に対してスポーツ施設の利用を促すことができた。 今後も事業を通じて施設の利用促進、スポーツ振興につなげていく。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
175	2-1-(1)			健康教育	区民の健康の保持・増進を図るため、生活習慣病予防等の講演会を開催する。	○精神保健講演会 2回 ○健康づくり講演会 2回 ○生活習慣病予防教室 7回 ○健康スキルアップ教室 8コース ○ウォーキング教室 48回開催	✓	-	✓	-	こころの健康づくり、生活習慣病予防、運動のきっかけ作りと運動習慣の継続等を目的として実施した。約8割の参加者が教室前後で動機が高まっていた。	保健サービスセンター	保健指導係・内線2855 本郷支所・内線2850
176	2-1-(1)			オリンピック・パラリンピック教育推進事業一日校長先生	小・中学校において、一日校長先生(こころのプロジェクト夢の教室事業)を実施する。平成27年度から平成29年度まで、1か年に小・中学校10校ずつ、3か年で全30校にて実施する。	小学校・中学校の10校において実施	-	✓	-	-	・児童、生徒は夢に向かって努力しようという意欲を向上させた。 ・業者との契約の際、「単価」の考え方について共通理解を図る必要がある。	教育指導課	教育指導課 内線3541
2 スポーツ 1. スポーツを身近に感じる機会の拡充 (2)スポーツ観戦の場と機会の拡充													
177	2-1-(2)	29		スポーツ・パブリックビューイング	区民ひろばやシビックホールなどで、ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどのパブリックビューイングを開催し、皆で観戦する楽しさを共有します。	・リオ2016オリンピック競技大会パブリックビューイング 8月5日～8月22日の期間で12日間実施。延べ動員数:2021人 ・リオ2016パラリンピック競技大会パブリックビューイング 9月8日～9月16日の期間で7日間実施。延べ動員数:295人 ・アジア最終予選 - ROAD TO RUSSIAパブリックビューイング 10月6日、11月15日、3月28日で実施。延べ動員数:270人	-	✓	✓	-	パブリックビューイングを開催し、大勢で観て応援することで、スポーツをより身近に感じる機会を提供した。また、そうした盛り上がり、スポーツ活動へのきっかけづくりとなり、地域スポーツの推進に繋がる。知名度の低い競技については知名度を上げるための広報活動が求められる。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
178	2-1-(2) 2-1-(3)	29		読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	読売巨人軍との協定に基づき、観戦事業のほか、選手との触れ合いの場や走り方・投げ方教室等の各種事業を展開します。	ボール投げ&走り方教室(平成25年度より実施) 平成28年6月19日、26日親子1年生の部:述べ81組162名参加(応募307組614名) 親子2、3年生の部:述べ72組144名参加(応募273組546名) 読売巨人軍×文京区 スペシャルイベント(平成22年度より実施) 平成28年9月11日48組154名参加(応募199組674名)	-	✓	✓	✓	小学生の運動能力向上に寄与することを目的とし、「投げる・走る」の基本を身につけるための技術指導をジャイアンツアカデミー講師陣により実施する。また、区民限定イベントの開催により、親子の触れ合いの場を提供する。いずれも人気が高く抽選で落選する申込者が多いが、事業内容から参加者増は見込めない状況である。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
179	2-1-(2)	29		文京LBレディーズ支援事業	地域の大学や企業との連携により設立した女子サッカーチーム「文京LBレディーズ」の活動を支援し、区民等が身近なチームの試合観戦を通じて、地域で応援できる環境を整えます。	・区立スポーツ施設(小石川運動場、江戸川橋体育館)、東京大学グラウンド等で週3日程度のトレーニングを実施。 ・区が日本サッカー協会(JFA)に依頼し、毎月1回程度、指導者を派遣。	-	✓	✓	✓	当該クラブチームを区と教育委員会、東京大学、日本サッカー協会の連携関係を築くことができた。引き続き女性が生涯に亘りサッカーを続け、楽しむことができる環境を整備していく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
2スポーツ 1. スポーツを身近に感じる機会の拡充 (3)プロスポーツ等団体との連携・協力													
180	2-1-(3)	30	174	日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	スポーツをより身近なものとするため、日本サッカー協会との協定に基づき、サッカー教室等をはじめ、各種事業を展開します。	日本サッカー協会との協働事業は平成22年度より実施。平成28年度は「手倉森誠氏のジュニアサッカー教室」を開催。小学4・5年生76名参加(定員60名/応募89名)	-	✓	✓	-	日本サッカー協会との協働事業により、地域社会におけるスポーツ発展に貢献することができた。引き続き青少年の健全育成に寄与する事業を行っていく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
181	2-1-(3)	30	174	講道館との協力に基づく事業の実施	講道館との協力により、スポーツに触れる機会を拡大するため、講習会等、各種事業を展開します。	講道館内にある、視覚障害者柔道連盟に所属しているリオ2016パラリンピック出場選手の、メダル獲得報告会を実施した。	✓	-	-	-	講道館とは十分な連携が図れなかったため、引き続き、講道館と信頼関係を醸成していく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
182	2-1-(3)	30	174	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。	文京区発となるサッカー団体CLUB LB&BRB TOKYOと相互協力協定を締結した。	-	✓	✓	-	チームの選手やコーチによるサッカー教室や部活動へのコーチの派遣等を行う。引き続き区内企業等への協力要請を行い、事業の充実を図る必要がある。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
2 スポーツ 2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進 (1)スポーツを楽しむ人を増やす													
183	2-2-(1)	31		地域スポーツ団体の支援・育成	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。	親子スポーツ教室委託2団体 小中学生スポーツ教室委託2団体 区民大会委託32団体	-	✓	✓	-	引き続き、地域スポーツ団体に事業の開催を委託し、団体の育成を行う。さらに発展させていくための手法を検討する必要がある。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
184	2-2-(1) 2-3-(1) 2-4-(1) 2-4-(2)	31	173	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	平成28年度は、区立小・中学校18校にて延べ1,517日実施、延べ31,418人が参加しました。	✓	✓	✓	-	広く区民に対して、スポーツする環境を提供することができた。今後は、実施場所や種目の拡大について検討していく。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
185	2-2-(1)	31		個人利用のための スポーツ施設の開 放と指導員によるア ドバイス	水泳、卓球、バドミントン、バスケットボール、バ レーボール、ビーチボール、合気道、弓道、アー チェリー、柔道、剣道、ミニテニスなどの種目につ いて、指導員を配置し、個人向けにスポーツ施 設を開放します。	左記のスポーツについて、それぞれスポーツセンター、総合体育館、江 戸川橋体育館において一般開放および個人利用者向けの指導を行いました。 また、スポーツセンター休館後は、スポーツセンターのみで実施していた バレーボール及び弓道を総合体育館へ移行し、実施しました。	✓	-	-	-	広く区民に対して、スポーツする環境を提供すること ができた。	スポーツ振興課	施設等担当・内 線2594
186	2-2-(1)	31		各種区民スポーツ 大会等の開催	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会 の場として、各種区民スポーツ大会を開催しま す。	体育協会に加盟している32団体が区民大会を実施。	-	✓	-	-	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場 を提供した。スポーツセンター改修期間中の会場確 保等の課題については、大会運営の工夫により適切 に対応していく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・ 内線2591
187	2-2-(1)	31		文京区表彰要綱に 基づく顕彰事業	スポーツの分野で、全国規模又は東京都の競技 大会等において、優秀な成績や優れた功績が あった区内の選手・団体に対し、表彰します。	文京区表彰要綱に基づく顕彰 2件	-	✓	-	-	引き続きスポーツの分野で、全国規模又は東京都 の競技大会等において、優秀な成績や優れた功績が あった区内の選手・団体に対し、表彰する。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・ 内線2592
188	2-2-(1)	31		一般向けスポーツ 教室	幅広い年齢層の区民の健康・体力づくりを推進 するため、各種スポーツやレクリエーション教室 を開催します。	区立スポーツ施設において、成人向けの教室として元気ニコニコ体操教 室やアクアエクササイズ教室を、小・中学生向けの教室としてチャレンジ スポーツ教室塾等を指定事業として実施しました。	✓	-	-	-	幅広い年齢層を対象として、様々な事業を開催す ることができた。	スポーツ振興課	施設等担当・内 線2594
189	2-2-(1)			①介護予防講演会 ②介護予防展 ③介護予防出前講 座	全高齢者を対象に介護予防普及啓発事業を実 施する。	実施回数、参加者数 ①年3回(6月、11月、2月)、439人 ②年1回(3月)、1,012人 ③年4回(依頼により実施)、99人	✓	-	-	-	・講演会では、ロコモ予防、低栄養予防、認知症予防 をテーマとし、多くの区民に介護予防の必要性を啓 発することができた。 ・予防展は、気軽に体験するためのイベントとして行 なっているが、例年の使用会場(1Fギャラリー、アートサ ロン)が展示用の部屋であるため今後体験ものは行な わないようにと言われており、会場あるいは内容につ いての検討が課題である。	健康推進課	介護予防係・内 線3350
190	2-2-(1) 2-3-(4)			健康・体力増進事業	大学等と連携し、区立幼稚園・小学校における 運動能力調査結果に基づき、指導員等を派遣す る。また、健康トレーナーによる巡回相談や健康 教室の開催、がん教育に関する授業及び講演 会を行う。	健康トレーナーを全20校の小学校へ派遣し健康相談等を行った。大学と 連携し幼稚園10園で体力テストを実施し活用した。小中13校へ医師や 教授等を派遣しがん教育を実施した。	-	✓	✓	-	健康トレーナーや体力向上アドバイザーの派遣によ り、各幼稚園・小中学校の健康課題の改善されてい る。 保護者へも啓発していくことが課題である。	教育センター	科学教育事業担 当・内線3550
2 スポーツ 2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進 (2)多様なニーズに対応するプログラムの提供													
191	2-2-(2) 2-2-(3)	32		アウトドアスポーツ 事業	東京近郊での軽登山やノルディックウォーキング などの自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実 施します。	ファミリーハイキング教室(平成15年度より毎年実施) 平成28年5月29日、60名参加(161名応募)	-	✓	✓	-	東京近郊での軽登山やノルディックウォーキングを通 じてスポーツをするきっかけづくりをする。民間業者 が実施している内容と違いを作るように工夫する。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・ 内線2592
192	2-2-(2)	32		ジュニア・アスリート 育成事業	区内大学及びプロスポーツ団体等との協働によ り、ジュニア選手を発掘、育成、強化し、スポーツ 活動を通じて、心身の健全な育成とジュニアス ポーツの振興を図ります。	本事業は平成26年度より順天堂大学の協力を得て実施している。優秀 な選手を発掘・育成し、将来、アスリートとなるために必要な能力を身に 付けるための支援を行った。 実技講習会は24回実施。他にも、トレーニングやメンタルに関する講座、 食育講座等を開催。	-	✓	✓	✓	スポーツ団体や大学等がもつ専門的な知識による指 導により、総合的な支援を行い優秀な選手の発掘・ 育成・強化をおこなった。引き続きサポートできる体 制を整えていく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・ 内線2591
193	2-2-(2) 2-2-(3) 2-4-(2)	32		ニュースポーツ教 室・大会	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむこと ができるドッチビーやポッチャ等の各種ニュース ポーツ教室や大会を実施します。	ニュースポーツ教室30回実施 みんなで楽しくニュースポーツ教室(平成18年度より毎年実施)種目ドッ チビー 平成29年3月4日、205名参加(21チーム)	-	✓	✓	-	ニュースポーツを通して障害の有無や年齢に関わら ずスポーツを楽しむ事が出来る。競技の認知度を上 げてくため、広報活動を広く行う。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・ 内線2592
194	2-2-(2)	32		シニア向けスポーツ 教室	水泳や体操などの種目や運動など、シニア世代 がスポーツを楽しむことのできる教室を実施しま す。	60歳以上の方を対象として、高齢者水泳+健康体操教室、シニア健康 体操教室、高齢者水中ウォーキング教室を実施した。	✓	-	-	-	シニア世代がスポーツに親しめる環境づくりを行うこ とができた。 今後も継続してシニア世代のスポーツ環境確保に努 める。	スポーツ振興課	施設等担当・内 線2594
195	2-2-(2)	32		着衣泳講習会	海水浴や川遊びなど夏のレジャーシーズンを前 に、水の事故に遭遇した際の自己対処法を学ぶ ため、着衣泳教室を実施します。	平成28年6月29日(水)にスポーツセンタープールにて実施しました。	✓	-	-	-	水中での身の守り方について、学んでもらうことが できた。 次回は、参加者に配慮した日程確保を検討する。	スポーツ振興課	施設等担当・内 線2594
196	2-2-(2) 2-2-(4)			スポーツ活動への 参加機会の充実	区民の健康維持・増進のため、スポーツやレク リエーションに関する機会を提供する。	心身障害者・児通所施設合同運動会 10月1日(土)開催 区内9施設 参加者数 650人 貞静学園短期大学	-	-	✓	-	障害者のみならず、若さみなぎる大学生の参加によ り、運動会をさらに盛り上げることができた。	障害福祉課	障害者在宅サー ビス係・内線275 4



【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
							1	2	3	4			
197	2-2-(2)			①筋力向上トレーニング事業 ②筋力向上マシントレーニング事業 ③口腔機能向上プログラム事業 ④栄養改善複合型プログラム事業 ⑤訪問指導プログラム事業	「健康質問調査票(基本チェックリスト)」を送付し、調査票の回答結果から、生活機能の低下がみられる方を対象にプログラム事業を実施する。	実施回数、参加者数、延べ参加者数 ①1,128回、334人、6,368人 ②56回、42人、290人 ③48回、37人、368人 ④36回、27人、255人 ⑤0回、0人(希望者なし)	-	-	✓	-	・高齢者の健康状態に合わせた短期集中予防サービス(各種プログラム事業)により、生活機能の低下がみられる方の機能回復を図ることで要介護状態となることの予防につながった。 ・参加者からは好評で、事業効果もあることが確認されているが、定員充足率が60%台に留まっていることが課題である(⑤の訪問型実績0は希望者がいなかったため)。対象者には高齢者あんしん相談センターより電話等で参加勧奨しているが、より効率的な事業となるよう見直しを検討する必要がある。	健康推進課	介護予防係・内線3350
198	2-2-(2)		077	①文の京介護予防体操事業 ②転倒骨折予防教室 ③尿失禁予防教室 ④認知症予防教室 ⑤膝痛腰痛予防教室 ⑥複合型介護予防教室	全高齢者を対象に介護予防教室を実施する。	実施回数、参加者数、延べ参加者数 ①959回、1,137人、30,053人 ②305回、241人、3,490人 ③6回、95人、107人 ④390回、426人、4,104人 ⑤10回、231人、231人 ⑥48回、80人、840人	-	-	✓	-	・①は、高齢者がいつでも気軽に運動を行なえるよう区内13ヶ所の地域会場で、申込不要の自由参加型で実施している。参加人数が増えた会場は、入替で1日2回行う2部制とし対応している。 ・②～⑥は区報で申込としており、毎回多くの申込をいただいている。 ・いずれの事業も、多様なメニューを用意することで、多くの区民が介護予防の取り組みを行う機会となっているが、主な会場が区有施設であるため、会場確保が課題である。	健康推進課	介護予防係・内線3350
199	2-2-(2)			健康・体力づくりのための事業の充実(公害保健福祉・予防事業)	区民の健康・体力づくりを支援するための事業を実施する。	・呼吸器健康講座→ 4回開催 79人参加 ・公害認定患者等に対する水泳奨励事業→ 区内体育施設のプールを延べ865回利用 ・ぜん息児水泳教室→ 15回開催 延べ427人参加	-	-	✓	-	・気管支ぜんそく等の呼吸器疾患を持つ区民にとっては、呼吸機能等の維持、改善の一助となっている。 ・事業によっては、参加者が固定化しており、新規の参加者の獲得が難しい。	予防対策課	保健予防係・内線2815
2 スポーツ 2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進 (3)スポーツをともに楽しむ意識の醸成													
200	2-2-(3)	33		スポーツ指導者地域派遣	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援します。	スポーツ指導者地域派遣 41件	-	✓	✓	-	地域のスポーツ活動を支援する事に努めた。より多くの方に利用して頂けるよう、積極的に周知を行う。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
201	2-2-(3)			高齢者歩け歩け大会	高齢者の健康づくりに役立てるため、公園等までの1km～2kmを歩きます。	高齢者歩け歩け大会はH23年度で終了	✓	-	-	-	シニアプラザ事業(平成26～27年度 区重点施策事業)の一環として、区内大学の学生が作成した区内探訪コースを学生の案内で歩く「健康まち歩き」を実施。H28以降は、いきがづくり世代間交流事業として継続実施。	高齢福祉課	高齢福祉課 社会参画支援係 (2711・2712)
2 スポーツ 2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進 (4)障害者スポーツの普及振興													
202	2-2-(4)	34		スポ・レクひろば	知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通して、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供します。	平成28年度は57人が全11回の教室に参加し、風船バレーや大玉転がしなどのレクリエーション活動を楽しんだ。	-	-	✓	-	普段スポーツをしない参加者にとっては貴重なレクリエーション活動を行う場となっている。区内福祉施設広く周知を行い、参加者を募っていく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
203	2-2-(4)	34		障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行います。	平成28年度は、軽体操・トレーニングを9回、水泳6回、卓球3回の全18回実施し、延べ〇〇人参加しました。	✓	-	-	-	参加者が、施設のハード面・ソフト面いずれに対しても慣れることができ、個人利用の登録に繋がった。また、施設の方も障害を持った方への対応について学ぶことができた。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
204	2-2-(4)	34		パラリンピアンと楽しむ障害者スポーツ事業	パラリンピアンを招き、ポッチャなどのだれもが楽しむことのできるスポーツ体験事業を開催します。	リオ2016パラリンピックに出場した、視覚障害者柔道の選手を招き、報告会を実施し、視覚障害者受動の魅力伝えた。また、ブラインドサッカーブラジル代表を招き、選手との交流会を実施した。	-	✓	✓	-	世界トップの選手と触れ合うことで、競技の魅力を体感できた。 事業の実施可能性の決定時期が遅いことにより、予算が確保できないことが多いので、情報収集に努め、適切な措置を行う必要がある。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
205	2-2-(4)	34		障害者スポーツ体験教室	障害のある方が気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。	ブラインドサッカー東日本リーグ戦の開催に合わせ、各種障害者スポーツ体験会を行った。	-	✓	✓	-	試合の実施にあわせて体験会を行ったのでスポーツとみるスポーツを同時に実施できた。今後は体験できるスポーツを増やしていく。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
206	2-2-(4)	34		障害者スポーツ指導員資格取得の支援	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行います。	取得者なし	-	✓	-	-	資格取得のための条件が厳しいため、受講しやすい環境を整える必要がある。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
2 スポーツ 3. スポーツ活動を支える環境の整備 (1)気軽にスポーツを楽しめる環境の整備													
207	2-3-(1)	35	130	スポーツセンターの改修	老朽化したスポーツセンターを改修し、バリアフリー化を含め、だれもが安全で快適にスポーツを楽しむことができる環境を整備します。	平成28年10月末までに基本設計及び実施設計が完了し、平成29年3月23日に落札事業者と工事契約を締結しました。	✓	-	-	-	29年度に着工、平成30年6月にリニューアルオープン予定。 引き続き着実に工事を進めて行けるよう施工業者及び関係各課と連携していく。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
							1	2	3	4			
208	2-3-(1)	35		スポーツ施設の整備と活用促進	区立スポーツ施設の快適な環境への整備をはじめ、区立学校施設等の活用による、スポーツ活動の場の整備を進めていきます。	平成29年3月1日から同3月10日まで竹早テニスコート第3・4コートの人工芝張替工事を実施しました。	✓	-	-	-	利用率が高く、芝の摩耗が通常よりかなり早くなっている。今回張替を行わなかった第1・2・5コートについても、状態を注視していく。今回工事にあたって発覚したテニスコート支柱の更新についても、今後検討していく必要がある。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
209	2-3-(1) 新規追加			六義公園運動場管理棟等の改築	六義公園運動場の管理棟を改築する工事を行います。それに伴い、既存の管理棟及び倉庫の解体工事、仮設事務所の借上げ、運動場放送設備及び防球ネット改修工事を行います。	未実施	✓	-	-	-	11月2日に実施した入札が不調のため。再度の入札に向け、仕様内容の変更等について検討を行った結果、管理棟の改築については、平成30年度以降に実施することとした。防球ネットのかさ上げ工事については、平成29年度内に実施する方向で、検討していく。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
210	2-3-(1) 新規追加			まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設(六義公園運動場及び後楽公園少年野球場)を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供します。 1 あおぞらすすく広場 →施設の無料開放。(個人向け、園庭のない保育園等向け) 2 親子すすく教室 →未就学児とその保護者向けのスポーツ教室 3 園児すすくプログラム →園庭のない保育園等を対象として、後楽公園少年野球場にてスポーツプログラムを実施する。	・あおぞらすすく広場 年間延べ実施日数:77日 年間延べ参加人数:1,735人 ・親子すすく教室 年間延べ参加人数:220人 ・園児すすくプログラム 年間延べ参加園数:12園 年間延べ参加人数:234人	✓	-	-	-	いずれの事業も、参加者より好評をいただいた。29年度は、実施回数等を増やして実施したい。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
211	2-3-(1)			児童館合同卓球大会	スポーツを通じて各児童館の交流を図る。	児童館合同卓球大会 平成29年3月28日(火)開催	-	-	✓	-	日頃の各児童館における卓球活動の成果を発表し、児童館利用児童の相互交歓及び親睦を深めることができた。	児童青少年課	児童係・内線7031
2 スポーツ 3. スポーツ活動を支える環境の整備 (2)スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化													
212	2-3-(2)	36		スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員会への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施します。	ファミリーハイキング教室・ぶんきょうウォーキング教室・ニュースポーツ大会・教室の委託等	-	✓	✓	-	スポーツ振興法に則り、地域のスポーツ振興に寄与する活動を実践している。区民の多様なニーズに対応出来るよう事業内容を検討する。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
213	2-3-(2)	36		スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の委嘱	地域の生涯スポーツ・レクリエーション等の普及・振興及び区民の自主的なスポーツ活動を支援するため、スポーツ推進委員やスポーツリーダー等を委嘱します。	スポーツリーダー 42名 スポーツ推進委員 33名	-	✓	✓	-	地域のスポーツ振興に寄与している。指導者の特性や専門性を活かし、区民の多様なニーズに対応していく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
214	2-3-(2)	36	131	スポーツ指導者の育成	スポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施します。	指導者講習会を3回実施 平成28年8月25日 応急救護訓練 35名参加 平成28年11月24日 準備運動の基礎と実践 32名参加 平成29年1月19日 ベップトーク～感じよう言葉の力～ 41名参加	-	✓	✓	-	地域の課題に対応した講習会を実施し、指導者の育成を図った。さらに発展させていくための手法を検討する必要がある。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
215	2-3-(2)	36		スポーツ指導者派遣	自主的なスポーツ活動を行う区民の団体等へスポーツ指導者を派遣し、スポーツの競技力を向上させます。	スポーツ指導者地域派遣 41件	-	✓	✓	-	スポーツ指導者地域派遣を広く周知し、地域のスポーツ活動を支援する事に努めたい。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
216	2-3-(2)			①脳の健康教室サポーター養成 ②文の京介護予防体操推進リーダー養成 ③転倒骨折予防ボランティア指導員養成	介護予防体操等を普及するため、区民指導者等を養成し、地域における自主的な活動の推進役とする。	養成講習及び研修会等参加者数 ①0人(欠員なしのため講習会実施なし) ②163人 ③5人	-	✓	✓	-	・①は欠員分のみの募集であるが、②は毎年一定数の養成を行なっている。ここ数年、体操地域会場も増えているため、多くの区民にリーダーとして担い手の役割を担っていただく必要がある。担い手となることで、高齢者の社会参加といきがいづくりにつながるため、今後も養成に力をいれる必要がある。	健康推進課	介護予防係・内線3350 地域保健担当・内線2836
2 スポーツ 3. スポーツ活動を支える環境の整備 (3)スポーツボランティア等の活動支援													
217	2-3-(3) 2-4-(1)	37		スポーツボランティアの養成	地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。	登録者217名 事業従事34事業延べ239名 文京スポーツボランティア養成講座(全7回) ①リスクマネジメント11/30(水)参加者数25名 ②コミュニケーションスキル12/1(木)参加者数14名 ③オリンピック・パラリンピックの関わり方12/5(月)参加者数43名 ④スポーツボランティアの楽しみ方12/6(火)参加者数28名 ⑤障害者理解12/14(水)参加者数43名 ⑥救急救命講習12/15(木)参加者数20名 ⑦特別講座12/19(月)参加者数44名	-	✓	✓	-	スポーツイベントへの従事機会の拡大のため、主催者及び共催事業での積極的な登用を行った。また、オリパラ気運醸成事業でのパラスポーツ紹介等にも関与できるよう、関係部署との連携を図った。29年度に向けて近隣区への派遣や障害者自身がボランティアとなって活躍する場の提供を行っていく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591



【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
							1	2	3	4			
218	2-3-(3) 2-3-(4)	37		スポーツボランティア情報の発信	スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信します。	スポーツボランティア登録募集 区報ぶんきょう7/25号 区ホームページ <a href="http://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/sports/sports/sportsvolunteers.html">http://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/sports/sports/sportsvolunteers.html</a>	-	✓	✓	-	スポーツボランティアの登録募集について区報およびホームページ等で周知した。 平成28年度末時点でのボランティア登録者数は217名だが、このうち実際に74名程なので、活動の内容や魅力等について発信していく必要がある。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
2 スポーツ 3. スポーツ活動を支える環境の整備 (4)スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備													
219	2-3-(4)	37		スポーツ交流ひろば通信の発行	スポーツ交流ひろばの指導者に向け、スポーツ振興に関する情報等を発信します。	毎月1回、計12回発行しました。	-	✓	✓	-	対象者に対して各種事業の案内を行うことができた。 今後は、更に内容を充実して発信できる体制づくりを行う。	スポーツ振興課	施設等担当・内線2594
220	2-3-(4)	37		地域スポーツ情報の提供	地域スポーツを普及・振興するため、地域スポーツ情報を提供します。	各種スポーツ事業、スポーツ施設開放情報について、区報・区ホームページ等に掲載。	-	-	-	✓	地域スポーツ情報の提供により、地域スポーツの振興を図ることができた。今後はどのような情報にニーズがあるのかを検討していく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
221	2-3-(4)	37		各種メディアとの連携推進	区の魅力的なスポーツ事業等の取り組みを報道機関等をはじめ各種メディアにリリースし、広く内外へ発信します。	区報、チラシ・ポスターだけでなくfacebookやtwitterといったSNSも活用し、スポーツ事業等の広報活動をおこなった。また、パブリックビューイングやブラインドサッカーイベント等についてはメディアリリースも行った。	-	-	-	✓	スポーツ事業等の取り組みを広く内外に発信することができた。広報活動における、対象や時期については引き続き検討していく。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
222	2-3-(4)			ファミリースポーツデーにおける生活習慣病予防教育	ファミリースポーツデー(スポーツセンター)に来所した方を対象に、スモーカーライザーによる一酸化炭素測定とタバコの分解実験を行った。	スモーカーライザーによる一酸化炭素測定とタバコの分解実験を行った。 骨密度測定、栄養指導、健康相談を併せて実施した。 来所者461人	✓	-	-	-	スポーツ施設を利用する人に、自身の健康維持に係る振り返りの機会をつくり、健康チャレンジ宣言に参加をもらった。	保健サービスセンター	本郷支所・内線2850
2 スポーツ 4. スポーツを通じた仲間づくりと交流 (1)スポーツを通じた仲間づくり													
223	2-4-(1)	38		地域スポーツクラブの育成	地域のスポーツクラブを育成・支援するとともに、新たな地域スポーツクラブの可能性を探ります。	地域のスポーツクラブへ都や国からの情報提供を行った。	✓	-	-	-	引き続きスポーツクラブについての情報提供を行っていく。さらに発展させていくための手法を検討する必要がある。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2591
2 スポーツ 4. スポーツを通じた仲間づくりと交流 (2)スポーツを通じた交流													
224	2-4-(2)	39		自治体交流ジュニアサッカー大会	スポーツ祭東京2013で、少年サッカーを開催した自治体等に協力を呼びかけ、各自治体と競技団体の協力により、各区の代表チームによるサッカー大会を開催し、広域的な交流をします。	レギュレーションを、小学4年生男女一緒にプレーするように変更し、他の一般の大会にない魅力を発信した。	-	✓	✓	-	スポーツ祭東京2013のレガシーとして、参加自治体により一層魅力がある大会にしていく必要がある。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
225	2-4-(2) 5-1-(2)	39		カイザースラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会	姉妹都市提携のカイザースラウテルン市(ドイツ)が2006年のワールドカップドイツ大会で開催都市となったことを記念し、平成16年より大会を実施しています。	【中学生の部】 カテゴリー1:8/26、27、29 参加チーム数11、264名 カテゴリー2:12/18、24、25 参加チーム数11、235名 【小学生1・2年生の部】12/4、11 小学1年生:参加チーム数8、108名 小学2年生:参加チーム数7、97名 【小学3・4年生の部】1/9、15 小学3年生:参加チーム数9、106名 小学4年生:参加チーム数11、133名 【小学5・6年生の部】2/19、25 小学5年生:参加チーム数7、75名 小学6年生:参加チーム数6、74名	-	✓	✓	✓	サッカーを通して心身を鍛え子供たちの健全育成を図る。平成30年度にカイザースラウテルン市と姉妹都市提携30周年、15回記念大会になるため、事業内容について主管団体と協議する必要がある。	スポーツ振興課	スポーツ振興係・内線2592
3 文化芸術 1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり (1)文化芸術への興味や知識を高める													
226	3-1-(1) 3-1-(2) 3-2-(1)	42	172	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会、ポスターコンクールを実施	✓	✓	✓	✓	効果:既存事業においても新たな分野からの参加者を募ることで、若年層参加者の裾野拡大とジャンルを超えた交流が図られました。 課題:今後は事業周知のみならず文化の担い手となる若年層の育成にも注力し、新規参加者の増加へとつなげていく必要があります。	アカデミー推進課	文化事業係内線3645~7
227	3-1-(1)	42		事業提携乐团によるコンサート	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結び、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力により文化・芸術の振興を図ります。	【平成14年度~】響きの森クラシック・シリーズ Vol.56 5月14日(土)実施 1,610名 Vol.57 9月10日(土)実施 1,646名 Vol.58 1月14日(土)実施 1,624名 フレッシュ名曲コンサート ランチタイムコンサート 7月26日(火)実施 224名 【平成22年度~】シエナ・ウインド・オーケストラによるコンサート 11月19日(土)実施 1,582名	✓	-	-	-	【響きの森クラシック・シリーズ】 ・固定客の獲得が進み、シリーズの定着が見られます。 ・さらなる顧客の獲得と定着を図り、ホールのファンを増やすことが課題となっています。 【シエナ・ウインド・オーケストラ】 ・演奏曲を事前リクエストで決める形式と、ジャズとマーチを特集した内容が功を奏し、吹奏楽ファンが多い若年層以外の高齢者層にも好評を得ました。 ・首席指揮者の佐渡裕氏以外の演奏会について、事業内容やチケットの価格・販売方法等、集客が見込めるよう検討することが今後の課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
228	3-1-(1)	42		小中学生のための 出前コンサート	子どもたちが身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、区及び(公財)文京アカデミーが事業提携する団体による区立小中学校への出前コンサートを行います。	【平成20年度～】小学校／東京フィルハーモニー交響楽団 湯島小学校 10月31日(月)実施 380名 根津小学校 11月1日(火)実施 298名 【平成23年度～】中学校／シエナ・ウィンド・オーケストラ 音羽中学校 10月13日(木)実施 378名 本郷台中学校 11月8日(火)実施 184名	✓	-	-	-	・公演鑑賞の経験が少ない児童・生徒も多く、アンケートでは毎回「生の演奏のすばらしさ・楽しさを体験できた」と評価されています。 ・小学校は実施を希望する学校2校、中学校は行政機構順に年2校の訪問となっているため、体験できないまま卒業してしまう児童・生徒たちも多く、もう少し数を増やせないかというご意見を学校側からいただいています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
229	3-1-(1) 3-1-(2)	42		文の京コミュニティ コンサート	区内ミュージアム施設の雰囲気や特長を活かしたミニ・コンサートを行い、音楽等を気軽に楽しむ機会を提供します。	【平成22年度～】 東洋文庫ミュージアム 2月11日(土・祝)実施 106人 松聲閣(肥後細川庭園) 3月20日(月・祝)実施 106人	✓	-	-	-	・両公演とも予想を大幅に上回る来客があり、満足度も高く、地域のニーズに合ったコンサートといえます。 ・ミュージアム施設を会場とするため、来場者数をコントロールしにくいことが課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
230	3-1-(1) 3-1-(2) 3-2-(1) 3-3-(1)	42		「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを生かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を生かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	・啄木学級文の京講座 日時:7月1日(金) 会場:文京シビックホール小ホール 主催:文京区／盛岡市 講師:ロジャー・パルバース氏 参加者数:337名  ・能楽堂で歴史を楽しむ 日時:7月31日(日) 会場:宝生能楽堂 主催:宝生会(共催:文京区) 講師:アルド・トッリーニ氏 参加者数:200人(推計)  ・かなざわ講座 日時:1月18日(水) 会場:スカイホール 主催:金沢市(共催:文京区) 講師:宇佐美 孝氏 参加者数:100人  ・「石見神楽」公演&地域活性化シンポジウム 日時:平成29年2月4日(土) 会場:東洋大学井上円了ホール 主催:高瀬川流域都市交流協議会(島根県益田市・吉賀町・津和野町) (共催:東洋大学・文京区) 出演:白谷神楽社中 観覧者数:延べ1,400人(推計)	✓	-	✓	✓	効果:従前から実施している盛岡市、津和野町との事業に加え、金沢市や宝生会との文化関連事業を実施しました。 いずれも各地域や施設の特色を活かした事業内容で様々な地域の文化に幅広く触れる機会を提供することができ、文化交流が図られました。 課題:上記自治体等との交流事業の継続的な実施による事業の定着化と及びパートナーシップの強化とその他の自治体等についても、新たな文化交流の機会を創出していく必要があります。	アカデミー推進課	文化事業係 内線3645～7
231	3-1-(1) 3-1-(2)	43		親子向けコンサート	幼少期から保護者等と一緒に生の音楽等に触れる機会を提供します。	【平成23年度～】シエナ フルーツの国のおんがくパーティー♪ 第1回 7月23日(土)実施 232名 第2回 7月24日(日)実施 264名 【平成23年度～】東京フィル・親子で楽しむ「はじめてのオーケストラ」 第1回 8月6日(土)実施 290名 第2回 8月7日(日)実施 310名	✓	-	-	-	・両公演とも前年より入場者数が増加。(シエナ31名増、東京フィル43名増) ・アンケートなどで「定期的に子ども向け公演を実施してほしい」というご意見が多数あったため、平成29年度からは夏休み期間に集中していた公演を数か月ごとに実施する形態に変更しています。更なる集客の増加が課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
3 文化芸術 1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり (2)だれもが参加しやすい仕組みづくり													
232	3-1-(2)	43		小・中学生のための 歴史教室	夏休み期間中にクイズイベントなどを実施し、参加することを契機として、歴史・文化についての興味や文京区への愛着を深めてもらいます。	【平成3年度～講座型(事前募集)、平成21年度～常設展示室を使った自由参加型(事前申込不要)のクイズ・パズルイベント】 7月17日～8月31日「この形はなんだろう わがはい君シルエットクイズ」 参加者135名	✓	-	-	✓	・夏休み中の小中学生に、楽しみながら地域の歴史を学べる機会を提供できた。 ・事前申込み不要とすることで、多くの小中学生が気軽に参加することができた。 ・より多くの参加者が得られるように、周知方法の工夫が必要である。	アカデミー推進課	文化資源担当 室・内線3610
233	3-1-(2)	43		文京ミュージアム フェスタ	区内にある博物館・美術館・庭園など36施設を結ぶ「文の京ミュージアムネットワーク」の合同イベント。各施設が持つ文化的資産や歴史的資産を紹介します。	開催日時:平成28年12月15日(木) 会場:展示室 I 参加館:26館 来場者:674人	✓	✓	✓	✓	効果:合同イベントを開催することにより、多くの来場者に区内に点在する博物館・美術館・庭園等の魅力を紹介することが出来ました。 課題:平日、日中開催のため若年層(小中高生)へのイベント参加や魅力を紹介する方法を検討する必要があります。	アカデミー推進課	文化事業係 内線3645～7
234	3-1-(2)	43		子ども俳句大会	区内中学校在学学生を対象に、日本の伝統的文化のひとつである俳句を通して自然や四季、日本語の美しさ、俳句の楽しさを体験します。	【平成28年度～】 ・中学生俳句大会(募集期間10～11月) 応募数1,516句	✓	-	-	-	・中学生に俳句を詠む機会ができた。 ・多くの中学生に参加してもらいたい。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004



【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
							1	2	3	4			
235	3-1-(2) 4-3-(3) 5-1-(1)	43	189	国際交流フェスタ	外国人と日本人の文化を通じた友好交流及び相互理解推進を図ります。	実施日:平成29年2月25日(土) 参加者数 :1,300人 参加団体 :35団体	✓	-	✓	✓	多くの参加者が来場し、日本人、外国人の双方が文化を通じた相互交流が行えた。人気の高いブースは、イベント終了時間の前に受付終了となるほどにぎわうため、集客のバランスを取っていくことが課題である。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
3 文化芸術 1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり (3)多様な主体・媒体による情報提供の仕組みづくり													
236	3-1-(3)	44		紙媒体による情報提供	区報や指定管理者の発行する情報紙により、文化芸術関連情報を提供します。	指定管理者発行の「スクエア」による文化芸術関連情報の提供	✓	-	-	-	・スクエアを毎月発行し、文化芸術に関する情報を広く提供しています。 ・月によっては発信する情報量が多いことがあり、レイアウト等の更なる工夫が求められています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
3 文化芸術 2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援 (1) 観賞・参加・創造・発表の機会と場所の充実													
237	3-2-(1)	45		「アートウォール・シビック」への作品展示	若手芸術家の育成を図るため、シビックセンターの壁面を利用して平面美術作品の展示を行い、同時に区民が身近に芸術に触れる機会とします。	月ごとに展示 8件の申し込み	✓	✓	-	✓	効果:主に40歳以下の若手芸術家を中心に作品を発表する機会を提供するとともに、シビックセンター来庁者に対し、芸術作品等を身近に鑑賞出来る機会を提供できました。 課題:12件の応募に対し、8件の応募であったため、4件分の余裕がありました。特に年度当初(4~6月)の展示応募者がいないことから、作品製作期間を含めた募集開始時期や方法等を検討する必要があります。	アカデミー推進課	文化事業係 内線3645~7
238	3-2-(1)	45		観客参加型公演	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結び、太鼓芸能集団鼓童の協力により、観客参加型の交流公演とワークショップを実施します。	【平成22年度~】文京シビックに“鼓童”がやってくる! 親子で楽しむ太鼓ワークショップ 9月17日(土)実施 15組31名 ぶんきょう交流公演 9月17日(土)実施 254名	-	✓	-	-	・小ホール公演のため、演奏者との距離が近く、迫力のある演奏が好評を得ています。 ・ワークショップは毎年定員以上の申し込みがあり抽選となっていますが、より一層の集客が課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
239	3-2-(1)	45		朗読コンテスト	文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。	【平成24年度~】年1回 課題作家:宮沢賢治 録音審査応募者:292名、本選:10月30日 出場者:16名 観覧者:274名 会場:跡見学園女子大学プロッサムホール	✓	✓	✓	✓	・幅広い年齢層に親しまれる宮沢賢治を課題作家としたことで、292名と昨年を大きく上回る応募者があった(123名の増)。 ・本選優秀賞を複数回受賞している参加者があり、応募資格の検討が必要である。	アカデミー推進課	文化資源担当 室・内線3610
3 文化芸術 2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援 (2)文化芸術活動をする人・団体への支援													
240	3-2-(2)	46		吹奏楽アンサンブルコンテスト	公募したアンサンブル団体の演奏に、シエナ・ウインド・オーケストラ団員が講評・表彰等を行います。プロの講評を受け、演奏技術向上につなげます。	【平成22年度~】第7回 シエナdeアン・コン! ~アンサンブルコンテスト~ 12月24日(土)実施 436名(3部門・出場22団体)	-	✓	-	-	・H25年度より出場団体にシエナメンバーによる2時間の事前レッスンを開始。プロからの指導ということもあり、中学校・高等学校から高い評価をいただき、参加申込が増加しました。 ・一般に比べ、中学校、高等学校のニーズが高く、各出場枠について検討する必要があります。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
241	3-2-(2)	46		楽器演奏指導	区立中学校吹奏楽部員の演奏技術向上及び文化芸術への関心を高めるため、事業提携を結びシエナ・ウインド・オーケストラ団員による楽器演奏指導を行います。	【平成23年度~】中学生のための吹奏楽クリニック 7月2日(土)~8月23日(火)実施 97名(全30回・区立中学校10校)	-	✓	-	-	・個別レッスンに近い形であり、各校から高い評価を得ています。 ・普段の練習状況やどのような指導を希望しているか等、各校の状況について事前に把握した上で、指導に当たることが求められています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
3 文化芸術 2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援 (3) 区民人材の育成と活動支援													
242	3-2-(3)	47	171	舞台芸術創造事業(大ホール)	区民を対象にオペラ等の公演を目標とする講習会を実施し、優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。	【平成12年度~】CITTADINO歌劇団 第17期生講習会 平成28年8月~平成29年2月まで週1~2回実施 延べキャスト34回、合唱団35回 受講者数 キャスト12名 合唱団113名 公演 2月19日(日)実施 1,420名	-	✓	-	-	・区民参加事業でありながら、オーケストラ伴奏、舞台セットを組んだ本格的なオペラ上演であり、好評を得ています。 ・合唱団には毎年100名以上の応募があり、定着が見られます。一方、パートによって応募数にバラつきがあることが課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
243	3-2-(3)	47	171	舞台芸術創造事業(小ホール)	区民を対象に演劇等の舞台技術を学ぶ機会を提供し、活動を通じて優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。	【平成8年度~】演劇グループ“ザ・シビック”講習会 4月~11月の週2回、延べ60回実施 受講者数 32名 公演 11月12日(土)~13日(日)実施 391名	-	✓	-	-	・平成8年度より公募で始まった区民参加演劇ですが、平成28年度が最終年となり、過去の参加者にも参加を呼びかけ、32名(前年比25名増)と多く受講者がありました。 ・平成29年度からは新たな講師を迎えての再スタートとなるため、参加者募集の周知と公演の集客が課題となります。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
244	3-2-(3)	47		シビックコンサート	クラシック・ポップス・ジャズなどの名曲を、管弦楽アンサンブルや声楽にのせて区内の大学及び専門学校生がお届けするランチタイムコンサートを実施します。	【平成8年度~】 日時 毎月開催(原則第4水曜日)12:15~12:45 会場 区民ひろば 観覧者数 延べ3,032人	-	✓	-	-	・平成28年度より指定管理事業として財団で実施。無料のコンサートであり、気軽に音楽を楽しんでもらうことができ、また、出演する学生への演奏機会の提供という効果もあります。 ・音量が大きい楽器について、付近の部署への影響が課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
							1	2	3	4			
245	3-2-(3)	47		カレッジコンサート	教育機関が集中している文京区の特徴を生かし、区内の音楽文化の充実・発展や学生間の交流を目的に、区内の大学及び専門学校の音楽クラブ・サークルによるコンサートを実施します。	【平成15年度～】 実施 9月10日(土) 会場 文京シビックホール小ホール 出演団体数 7団体(135名) 観覧者数 274人	-	✓	-	-	・平成28年度より指定管理事業として財団で実施。区内大学等の団体が参加するため、学校間の交流につながっています。また一般客を招待しているため、学生が広い世代に向けて演奏する機会にもなっています。 ・参加団体による実行委員会が事業運営を行うため、参加学生の当事者意識を高めることが課題となっています。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
246	3-2-(3)	47		文の京地域文化インタープリターの活動支援	地域文化の価値を理解するために必要な知識や技術を習得した文京区の文化資源の案内役を養成します。また、インタープリターの活動を支援します。	企画展「宮沢賢治と高村光太郎」 受付業務等:文の京地域文化インタープリターの会 会期:平成28年11月6日(日)～14日(月)午前10時～午後6時(最終日は午後5時まで) 会場:展示室Ⅱ  企画展関連特別講座 「宮沢賢治と高村光太郎」講演会 ワークショップ運営委託:文の京地域文化インタープリターの会 日時:11月6日(日) 会場:スカイホール 主催:文京区 講師:中里 まき子氏 参加者数:76人	✓	✓	✓	✓	効果:区が主催する企画展の業務を一部委託することにより、文の京地域文化インタープリターの活用と活動支援を行いました。 課題:今後は、文の京地域文化インタープリターの会からの提案事業や区が主催する企画展の業務委託の範囲の拡大等、さらなる活躍の機会を提供する必要があります。	アカデミー推進課	文化事業係 内線3645～7
3 文化芸術 3.「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり (1)地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実													
247	3-3-(1)	48		史跡めぐり	地域の歴史・文化財をガイドの解説を聞きながら歩いて実見することにより、文京区の歴史・文化の普及・啓発を図ります。文京ふるさと歴史館友の会との協働事業として行います。	【平成18年度～】年3回 第1回:6月10日「絵で見て歩く—東都小石川絵図—」参加者:43名 第2回:11月10日「文京区海岸物語—貝塚跡を訪ねて—」参加者:42名 第3回:3月7日「『新撰東京名所図会』ゆかりのまち歩き—描かれた本郷を訪ねて—」参加者:52名 案内:文京ふるさと歴史館友の会「まち案内」ボランティアガイド	✓	✓	✓	✓	・毎回テーマ設定を工夫することで、同じ場所・史跡でも異なった楽しみや価値を見出すことができている。 ・友の会ガイドの案内はアンケートでも満足度が高い。同時にガイドの学習成果を発揮する場ともなっている。 ・参加者の当日キャンセルが多いことへの対策が必要である。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
248	3-3-(1)	48	124	文京ゆかりの文化人顕彰事業	文京区に足跡を残した文化人を顕彰し、多様な文化的資源の継承、発掘及び情報発信を進めます。年度ごとに生誕没後などの記念の年にあたる文化人を中心に、朗読コンテスト、講演会等の顕彰事業を実施します。	【平成26年度～】 宮沢賢治(生誕120年)、高村光太郎(没後60年)・高村智恵子(生誕130年)を中心に顕彰事業を実施。 事業リーフレット発行(年1回):B4両面三つ折 7500部発行・配布 歴史講演会:11月12日「宮沢賢治の弟、祖父・清六から聞いた賢治のこと」講師:宮澤和樹氏(榊林風舎代表取締役) 参加者:142名 会場:文京区民センター 史跡めぐり:12月3日「千駄木ゆかりの文人を訪ねて」案内:文京ふるさと歴史館友の会「まち案内」ボランティアガイド 参加者:36名 朗読コンテスト:別記No.239	✓	✓	✓	✓	・担当係(文化資源担当室)で複数の事業を行うだけでなく、文化事業係、鷗外記念館、アカデミー文京などでも関連事業を実施し、ひろがりのある事業となっている。 ・リーフレットの配布先は主に区内であるが、事業周知のため、今後は区外にも対象を広げる。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
249	3-3-(1)	48		文の京ワークショップ	「現代の観潮楼=交流サロン」として、森鷗外を中心テーマに幅広い利用者をひきつける多彩な事業を展開します。持続的な集客を図るとともに森鷗外や「文の京」を広く発信します。	【平成24年度～】年7回 ①7月30日「ひかりのえ・カメラのない写真」講師:佐野陽一氏(美術家) 参加者数:1組(4人) ②8月6日「パッパの手紙をまねる」講師:華雪氏(書家) 参加者数:14人 ③10月9日「来たれ俳句女子・俳句男子! チームde俳句連作」講師:佐藤文香氏(俳人)、青木ともじ(東大俳句会) 参加者数:14人 ④10月29日「三人冗語りきり撮影会」撮影:加藤健(写真家) 参加者数:8組(20人) ⑤11月13日「ことばのワークショップ—詩を書いてみよう」講師:文月悠光氏(詩人) 参加者数:11人 ⑥2月9日「鷗外を編む! Atモリキネニットカフェ」講師:せきもとともこ(編み物作家) 参加者数:6人 ⑦2月18日「読書会 樋口一葉『十三夜』を読む」講師:倉本幸弘氏(森鷗外記念館常任理事) 参加者数:12人	✓	-	-	-	・ワークショップでの体験を通じて、学びや交流に対する新たな発見や新たな価値を生むことにつながる企画であった。 ・体験する内容が複雑となる企画は、募集人数が少いため、当日キャンセルなどが重なると参加人数がさらに更に減ってしまう。広く浅く体験できる内容で、多くの人数が体験できる形式のものも今後検討する。	アカデミー推進課	森鷗外記念館 (文化資源担当室・内線3610)



【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
250	3-3-(1)	48		新・観潮楼歌会	森鷗外を中心に多くの文人たちが集い、交流した「観潮楼歌会」にちなみ、幅広い文化・芸術体験事業を展開します。	【平成24年度～】年8回 ①4月24日「鷗外とイブセン ～女性をキーワードに」講師:稲葉賀恵氏(文学座演出家)、金井景子氏(早稲田大学教授) 参加者数:29人 ②6月3日「団子坂の日々」講師:吉本ばなな氏(作家)、谷郁雄氏(詩人) 参加者数:56人 ③7月23日 トークショー「コーヒーのある風景」講師:LPACK(アーティストユニット) 参加者数:11人 ④8月22日～9月25日 松田敏美写真展「Between the Light's 鷗外ゆかりのベルリン」出品作家:松田敏美氏(写真家) ⑤9月16日 トークショー「Between the Light's 鷗外ゆかりのベルリン」講師:松田敏美氏(写真家)、倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事) 参加者数:11人 ⑥10月15日「詩人の即興打ち明け話」講師:谷郁雄氏(詩人)、文月悠光氏(詩人) 参加者数:30人 ⑦10月22日「鷗外とフランスの絆」講師:野崎歆氏(フランス文学者) 参加者数:29人 ⑧3月5日「五人の歌人による公開歌会」講師:大井学氏、鯨井可奈子氏、佐藤弓生氏、同園昌彦氏、東直子氏(すべて歌人) 参加者数:49人	✓	-	-	-	・多彩で質の高い企画を提供することにより、「現代の観潮楼＝交流サロン」を具現化した。 ・専門性が高くなってくると参加者の受け止め方に多少ばらつきが出てくる懸念がある。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
251	3-3-(1)			鷗外講座	森鷗外の生涯や作品について、多角的に分かりやすく紹介・解説する。	【平成24年度～】年6回 ①5月21日 鷗外講座応用編「作品研究1『ぢいさんばあさん』」講師:倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事) 参加者数:30人 ②5月28日 鷗外講座応用編「作品研究2『安井夫人』」講師:倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事) 参加者数:36人 ③6月11日 鷗外講座応用編「鷗外と音楽1」講師:瀧井敬子氏(音楽学者) 参加者数:36人 ④6月18日 鷗外講座応用編「鷗外と音楽2」講師:瀧井敬子氏(音楽学者) 参加者数:39人 ⑤9月3日 鷗外講座応用編「鷗外と同時代の美術1」講師:増野恵子氏(早稲田大学非常勤講師) 参加者数:33人 ⑥9月10日 鷗外講座応用編「鷗外と同時代の美術2」講師:増野恵子氏(早稲田大学非常勤講師) 参加者数:26人	✓	✓	-	✓	・豊かな情報と接することにより、当館の活動についての理解を促進することができた。 ・鷗外講座応用編は、専門分野からの解説となり、充実した内容の講座であったが、時間が既定内では短かったようである。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
252	3-3-(1)			記念日イベント	森鷗外に関する記念日に講演会、イベント、来館者サービスを行い鷗外に関して親しみを持てる取り組みを行う。	【平成24年度～】 ①7月17日 鷗外忌記念対談「森茉莉という自由」講師:小島千加子氏(文芸評論家)、島内裕子氏(放送大学教養学部教授) 参加者数:47人 ②7月9日 鷗外忌記念行事 観覧された方に記念品(しおり)を配布 参加者数:61人 ③11月1日 開館記念行事 観覧された方にロゴ入りポストカードを配布 参加者数:101人 ④1月19日 誕生日記念行事 無料公開 参加者数:202人 ⑤1月28日 誕生日記念イベント「鷗外さんがいる」出演:中野成樹+フランケンズ 参加者数:46人	✓	-	-	-	・記念日をきっかけとしたサービスを提供することにより、「館」に親しんでもらうことができた。 ・記念日の来館者サービスを更なる来館促進につなげていきたい。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
253	3-3-(1)			朗読会	鷗外作品の魅力や、朗読という形で訴求するプログラムを展開する。	【平成24年度～】年4回 ①5月15日 語り「樋口一葉『にごりえ』」朗読:横浜ポートシアター 参加者数:47人 ②6月17日「森茉莉『贅沢貧乏』を読む」朗読:岡安圭子氏(朗読家) 参加者数:11人 ③11月23日「森鷗外訳・アンデルセン作『即興詩人』を読む」朗読:高橋ひろし氏(文学座) 参加者数:28人 ④1月29日「賀古鶴所との書簡を読む」参加者数:37人	✓	-	-	-	・エンターテインメント性の高い展開により、作品朗読の新たな魅力を提示できた。 ・「朗読会」の捉え方に、いくらか開きがあるため、応募者は減るかもしれないが、対象及びその展開について明確にしていくことを検討。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
254	3-3-(1)			文学散歩	観潮楼跡地以外での広域な鷗外縁の地を巡り、その功績を改めて感じる事業を実施する。	【平成24年度～】 ①9月9日「鷗外と舞姫の世界」場所:水月ホテル鷗外荘 講演:加賀乙彦氏(森鷗外記念館名誉館長) 参加者数:29人 ②10月10日 鷗外をめぐる散策「津和野散策講座」講師:倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事) 参加者数:17人 ③12月10日 鷗外をめぐる散策「晩秋の東叡山(上野から下谷へ下る)ー森鷗外『能久親王事蹟』を辿る」ナビゲーター:倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事) 参加者数:13人	✓	-	-	✓	・鷗外を核とした交流により、他地域のコンテンツを当館において提供することができた。 ・区内への情報提供や広報を工夫することで、参加者増を目指す。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
3 文化芸術 3.「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり (2)「文の京」伝統文化を守り、伝える人材の育成と活動支援													
255	3-3-(2)	49		文京ふるさと歴史館友の会の支援	文京ふるさと歴史館友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充実を図ります。協働による事業の実施や「文京まち案内」ボランティアガイドの活動支援を行います。	【平成3年度～】 友の会自主企画事業(講演会・発表会3回、史跡めぐり・見学会等8回)、役員会(月1回)、会報・花時計発行(年4回)、まち案内ボランティアガイド(42回 参加者:829名)、石碑調査協力(教育委員会事業)ほか	✓	✓	✓	✓	・友の会活動への支援を円滑に行い、同時に友の会から歴史館事業への協力もあり、相互での協働関係がよい形で構築されている。 ・友の会活動の周知、新規会員募集の工夫。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
256	3-3-(2)	49		文京ふるさと歴史館常設展示解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、来館者への案内を行うことにより、文京区の歴史・文化の普及を図ります。ガイドのスキルアップを支援します。	【平成25年度～】 毎週土・日曜午後実施(51週、1日2名)、事前申込により随時実施 ガイド:24名 5月～第2期ボランティア養成講座実施(参加者:8名) 10月～活動開始	✓	✓	✓	✓	・第2期ガイド養成講座が完了、同時に第1期ガイドのスキルアップの機会ともなった。 ・ガイドの利用者増に向けた周知広報が必要。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
257	3-3-(2)	49		森鷗外記念館解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、自主的な活動を促進します。新たな活動を企画し、活動のブラッシュアップとともに、文京区の文学館としての機能強化を図ります。	【平成24年度～】 ①土・日・祝日 13時・15時 館内案内実施 延べ参加人数:937人	✓	✓	✓	✓	・利用者からも好評で、ボランティアも意欲的に活動しているため、安定し充実した事業となっている。 ・ボランティア解説が来館の目的ともなるように努めていきたい。	アカデミー推進課	森鷗外記念館 (文化資源担当 室・内線3610)
258	3-3-(2)	49		技能名匠認定事業	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図ります。技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図ります。	文の京技能名匠認定者:0名	✓	✓	-	✓	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統的技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図り、技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図っていく必要がある。	経済課	産業振興係・内 線:2453
259	3-3-(2)			日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催の決定を踏まえ、伝統・文化に関する教育を推進します。日本の伝統文化について、講師の実演等を行い、日本の良さを発信することができる能力や態度を育成します。	本事業指定校6校で実施。囃家、狂言師、書道家等を講師として招聘。	-	✓	-	-	・日本の良さや伝統文化を見直すよい機会となっている。 ・今後は発信することができる態度の育成を充実させていく。	教育指導課	教育指導課 内線3541
3 文化芸術 3.「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり (3)文化資源の再発見と保存・活用の推進													
260	3-3-(3)	50		文京ふるさと歴史館特別展・収蔵品展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた特別展及び館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催します。	【平成3年度～】各年1回 特別展:10月22日～12月4日(38日間)「文京むかしむかし黎明編—うみやま・ひとの物語—」 入館者:2,744名 記念講演会「『弥生』誕生の地で『縄文』を考える」講師:菊池徹夫氏 参加者:80名 収蔵品展:2月11日～3月20日(33日間)「明治・大正の本郷を訪ねて—『新撰東京名所図会』展Ⅱ—」 入館者:3,305名	✓	-	-	✓	・さまざまなテーマを設けて展示を行うことは、文京の歴史・文化の再発見につながり、来館者からも好評を得ている。 ・より多くの入館者を得るため、テーマ設定の工夫や周知広報手段を再検討する。	アカデミー推進課	文化資源担当 室・内線3610
261	3-3-(3)	50		森鷗外記念館特別展・コレクション企画	森鷗外の作品や人生に関連することをテーマに、資料収集、調査研究した成果を、特別展及び館蔵品を中心としたコレクション企画として実施します。	【平成24年度～】 ①2月11日～4月3日まで50日間開催 (28年度3日間)コレクション展「1915-16—100年前の鷗外とその時代」 観覧者数:2,915人(28年度194人) ②4月9日～6月26日まで78日間開催 特別展「私にわたしであること—森家の女性たち 喜美子、志げ、茉莉、杏奴」 観覧者数:7,027人 関連講演会①:5月22日「森茉莉の美の世界」講師:太田治子氏(作家)参加者数:56人 関連講演会②:6月4日「スペシャルトーク&上映会「小堀家の風景 小堀杏奴・四郎を知る」」講師:伊勢真一氏(ドキュメンタリー映画監督)、金井景子氏(早稲田大学教授)参加者数:46人 ③7月1日～8月8日まで38日間開催 コレクション展「舞姫—恋する近代小説」パート1:「告白」する青年たち 観覧者数:1,904人 関連講演会①:8月7日「舞姫草葉をめぐって」講師:山崎一穎氏(跡見学園理事)参加者数:61人 ④8月10日～9月25日まで47日間開催 コレクション展「舞姫—恋する近代小説」パート2:二人を引き裂くもの 観覧者数:2,514人 ⑤10月1日～12月4日まで63日間開催 特別展「文して恋しく懐かしき君に—鷗外、『即興詩人』の10年」 観覧者数:6,930人 関連講演会①:10月23日「熟成される(ゆめみるひと)—森鷗外『即興詩人』翻訳の10年—」講師:須田喜代治氏(大妻女子大学教授) 参加者数:47人 関連講演会②:「鷗外訳『即興詩人』の影響」 参加者数:45人 ⑥12月9日～1月29日まで45日間開催 コレクション展「賀古鶴所という男/一切秘密無く交際シタル友」 観覧者数:2,441人 関連講演会①:1月22日「賀古鶴所と鷗外—兄たり弟たり—」講師:宗像和重氏(早稲田大学教授) 参加者数:52人 ⑦2月2日～4月2日まで57日間開催 コレクション展「死してなお—鷗外終焉と全集誕生」観覧者数:3,353人(28年度3,236人) 関連講演会①:3月11日「与謝野夫妻の崇敬の師森鷗外」講師:逸見久美氏(元聖徳大学教授)参加者数:45人	✓	-	-	✓	・特別展、コレクション展ともに話題性のある展覧会及び関連講演会を開催することができた。メディアでも多く紹介されて、当館の認知拡大にも効果があった。 ・メディアなどに取り上げられたが、掲載時期と展示期間がずれてしまうなど、広報効果が十分に得られないこともあった。展示期間を長めに設定し、事前広報だけでなく、期間中の広報を効果的に使用したい。	アカデミー推進課	森鷗外記念館 (文化資源担当 室・内線3610)
262	3-3-(3)	50		映像資料調査・保存事業	貴重な映像資料を地域文化遺産として後世へ継承するため、区民等から区内の過去の情景や風俗等が記録されている8mm・16mmフィルムを収集し、デジタル化による保存作業を行います。また、これらの映像資料を20分程度の映像作品として編集・加工し、BGMやナレーションを加えた上でDVD化します。	【平成22年度～】 ・映像作品「フィルムに残る文京の記憶 3ぶんきょうの暮らし」を制作。 ・3月16日に「区史写真集刊行記念上映会及び講演会」を実施。第1部に映像作品「フィルムに残る文京の記憶」の全3作品を、活動写真弁士による語りと無声映画ピアニストによるピアノ伴奏付きで上映した。	✓	-	-	-	・完成した映像作品のDVDをアカデミー文京や図書館において貸出し、広く区民が視聴できる環境を整えた。 ・今後は区内の映像というだけでなく、記録されている映像内容の重要度によってデジタル化を進めていく必要がある。	アカデミー推進課	区史担当・内線 2583
263	3-3-(3)	50	167	文京区史編さん事業	区制施行70周年を迎える平成29年の発行に向けて、区史(教育史を含む)の編さん作業及び写真集の作成を行います。	【平成26年度～】 ・文京区史写真集『写真で綴る「文の京」歴史と文化のまち』を3月15日に刊行 ・写真集の刊行を記念して、①3月16日に上映会及び講演会を開催。②3月15日～19日に写真パネル展を開催し、約2,200人が来場。	✓	-	-	-	・写真パネル展では、写真集に掲載できなかった写真も含め展示を行った。昔懐かしい写真や映像を見ることにより、郷土に対する関心と愛着を深めることに繋がった。 ・写真集をできるだけ多くの方に手にとっていただくため継続的な広報活動を行う必要がある。	アカデミー推進課	区史担当・内線 2583
264	3-3-(3) 4-1-(2) 4-2-(2)	50		歴史的建造物の活用	歴史的建造物(国登録有形文化財)であり、樋口一葉にもゆかりのある旧伊勢屋質店について、所有者である跡見学園女子大学と協働して、建物内部の公開事業を行います。あわせて周辺の観光・まちあるき情報などを提供します。	一葉忌(11月23日)並びに原則土・日曜日に、跡見学園女子大学の協力を得て、旧伊勢屋質店の一般公開を行いました。 年間来館者数:4,572人	✓	-	✓	✓	効果:多くの方に文京区ゆかりの文豪にまつわる施設を見学していただくことが出来ました。 課題:施設の公開にとどまらない活用方法について検討の余地があります。	アカデミー推進課	観光担当・2585



【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
265	3-3-(3)	50		指定文化財等の保護・保存と管理	文化遺産等の維持・保全と活用のため①～③を行います。 ①国・都・区指定文化財を保護するためにその修理事業に対して補助金を交付するとともに区指定文化財に対して奨励金を交付します。 ②区指定文化財を調査・記録し、保護に努めます。 ③区内の文化財を広く区民に周知するとともに、区民の文化財に対する理解と認識をうながすため、文化財・坂道標示板の維持管理及び新設を行います。	①国・都・区指定文化財を保護するための修理事業等について補助金を交付し、区指定文化財に対しては奨励金を交付した。 ②区指定文化財のパトロールを実施しなかった。 ③文化財・坂道標示板の維持管理及び新設を行った。	✓	-	-	-	①国・都・区指定文化財を保護するための修理事業等を申請してきた所有者等については補助金を交付し、区指定文化財に対しては奨励金を交付した。 ②区指定文化財の調査等を行っていく。 ③文化財及び坂道標示板の維持管理及び新設を今後も行っていくが、英語の標記も考えていく必要がある。	教育総務課	教育総務課・文化財保護係・内線3604
266	3-3-(3)			フィルムライブラリー	映像資料を収集・保存し、調査研究や鑑賞会を行います。	・シビックシネマサロン(月例上映会) 12回 入場者875人 ・シビックシアター★トークショー(特別上映会) 1回(11月) (参加者80人 定員100人 応募者98人)	✓	-	-	-	・月例上映会は定着していますが、内容によって入場者数にバラつきがあります。 ・16ミリフィルムの保存と映写機のメンテナンスが課題です。	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー庶務係・内線4004
267	3-3-(3) 4-1-(1)	54		まち並みウォッチング	まちあるきにより、身近なまちの景色の中にある史跡、緑、坂など、文京区らしい景観を見つけます。	【平成11年度～】毎年実施(平成25年度より2回/年) ①平成28年度は景観連続講座「景観を学ぼう!!」と題し講演会(H28.3.16)とまち歩き(H28.4.23)を実施、参加者32名 ②親子景観連続講座「親子で風景あつめ隊」と題し、まち歩き(H28.7.30)と作品鑑賞(H28.8.20)を実施、参加者4組	-	✓	-	✓	まち並みウォッチング事業は毎回応募者多数の状況である。課題としては、①ご高齢の参加者が多いため、より幅広い層の区民等が参加できるように事業開催の広報・周知の仕方を工夫する必要がある。②景観形成についての啓発を次世代を担う子供たちへ広めるため、事業参加の募集方法を工夫していく。	住環境課	景観担当・内線2907
268	3-3-(3) 新規追加			まち歩きワークショップ	区、大学、CATV等が連携し、区民参加による名所発見と共有のためのワークショップを行います。	【平成28年度～】 「あなたの名所ものがたり 本郷編」第1回:10月29日 参加者:4名 第2回:11月26日 参加者:10名 会場:東京大学 ※東京大学との協働事業、広報課CATV番組制作、事業成果のHP公開	✓	✓	✓	✓	・東京大学の協働により、大学の研究成果を活かし、参加者も楽しく満足感を得られる事業となった。 ・初の試みで、事業内容がわかりづらかったためか、参加者が少なかった。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
269	3-3-(3) 4-1-(1)	54		文の京都市景観賞	優れた景観づくりに貢献している建物や広告物、まち並みなどを一般の方々から広く募集し、都市景観賞として表彰します。	【平成13年度～】平成28年度で16回の開催を迎えた事業。①景観創造賞 ②ふるさと景観賞 ③景観づくり活動賞 ④景観広告賞の4部門を設けて作品(写真)を募集、景観づくり審議会にて選考し、表彰を行う。 平成28年度受賞物件は、①景観創造賞:野菜倶楽部 oto no ha café ②ふるさと景観賞:葉月の間夜と傳通院 ③景観づくり活動賞:西片町会『西片だより』創刊号～700号 ④景観広告賞:岡埜栄泉、応募総件数は151件と過去最多であった。	-	✓	-	✓	ここ数年応募件数は増加傾向であるが、ご高齢の方からの応募が多く、より幅広い層からの応募を増やすように広報・周知の方法を工夫する必要がある。また、受賞物件に対し、質の向上を目指し、魅力のある賞となるようにインセンティブを検討する必要がある。	住環境課	景観担当・内線2907
3 文化芸術 3.「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり (4)文化資源に関する情報収集・整理と発信													
270	3-3-(4) 4-1-(3)	51		文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミュージアムネットワーク)として連携し、各施設の特徴や個性を発信します。	・ミュージアムマップの作成、配付 日本語版30,000部の他に、今回から英語版5,000部を新たに作成した。 区内外ともに観光客が多く集まる場所に幅広く配布している。 ・合同イベント(ミュージアムフェスタ)の開催 日時:平成28年12月15日(木)午前10時～午後6時 会場:展示室I 来場者:674名	✓	✓	✓	✓	効果:ミュージアムマップの地図面をイラスト調から国土地理院の地図に変更し、施設までの案内を実用性のあるものに変更するとともに、英語版のマップを作成することにより、外国人観光客向けの案内を強化することができました。 課題:今後より一層の多言語化を進める必要があります。	アカデミー推進課	文化事業係内線3645～7
271	3-3-(4)	51		コンピューターによる館内閲覧システム	文京ふるさと歴史館の館内閲覧システムにより、本区の豊富な文化遺産の情報を発信し、区民や研究者の調査・研究活動に資することを目指します。	【平成3年度～】 閲覧コンテンツ『地図で探検する』『坂道』約120頁 データ登録、入替、訂正、リンク更正 『町並みの移り変わり』定点観測写真データ(平成27年度分 約350件)登録	✓	-	-	✓	・開館以来稼働するシステムであり、時代や機器に合わせた更新を行うことで、新たな情報の提供や、利用者の利便性を高める効果を得られる。今後も順次コンテンツの更新を行う。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
272	3-3-(4)	51		文京ふるさと歴史館だより・年報の発行	文京の歴史・文化に関する情報や、歴史館の事業、調査研究成果等について周知します。	【平成6年度～】年1回 歴史館だより:第23号 6,000部発行・配布 年報:第19号(平成27年度) 500部発行・配布	-	-	-	✓	・歴史館事業の内容や成果をわかりやすく伝える手段として「たより」は有効である。ホームページでPDF版も公開している。	アカデミー推進課	文化資源担当室・内線3610
273	3-3-(4)	51		森鷗外記念館ニュース・年報の発行	森鷗外や文学に関する情報、記念館の事業、調査研究成果等について周知します。	【平成24年度～】 館報:①6月発行 館報(NEWS) No.15 ②9月発行 館報(NEWS) No.16 ③12月発行 館報(NEWS) No.17 ④28年3月発行 館報(NEWS) No.18 各号6,000部 年報:6月20日発行「年報 第4号(平成27年度)」	-	-	-	✓	・館の活動や資料の報告を伝える媒体として活用できた。また関係各所との交流手段としても効果的な運用ができた。 ・館の情報発信媒体として、さらに効果的に活用していくため、内容や配布方法も再検討をしていきたい。	アカデミー推進課	森鷗外記念館(文化資源担当室・内線3610)
4 観光 1. 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出 (1)文京区の魅力や個性につながる新たな資源の発掘													
274	4-1-(1) 4-2-(1) 4-3-(3)	54 181		観光ボランティアガイド事業	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成し、まちあるきコースの開発と案内を行います。	・ガイド:33名 ・定例8コースの予約ガイド、「文の京ガイドツアー」、まつりでのガイド等の実施 計107回、参加者1,456人 ・全5回の研修活動 ・観光ガイドリーフレット「文の京の旅」の発行・配布	✓	✓	✓	✓	効果:区の観光資源の魅力を観光客等に対し広く伝えることができました。 課題:一定の量を身につけた観光ガイド数を増やすとともに、新たなテーマのまちあるきコースの開拓等を行い、区の魅力の一層の掘り起しが課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線2587

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
275	4-1-(1)	54		観光写真コンクール	文京区観光協会において区内の名所・旧跡などの歴史文化遺産や花の五大まつりなどの風物詩、現代のまちの表情を広く紹介する観光写真コンクールを実施します。	第55回観光写真コンクールの開催 ・応募者121人、応募点数402点 ・入賞作品40点 ・観光写真展 会期 11月11日～14日 入場者数 782人	✓	✓	✓	✓	効果:コンクール応募者及び写真展来場者に区の新しい観光資源を発見してもらうことができたとともに、入賞した作品を区の観光PRポスター制作に活用するなど、区の魅力の発信手法の幅を広げることができました。 課題:近年応募数が減少傾向にあることから、より多くの方に興味をもってもらえるような事業内容への見直しが必要となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2585
276	4-1-(1) 4-3-(1)	54		新江戸川公園周辺地域の魅力創出事業	歴史性を生かした施設改修を進めている新江戸川公園をはじめ、周囲の文化・観光施設等と連携し、目白台・関口地域の観光客誘致施策を進めます。	【アカデミー推進課】 永青文庫・夏季展『歌仙兼定登場』(会期:7月9日～10月2日)に合わせ、展示品の一つである「刀 濃州関住兼定作」(通称:歌仙兼定)に因んだ「刀剣乱舞-ONLINE-」と文京区とのコラボレーションを実施しました。 (1)「刀剣男士 歌仙兼定」等身大パネル等の展示 細川家ゆかりの施設である新江戸川公園「松聲閣」で『刀剣男士 歌仙兼定』の等身大パネル・記念イラストを展示しました。 ①展示期間:7月9日(土)～9月19日(月・祝) ②期間中総来場者数:約12,000人 (2)「～歌仙兼定と行く～目白台・関口の雅を巡るスタンプラリー」の実施 ①実施期間:8月20日(土)～9月19日(月・祝) ②ポイント:ホテル椿山荘東京・関口芭蕉庵・江戸川橋地蔵通り商店街・印刷博物館・鳩山会館・講談社野間記念館・日本女子大学成瀬記念館 ③景品引換え人数:6,310人 【みどり公園課】平成28年度 自主事業として、永青文庫と夏季企画展「歌仙兼定登場」とのコラボ企画として「刀剣体験講座」を実施 自主事業として、秋の紅葉シーズンにおける観光推進のため、周辺施設と連携し来園者の誘致を図る「秋の観光推進イベント」を実施 (合計13の自主事業を実施)	✓	-	✓	✓	【アカデミー推進課】 効果:近年ブームとなっているオンラインゲーム及び刀剣の愛好者を中心として当該事業が話題を集めるとともに、スタンプラリーを行うことにより、ポイント箇所への来場者が大幅に増加するなど多くの方が新江戸川公園周辺地域を訪問するきっかけとなりました。 課題:この事業により訪れていただいた区内の施設・観光スポットに再度訪問していただけるよう、積極的な情報発信を続けていく必要があります。 【みどり公園課】 指定管理者である肥後細川庭園パークアップ共同体(旧:新江戸川公園パークアップ共同体)の自主事業により伝統工芸、文化のPRと周辺施設への観光推進を図った。引き続き協力を行い、肥後細川庭園及び周辺施設のPRと住民サービスの向上を推進していく。	アカデミー推進課 みどり公園課	アカデミー推進課 観光担当・内線 2587みどり公園 課管理係・内線 3051
277	4-1-(1)			石川啄木終焉の地歌碑・顕彰室設置・運営	文京区ゆかりの文人(歌人)である石川啄木を顕彰するため、その終焉の地である小石川五丁目にて啄木の歌碑及び顕彰室を設置・運営する。	石川啄木に関するパネル等の資料展示を行い、直筆原稿の複製については展示替えを行いました。 年末年始及び特別閉室時を除く毎日午前9時から午後5時まで開室し、約2,590名の方に来室いただきました。	✓	✓	✓	✓	効果:石川啄木の足跡を、写真やパネル、年表等で紹介し、その魅力を伝えることができました。 課題:引き続き石川啄木の魅力及び施設情報の発信を行います。また、施設内における各種観光リーフレットの配架も充実させる必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
278	4-1-(1) 新規追加			展望ラウンジ観光拠点化事業	文京シビックセンター25階展望ラウンジという区の魅力的な施設の新たな活用方法を見出し、観光スポットとしてのプレゼンスを向上することを目的としたイベント等を実施する。	25階展望ラウンジにおいて、以下のとおり初めてお酒を楽しめるイベントを実施しました。 イベント名称:Sky View Lounge BAR 日時:11月18日～20日 内容:区観光土産推奨品に選ばれた区内ビール製造企業等と連携し、ビール、ワイン、おつまみ等を夜景とともに楽しめるイベント。 来場者数:約3,800名 来場者満足度:約95パーセント	✓	-	✓	-	効果:3日間で3,800人という多数の来場者数を獲得できたことに加え、新聞等のメディアにも複数取り上げられたことで、展望ラウンジの魅力について多方面にPRすることができました。 課題:来場者アンケートの結果、各種イベント、特に今回のようなお酒を楽しめる飲食イベントの実施を希望する声が多く、今後展望ラウンジのさらなるPRとともに、イベント開催の在り方などを検討する必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
4 観光 1. 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出 (2)「文の京」ならではの魅力向上と新たなストーリーの展開													
279	4-1-(2)	55		新江戸川公園の改修	旧熊本藩細川家の下屋敷・抱屋敷であった新江戸川公園について、歴史性を生かした改修を行います。	【アカデミー推進課】 永青文庫・夏季展『歌仙兼定登場』(会期:7月9日～10月2日)に合わせ、展示品の一つである「刀 濃州関住兼定作」(通称:歌仙兼定)に因んだ「刀剣乱舞-ONLINE-」と文京区とのコラボレーションを実施しました。 (1)「刀剣男士 歌仙兼定」等身大パネル等の展示 細川家ゆかりの施設である新江戸川公園「松聲閣」で『刀剣男士 歌仙兼定』の等身大パネル・記念イラストを展示しました。 ①展示期間:7月9日(土)～9月19日(月・祝) ②期間中総来場者数:約12,000人 (2)「～歌仙兼定と行く～目白台・関口の雅を巡るスタンプラリー」の実施 ①実施期間:8月20日(土)～9月19日(月・祝) ②ポイント:ホテル椿山荘東京・関口芭蕉庵・江戸川橋地蔵通り商店街・印刷博物館・鳩山会館・講談社野間記念館・日本女子大学成瀬記念館 ③景品引換え人数:6,310人 【みどり公園課】平成28年度 ・「肥後細川庭園」への名称変更を実施 ・新江戸川公園庭園改修工事(第二期)の実施 ・南側道路整備の実施 ・秋の紅葉ライトアップ～ひごあかり～の実施 ・「肥後細川庭園」披露式典の実施	✓	-	✓	✓	【アカデミー推進課】 効果:近年ブームとなっているオンラインゲーム及び刀剣の愛好者を中心として当該事業が話題を集めるとともに、スタンプラリーを行うことにより、ポイント箇所への来場者が大幅に増加するなど多くの方が新江戸川公園周辺地域を訪問するきっかけとなりました。 課題:この事業により訪れていただいた区内の施設・観光スポットに再度訪問していただけるよう、積極的な情報発信を続けていく必要があります。 【みどり公園課】 新しい名称により細川家の庭園としてイメージしやすくなった ・道路整備により、歩行空間の連続性確保や景観向上が図れた。 ・広場の整備により、能やライトアップなどのイベント開催が可能となった。 ・秋の紅葉ライトアップ～ひごあかり～は好評で、区の代表的な観光イベントとして確立した	アカデミー推進課 みどり公園課 道路課	アカデミー推進課 観光担当・内線 2587みどり公園 課計画担当・内 線3060道路課整 備工事係・内線 3036



【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線		
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4					
280	4-1-(2) 4-2-(2)	55		文の京ゆかりの文人支援事業	文京ゆかりの文人を顕彰し、もって地域と文化の振興を図るため、地域の民間団体等が行う事業の運営を補助します。		11月23日に行われた「一葉忌」事業に対し、補助金を交付しました。また、区HP等により当該事業に関するPRを行いました。	✓	✓	✓	✓	効果: 本区ゆかりの著名な文人である樋口一葉を顕彰するとともに、本区との密接な関係性を広く周知することができました。 課題: 引き続き広範な事業周知に協力する必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
281	4-1-(2) 4-1-(4) 5-2-(1)	55	(178)	食の文京ブランド100選	「食の文京ブランド100選」実行委員会で、区民他から公募により魅力ある区内の食の名店を選定し、多言語のリーフレット、ホームページ等を通じてPRします。		「食の文京ブランド100選2016-2018」の選定内容の周知を目的として、選定対象店舗による「食べ歩きスタンプラリー」を行いました。	✓	✓	✓	✓	効果: 平成27年度に改定を行った内容を改めて周知できました。また、スタンプラリー形式を導入することで、多くの方が複数の店舗を訪れる契機とすることが出来ました。 課題: 参加する店舗の数が伸び悩んでいることから、より多くの店舗が参加する事業内容を検討する必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
282	4-1-(2) 4-2-(2)	55		文の京ゆかりの文人銘菓	平成24年度「森鷗外生誕150年記念事業」として区内の菓子店に協力をいただき、文京区ゆかりの代表的な文人たちにちなんだお菓子を創作していただき、文京区の土産品として販売しています。		・PR用リーフレットを更新し、商品のPRとともに区内のまちあるきコースを掲載しました。 ・イベント(文京博覧会、国際交流フェスタ、区民年賀会)等の機会を利用した販促支援を行いました。	-	-	✓	✓	効果: 観光客による、本区ゆかりの代表的な文人ゆかりの地や周辺施設等への周遊につなげることができました。 課題: よりPR効果の高い販売機会の提供を行うことが課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2585
4 観光 1. 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出 (3) 区内の回遊性を向上させる誘導の環境づくり														
283	4-1-(3) 4-1-(4) 5-2-(1)	56		観光リーフレット作成	区内観光施設及び名所・旧跡を紹介する日本語版及び外国語版のリーフレットを作成し、積極的に観光客を誘致する。		シビックセンター1階観光インフォメーション及び25階展望ラウンジ並びに東京シティアイ等での配架のほか、区内観光関連施設や宿泊施設等での配布を行うとともに、まつり等のイベントで来場者に配布しました。 <作成部数> ・おさんぼくん 日本語版80,000部、英語版10,000部、中国語版(簡体字)5,000部、中国語版(繁体字)5,000部、ハンゲル版3,000部を作成 ・おいしゅうございマップ 日本語版32,000部、英語版4,000部を作成	✓	✓	✓	✓	効果: 区内外の観光関連施設等に配架することで、施設等来場者に対し本区観光の情報発信を行うことが出来ました。 課題: 外国人観光客の増加に対応するため、効果的な配布先を精査していく必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
284	4-1-(3)	56		コミュニティバス「Bぐる」運行事業	コミュニティバスを運行し、区民等の利便性向上や地域の魅力・活力を引き出します。		28年度利用客数 千駄木・駒込ルート: 505,211人(前年度比: +0.8%) 目白台・小日向ルート: 443,779人(前年度比: -0.2%)	✓	-	-	-	年間の利用者数は横ばいになってきているので、観光客等に目を向けさらに周知を行っていく必要がある。	区民課	庶務係・内線 2403
285	4-1-(3) 4-3-(2)	56		区内統一案内標識整備	ガイドライン「文京区案内標識等統一化計画」に基づき、標識内に設置場所付近の観光関連施設等の情報を掲載する。 ※設置は道路課主管で行う。		【平成28年度】 関口・目白台・音羽地域、本駒込地域 統一案内標識設置 : 15基 既設案内標識撤去 : 16基	-	-	✓	-	本区で設置している観光スポットの画像付きの観光案内標識は、観光まちあるきの促進に効果的である。本区を訪れた観光客に、本区の魅力や見どころとなる多種多様な観光スポットをより深く知ってもらうことが可能となり、観光客の本区での滞在時間や今後のリピーター客の増加が期待できる。	道路課	改良工事係・内線 3034
286	4-1-(3) 4-3-(1) 新規追加			自転車シェアリング事業	自転車シェアリング事業実証実験(一定の地域内に複数設置されたサイクルポートにおいて、専用の自転車を自由に貸出・返却できるネットワーク型自転車共有システム)		【平成28年度】 サイクルポート25カ所整備・電動アシスト付自転車200台配備・無人登録機2台設置 対象地域: 区内全域及び千代田区・中央区・港区・新宿区・江東区との行政区域を超えた広域的な相互乗入れによる実証実験を開始	✓	-	-	✓	自転車シェアリング事業の本格導入に向け、利用状況、交通行動の変化等の調査による公共的な交通手段として定着する可能性等を検証する。	管理課	交通安全係・内線 3008
4 観光 1. 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出 (4) 文京区の魅力や個性を伝える仕組みづくり														
287	4-1-(4) 4-2-(1)	57	180	観光インフォメーション	シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報提供や案内を行います。		年末年始及びシビックセンター休館日を除く毎日午前9時30分から午後6時まで開所し、電話や窓口における観光相談や観光案内を行いました。 来所者数 24,034人 相談件数 8,043件	✓	✓	✓	✓	効果: 来訪者や電話の問い合わせに対して、最新の情報を迅速かつ適切に提供することができました。 課題: 相談件数の増加に対応するため、ホームページ等を活用した情報発信の強化が課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
288	4-1-(4)	57		観光PRポスター作成	観光PRポスターを作成し区外の地下鉄駅や東京シティアイ等に掲出することで、区内への観光客誘致及び区のイメージアップを図ります。		観光写真コンクール入賞作品等を活用し、観光PRのためのB1サイズポスターを作成しました。区内外観光関連施設等に加え、本区内に乗り入れする地下鉄路線における、乗降客上位に位置する区外37駅の構内に新たに掲出し、広く観光PRを行いました。	✓	✓	✓	✓	効果: 観光写真コンクール受賞作品を活用した区の観光PRポスターを作成し、特に区外施設等へ多数掲出することで、区外からの観光客に文京区の魅力を伝えることができました。 課題: 観光PRのためのより効果的な掲出先を引き続き検討し、質の高い情報発信に努める必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
4 観光 2. 情報の収集・活用による来訪の促進 (1) 区内外における文京区の観光ニーズの把握														
289	4-2-(1) 4-3-(1)	58	187	国内交流事業	他自治体との文化、観光、商業等に関する交流や様々な情報発信を通じて、互いの地域の活性化を図るとともに、魅力を高め合う。		【文京区国内交流・連携事業補助金の交付実施】 ・対象事業 区と協定等を締結している自治体において実施される住民相互交流事業 ・補助額 補助対象経費に1/2を乗じた額で100千円を上限 ・交付実績 10団体、913,188円 【熊本県上天草市と相互協力協定の締結】 互いの地域内に「湯島」という地名があることを縁として、住民の交流が行われてきたことを契機に相互協力に関する協定を締結した。(平成29年2月17日)	✓	-	✓	-	【文京区国内交流・連携事業補助金】 ・特別区全国連携プロジェクト関連事業助成金を活用し、単年度事業として実施。 ・住民同士の交流事業を対象としており、特にスポーツに係る交流についての申請が多かった。 【熊本県上天草市と相互協力協定の締結】 ・両都市の友好親善をさらに深め、観光・産業・防災分野など多方面における協力関係を構築することで、様々な場面での連携・協力を展開していくことを約束した。	区民課	庶務係・内線 2403

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績	目標	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線
							1	2	3	4			
4 観光 2. 情報の収集・活用による来訪の促進 (2)文京区の地域ブランド力向上													
再掲	3-3-(3) 4-1-(2) 4-2-(2) No.264参照	50		歴史的建造物の活用	歴史的建造物(国登録有形文化財)であり、樋口一葉にもゆかりのある旧伊勢屋質店について、所有者である跡見学園女子大学と協働して、建物内部の公開事業を行います。あわせて周辺の観光・まちあるき情報などを提供します。	一葉忌(11月23日)並びに原則土・日曜日に、跡見学園女子大学の協力を得て、旧伊勢屋質店の一般公開を行いました。 年間来館者数:4,572人	✓	-	✓	✓	効果:多くの方に文京区ゆかりの文豪にまつわる施設を見学していただくことが出来ました。 課題:施設の公開にとまらない活用方法について検討の余地があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
再掲	4-1-(2) 4-2-(2) No.280参照	55		文の京ゆかりの文人支援事業	文京ゆかりの文人を顕彰し、もって地域と文化の振興を図るため、地域の民間団体等が行う事業の運営を補助します。	11月23日に行われた「一葉忌」事業に対し、補助金を交付しました。また、区HP等により当該事業に関するPRを行いました。	✓	✓	✓	✓	効果:本区ゆかりの著名な文人である樋口一葉を顕彰するとともに、本区との密接な関係性を広く周知することができました。 課題:引き続き広範な事業周知に協力する必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
再掲	4-1-(2) 4-2-(2) No.282参照	55		文の京ゆかりの文人銘菓	平成24年度「森鷗外生誕150年記念事業」として区内の菓子店に協力をいただき、文京区ゆかりの代表的な文人たちにちなんだお菓子を創作していただき、文京区の土産品として販売しています。	・PR用リーフレットを更新し、商品のPRとともに区内のまちあるきコースを掲載しました。 ・イベント(文京博覧会、国際交流フェスタ、区民年賀会)等の機会を利用した販促支援を行いました。	-	-	✓	✓	効果:観光客による、本区ゆかりの代表的な文人ゆかりの地や周辺施設等への周遊につなげることができました。 課題:よりPR効果の高い販売機会の提供を行うことが課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2585
4 観光 2. 情報の収集・活用による来訪の促進 (3)効果的な双方向の観光情報発信													
290	4-2-(3)	60		パブリシティ	区内の様々な観光資源に関する情報をメディアに情報提供し、PR効果を向上させる工夫を行います。	文京花の五大まつりを中心に各種メディアへ観光情報の提供を行い、約70件のテレビ、雑誌等にて掲載がなされ、区の観光情報の広範な発信を行いました。	✓	-	-	-	効果:本区の観光の魅力について、メディアを通じ国内外問わず多くの方に発信することができました。 課題:掲載数の増とともに、よりPR効果の高いメディアに取り上げられるような工夫が必要です。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2585
291	4-2-(3)	60	179	フィルムコミッション事業	映像製作者を積極的に誘致し、ロケーション撮影を行うことで、メディアを活用した区の情報発信を行い知名度の向上を図るとともに、ロケ地見学などの観光客を誘致し観光振興を図ります。	ロケ撮影に関する相談件数:約140件 撮影成立件数:20件((ドラマ8件、映画1件、バラエティ番組7件、ドキュメンタリー2件、ミュージックビデオ1件、プロモーションビデオ1件)	-	-	-	✓	効果:テレビ番組等を通じ、本区の観光の魅力を広範に発信することで、本区の知名度が向上しました。また、ロケ地めぐりなどの直接的な観光振興につなげることができました。 課題:より発信力の高い番組へ撮影協力を行うことが課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
4 観光 2. 情報の収集・活用による来訪の促進 (4)活気ある交流の仕組みづくり													
292	4-2-(4)	61	183	花の五大まつり等助成	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。	・花の五大まつり(文京つつじまつり、文京あじさいまつり、文京菊まつり、文京梅まつり、文京さくらまつり) ・文京朝顔・ほおずき市 ・根津・千駄木下町まつり の各実行委員会に対し、事業実施にあたって補助金を交付しました。	✓	✓	✓	✓	効果:まつり期間中に複数回区HPやフェイスブック、ツイッターで花の開花やイベント情報を発信することにより、まつりの機運を盛り上げました。 課題:外国人向けの観光PRも拡充する必要がある中で、まつりへ実際に訪れる外国人観光客への対応や案内等の充実が課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2585
293	4-2-(4) 4-3-(3) 5-2-(1)	61	189	英語観光ボランティア	区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介します。	事業開始年度:平成19年度(財団法人文京アカデミー主催で開始、平成21年から区へ移管) ・登録ガイド数:30人 英語観光ガイドツアー ・4月2日 小石川後楽園 参加者 2人 ・4月24日 東京大学・根津 参加者 4人 ・5月16日 根津神社、谷根千界隈 参加者 24人 ・6月5日 小石川後楽園 参加者 4人 ・11月26日 湯島 参加者 5人 ・12月4日 小石川後楽園 参加者 2人 ・2月18日 湯島 参加者 2人 ・2月26日 小石川後楽園 参加者 5人 ・3月26日 護国寺 参加者 4人	✓	-	✓	✓	夏季シーズンを除き、花の開花やまつりに合わせて開催している。参加者の評判はよい。一方、課題は参加者数が少ないことが多く、外国人向け英語ツアーのニーズや手法の検討が必要である。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
294	4-2-(4) 4-3-(1)	61		広域連携事業	隣接区や共通の観光資源を有する自治体と相互に連携し、文京区というエリアにとられない広域的な観光振興を行います。	千代田区・台東区とともに「東京文化資源会議」に参画し、千代田区・台東区・文京区の有する文化資源についての情報収集並びに発信について取り組み、「湯島・神田・秋葉原めぐり」の作成、地図アーカイブ事業並びに地図カタログ事業を行いました。	✓	✓	✓	✓	効果:地域の持つ観光資源の魅力を区境に捉われることなく蓄積・発信することが出来ました。 課題:蓄積した情報が来訪者にとって有益なものになるよう、発信方法や内容の精査を行っていく必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2585
4 観光 3. 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり (1)観光を通じた区内外のネットワーク環境の構築													
295	4-3-(1)	62		観光協会振興助成	文京区観光協会の事業経費等の補助を行い、観光振興の発展と地域の活性化を図ります。	協会が実施したまつり等観光PR、観光PR誌発行、観光写真コンクール等の事業運営費及び事務局職員人件費、観光協会ホームページ改修に対する補助を行いました。	✓	✓	✓	✓	効果:本区への観光客誘致及び観光振興に係る経費を助成することで、事業内容が充実しました。 課題:どのような事業に対して助成を行うか、効果を確認した上で対象事業と額を決める必要があります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2587
296	4-3-(1)			他事業者の主催事業への協力	鉄道事業者主催のまちあるき事業などへ協力する。各種事業主催者への区内観光情報の提供、他部署・団体、観光施設などとの連絡調整の支援、リーフレット等の提供などを行う。	・シビックセンター大ホールを会場とした7月28日開催の「全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会」並びに11月16日・17日開催の「全国学校歯科保健研究大会」において、観光PRブースを出展し区内観光のPR・リーフレット類の配布等を行いました。 ・10月21日から30日開催のJR東日本主催まちあるきイベント「駅からハイキング」への協力を行いました。	-	-	✓	✓	効果:文京区で行われる各事業への参加者に区の観光情報を提供することが出来ました。 課題:文京区への再度の来訪に繋がるような、より効果的な情報提供が課題となります。	アカデミー推進課	観光担当・内線 2585



【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
4 観光 3. 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり (2)安全・安心で優しいまちを実現する環境づくりの推進													
297	4-3-(2) 5-2-(2)	63		わかりやすいまちの表示	案内標識やコミュニティバス「Bーぐる」、区有施設における多言語表記を進めます。	【区民課】28年4月作成のBーぐるルートマップの英語版を5000部作成し配布した。 Bーぐるバス停の英語表記を行った。 【道路課】平成28年度 統一案内標識設置 : 15基 既設案内標識撤去 : 16基	✓	-	✓	-	【区民課】英語版ルートマップをより効果的に利用してもらえるよう、作成部数及び配布場所を検討する。 【道路課】ピクトグラムや多言語表記によるわかりやすい的確な観光情報等を提供する標識を設置することにより、外国人や障害者、高齢者等を含む多くの方々に、安心・安全な観光まちあるきを楽しんでもらうことができ、本区の観光客に対するおもてなしの心を感じてもらえることができる。	区民課 道路課 アカデミー推進課	区民課庶務係・内線2403 道路課改良工事係・内線3034 アカデミー推進課観光担当・内線2587
298	4-3-(2)	63		防災対策での多言語対応	避難所プレートや防災啓発パンフレット等の多言語化、災害時専門ボランティアの通訳ボランティアの登録推進等により、防災対策における多言語対応を進めます。	避難所表示板の多言語化を行うとともに、防災啓発パンフレット外国語版の配付、災害時専門ボランティアの登録啓発を行った。	✓	✓	-	-	・外国人居住者に対し、防災意識の普及及び知識の向上を図ることができた。また、専門ボランティア登録制度を通じ、災害時の外国人避難者の受け入れ態勢を整備できた。 ・防災啓発パンフレット及び災害時専門ボランティア登録制度のより幅広い周知が必要である。	防災課	備蓄担当 内線: 2548・2553
299	4-3-(2)	63		バリアフリーの推進	高齢者、障害者や外国人観光客等が安全・快適に過ごせるよう、道路、公共施設、スポーツ施設等のバリアフリーを進めるため、文京区バリアフリー基本構想を策定します。	文京区バリアフリー基本構想重点整備地区別計画【都心地域・下町隣接地域】の策定。 策定に当たり、協議会3回、事業者説明会、まち歩きワークショップ2回及び心のバリアフリーワークショップ等を実施した。	-	-	-	✓	山の手地域(東部・中央・西部)における文京区バリアフリー基本構想重点整備地区別計画を策定する。また、計画に位置付けた特定事業を各事業者が実施するための費用の一部に対し補助金の交付等を行い、バリアフリー化を推進するとともに、計画の進捗状況を管理する。	都市計画課	都市計画担当・内線2905
4 観光 3. 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり (3)観光まちづくりにおけるホスピタリティの醸成													
300	4-3-(3)	64		外国人おもてなし隊育成事業	東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、区を訪れる外国人が安心して観光等できるよう、英会話初心者の方を対象に、語学ボランティア育成事業を実施します。	・「外国人おもてなし語学ボランティア講座」の実施(東京都共催) 実施回数 3回 平成28年7月16日 参加者58人 平成29年1月21日 参加者52人 平成29年3月18日 参加者56人 ・外国人おもてなし力 レベルアップ交流会 平成28年11月19日(土) 14:00~16:00 参加者(日本人・留学生)日本人:30人 留学生:17人	✓	✓	✓	✓	外国人おもてなし語学ボランティア講座は、都主催事業でも抽選倍率の高い事業であり、落選した区民から区での実施を喜んでいる声があった。区で実施する事業でも、落選する方は出ているので、事業回数を増やすことを検討する。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
301	4-3-(3) 新規追加			文京ウェルカム商店街	在住外国人や外国人観光客が安心して観光や買い物を楽しみ、区の魅力やおもてなしを感じられるよう、商店主を対象としたセミナーの開催や外国人対応を行おうとする店舗の販売促進の取り組みに対する支援等を行います。	外国人おもてなしセミナー 1回 文京ウェルカム商店街事業補助金交付 21件	-	✓	-	✓	今後の外国人訪問者の増加に向けたノウハウの提供ができ、店舗ツールの多言語化対応にも補助することができた。 補助金活用やセミナー受講者増に向けた周知が必要。	経済課	産業振興係・内線2452
5 国際交流 1. 国際理解を育む機会づくり (1)交流の機会の拡充													
302	5-1-(1) 5-1-(3) 5-2-(1)	68		地域連携活動事業	地域の行事や団体と連携して、外国人の方が日本の文化体験や日本人との交流を通じて、日本人や日本文化を理解できる環境づくりを行う。	・能楽鑑賞会への招待 実施日:平成28年7月31日 参加者数:8人 ・文京『英語落語』寄席&体験~英語で日本文化に触れ、交流しよう~ 実施日:平成28年10月15日 参加者数:32人 ・「文の京こどもまつり」(青少年健全育成会9地区合同事業)への参加(子ども向け英語コーナー) 実施日:平成28年11月13日	✓	-	✓	✓	区内の資源を活用して、日本文化を外国人に体験していただくとともに、区内の外国人に区の事業に参加していただき、外国人による地域参加を行いました。個々の外国人の事情や興味は様々である中、新鮮な気持ちで参加できる内容に工夫を続けることが課題である。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
303	5-1-(1)	68		国際理解教育の推進	全区立小・中学校の全学年にALT(外国語指導助手)を派遣して、進展する国際化に対応する教育を行います。	進展する国際化に対応するための教育を実施(13年度以降海外派遣事業休止)	-	✓	-	-	・英語教育が充実している。 ・今後は、小学校での英語教育が拡充されることから、ALTの派遣について、検討が必要である。	教育指導課	教育指導課 内線3541
304	5-1-(1)	184		国際理解推進講座	大学、事業者、国際交流団体等と連携し、様々なテーマによる国際理解を進める講座を開催し、文京区の国際化を推進します。	国際理解推進講座は平成27年度をもって終了					7の「生涯学習講座での国際理解推進」の一環として、公益財団法人文京アカデミーのアカデミア講座内で継続実施。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
305	5-1-(1)			トルコ共和国イスタンブール市ベイオウル区における防災対策事業	友好交流に関する覚書を締結しているトルコ共和国イスタンブール区に対し、JICA草の根技術協力事業を活用した防災対策事業を行う。	ベイオウル区職員の受入れを2回行い、2回目の受入れの際に、防災シンポジウムを実施した。また、ベイオウル区の防災対策指針及び区民向け防災パンフレット等の資料を作成した。【28年度事業終了】	✓	✓	✓	✓	ベイオウル区の防災知識の向上や災害対策の推進を図り、友好都市であるベイオウル区との交流をより深めることができた。	防災課	計画担当 内線2543・2544
5 国際交流 1. 国際理解を育む機会づくり (2)海外都市との交流の活性化													
306	5-1-(2)	69		姉妹都市との交流	カイザーслаウテルン市やベイオウル区については、公式訪問団の派遣・受け入れだけでなく、さらに交流を推進するための新たな手法を検討してきます。	・カイザーслаウテルン市 平成29年度当初事業、姉妹都市交流30周年記念事業区民ツアーの参加者募集を実施した。 (平成29年1月11日~3月3日) 旅行企画・実施:株式会社JTBコーポレートセールス 企画協力:文京区 ・ベイオウル区 JICA草の根技術協力事業により来日した公式訪問団と歓迎行事を行った。(10月31日・1月19日)	-	-	-	✓	カイザーслаウテルン市への区民ツアーは、募集人員が順調に集まったため開催が確定しました。一方、ベイオウル区については、現地の治安等の課題もあることから、交流推進の手法については慎重に検討していく必要があります。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588

【文京区アカデミー推進事業調査結果】

No.	体系No. 関連体系	頁	実施 計画	事業名	概要	28年度実績				特記事項(効果と課題)	担当課	担当係・内線	
						目標 1	目標 2	目標 3	目標 4				
307	5-1-(2)	69		海外都市との交流の活性化	これまで交流のなかった新たな都市も含めて、機会をとらえて積極的に海外都市との交流を行い、友好を深めるとともに、行政間の交流を区民にも広げ、さらに活性化させるよう取り組みます。	平成28年には、中国北京市通州区から訪問団が2回来日し、友好交流を深めました。 ・4月20日～21日 5人 ・1月11日 5人	-	-	✓	✓	通州区とはその後も連絡を取り合っており、今後の交流推進に向けて引き続き交流をしていきます。今後、この成果の先に区民交流が進展し、発展していくように工夫する必要があります。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
308	5-1-(2)	69	188	ホームステイ生徒交換事業	姉妹都市交流の一環として、隔年で中学生、高校生の派遣受け入れを実施しています。姉妹都市での生活体験を通じて、市民交流を図り、異文化理解を推進します。	・カイザースラウテルン市の生徒を受入した。 男性2名 女性2名 平成28年7月23日から8月4日まで(13日間) 区主催行事: 区長表敬訪問・昼食会 平成28年7月25日 区内・都内見学 平成28年7月28日	-	-	✓	-	生徒同士だけでなく、参加した家族ぐるみの交流が続いていると聞いており、姉妹都市交流の基盤としての効果が果たせている。一方、この成果を一般の区民に広げていくかが課題です。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
5 国際交流 1. 国際理解を育む機会づくり (3)国際理解に向けた情報の収集・発信・共有													
309	5-1-(3)	70		区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業を後援等することで、情報を広く発信していきます。	後援名義: 文京学院大学:第29回「国際理解土曜セミナー」 文京学院大学:第30回「国際理解土曜セミナー」 跡見学園女子大学日本スコットランド交流親善事業	-	✓	✓	✓	区内の大学の様々な活動を後援することで、区民に情報を広く発信することができました。今後も区の協力できる部分はまだあると考えられるので、機会を捉えて各種団体とも連携を深める必要がある。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
5 国際交流 2. 外国人が快適に過ごせる環境づくり (1)区の資源を活用した、歴史文化等への理解の推進													
310	5-2-(1)	71		文京区紹介映像多言語版の公開	タイトル「ようこそ文の京へ」約12分。英語、中国語、ハングル版を作成し、ホームページでも公開しています。	引き続き、ホームページにおいて、紹介映像の公開を行っている。	✓	✓	✓	✓	海外からの来訪者に対し、文京区を知っていただくツールとなっている。現在の3カ国語以外については、他の広報手段でどのように対応するかにあわせて検討する必要がある。	広報課	CATV担当・2126
5 国際交流 2. 外国人が快適に過ごせる環境づくり (2)外国人の生活・滞在に対する支援													
311	5-2-(2)	72		外国人の日常生活支援のための多言語化	行政文書多言語化サポート事業を活用し、区役所の行政文書等の多言語化を進めます。	多言語化サポート事業 対応言語:英語・中国語(簡体字・繁体字)・ハングル 戸籍住民課:各種担当窓口案内・文京区から転出される方へ・異動届 国保年金課:国民健康保険料通知書・国民健康保険料納付書・国民健康保険に加入した方へ 広報課:文京区対訳表の更新	✓	-	-	-	外国人の区民生活での基本的な情報提供に資する範囲の多言語化が実施できました。今後は、それ以外の分野での基本的な生活に関わる書類の多言語化を進めるとともに、対応言語についても実態も踏まえて検討する必要があります。	アカデミー推進課	国際交流担当 内線2588
312	5-2-(2)	72		通訳クラウドサービス活用による外国人相談等	区民相談員が行政情報センターにてタブレット端末での通訳クラウドサービスを活用して、外国人相談を行います。また、区役所内において、同端末を利用し、行政サービスの案内を行います。	【外国人相談件数 12件】 (内タブレット使用件数 10件) ※他に区役所内窓口におけるタブレット使用件数 244件	✓	-	✓	-	・外国人住民等にも広く充実した行政サービスを提供できる。 ・年度初めの繁忙期にはオペレーターに繋がらないということも多々あった。	広報課	公聴・相談担当・ 内線2125
313	5-2-(2)	72		図書館における外国語の新聞・雑誌の提供	区立図書館で、英語、中国語、ハングルなどの新聞、雑誌、外国語図書を購入手、閲覧や貸し出しに応じています。	一般書:213冊、児童書(絵本):65冊を新たに購入。 YA(10代の利用者)向けに英語の絵本の展示を実施。	✓	-	-	-	・資料を充実させるとともに、利用につなげる工夫をする。	真砂中央図書館	サービス事業係・ 内線3624
314	5-2-(2)			配布物の多言語化	スポーツセンター及び総合体育館のトレーニングルームとプールの利用案内を英訳した英語版を配布。	スポーツセンター・総合体育館において、対象者に利用案内の英語版を配布した。	✓	✓	-	-	日本語が不得意な区内在住・在勤・在学の外国人に対し、施設利用について案内ができた。利用案内以外についても、英語対応の検討を行う。	スポーツ振興課	施設等担当・内 線2594
315	5-2-(2)			配布物の多言語化	「ごみと資源の分け方・出し方」の英語版、中国語版、ハングル版を作成して配布。	英語版・中国語版・ハングル版を各1,000部ずつ配布	✓	-	-	-	・転入者の外国人に配布することで、ごみ分別の周知に役立っている。 ・転入者以外の外国人に対して、今後どのように配布及び周知していくかが課題である。	リサイクル清掃課	清掃事業係・内 線2561
316	5-2-(2)			わかりやすいホームページの構築	インターネットによる情報提供の一層の充実を図るとともに、自動翻訳機能を使った多言語での情報提供を行います。	ホームページ・SNSの安定運用を図るとともに、アクセシビリティ及びユーザビリティの品質確保・向上のための職員研修、アクセシビリティに関するJIS規格に準拠した試験及び結果の公表を行った。	✓	✓	✓	✓	誰にとっても情報を得やすいインターネット環境となる。 アクセシビリティ等の確保については常に意識して運用を行うことが必要である。	広報課	報道・ホームペ ージ担当・2123
317	5-2-(2)			外国語版母子手帳の配布	英語、中国語、ハングルの3か国語の母子手帳を配布。	交付件数:49件	✓	-	-	-	・日本語の分からない区民の方々に母子保健制度を深く理解してもらえた。 ・英語、中国語、ハングルの3か国語以外の外国語版母子手帳は配布していないため、他の言語についても配付検討が必要である。	健康推進課	保健係・内線 2832
318	5-2-(2)			日本語指導員の派遣	英語圏以外の、日本語指導が必要な児童、生徒に母国語の日本語指導員を派遣しています。	児童19名、生徒11名に対し、延べ30人の日本語指導員を派遣	✓	✓	-	-	・子どもたちにきめ細かく支援できている。 ・人材を安定的に確保し、供給することが難しい。また、特定の言語のニーズが高く、言語が多様化している。	教育指導課	教育指導課 内線3541

## 文京区アカデミー推進本部構成員名簿（庁議構成員）

	職 名	氏 名	
1	本 部 長	成 澤 廣 修	区 長
2	副本部長	瀧 康 弘	副 区 長
3	副本部長	南 新 平	教 育 長
4		吉 岡 利 行	企 画 政 策 部 長
5		渡 部 敏 明	総 務 部 長
6		八 木 茂	危 機 管 理 室 長
7		林 顕 一	区 民 部 長
8		田 中 芳 夫	ア カ デ ミ ー 推 進 部 長
9		須 藤 直 子	福 祉 部 長 (福 祉 事 務 所 長 兼 務)
10		椎 名 裕 治	子 ど も 家 庭 部 長
11		石 原 浩	文 京 保 健 所 長 (保 健 衛 生 部 長 兼 務)
12		中 島 均	都 市 計 画 部 長
13		中 村 賢 司	土 木 部 長
14		松 井 良 泰	資 源 環 境 部 長
15		鵜 沼 秀 之	施 設 管 理 部 長
16		山 本 育 男	会 計 管 理 者
17		久 住 智 治	教 育 推 進 部 長
18		野 田 康 夫	監 査 事 務 局 長
19		佐 藤 正 子	区 議 会 事 務 局 長
20		加 藤 裕 一	企 画 政 策 部 参 事 (企 画 課 長 事 務 取 扱)
21		新 名 幸 男	企 画 政 策 部 財 政 課 長
22		久 保 孝 之	企 画 政 策 部 広 報 課 長
23		石 嶋 大 介	総 務 部 総 務 課 長
24		松 永 直 樹	総 務 部 職 員 課 長

## 文京区アカデミー推進本部設置要綱

18 文区ア第 33 号平成 18 年 4 月 1 日区長決定

21 文アア第 5 号平成 21 年 4 月 1 日改正

24 文アア第 821 号平成 24 年 4 月 1 日改正

26 文アア第 313 号平成 26 年 4 月 1 日改正

28 文アア第 418 号平成 28 年 4 月 1 日改正

### (設置)

第 1 条 文京区アカデミー推進計画に係る施策を総合的に推進するため、文京区アカデミー推進本部（以下「推進本部」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第 2 条 推進本部の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 文京区アカデミー推進計画の策定等に関すること。
- (2) 文京区アカデミー推進計画の推進に係る諸施策の調整等に関すること。
- (3) 文京区アカデミー推進計画の進行管理に関すること。
- (4) その他、文京区アカデミー推進計画推進のための重要な事項の決定

### (構成)

第 3 条 推進本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって構成する。

- 2 本部長は、区長とし、推進本部を総括する。
- 3 副本部長は、副区長及び教育長の職にある者とし、本部長に事故あるときは、あらかじめ本部長が指定する副本部長がその職務を代理する。
- 4 本部員は、文京区庁議等の設置に関する規則（平成 6 年 3 月文京区規則第 10 号）第 4 条第 1 項に規定する者（ただし、前 2 項に定める者を除く。）とする。

### (運営)

第 4 条 推進本部は、本部長が招集する。

- 2 本部長は、必要があると認めたときは、本部員以外の者に推進本部への出席を求めることができる。

### (幹事会)

第 5 条 推進本部に幹事会を置く。

- 2 幹事会は、別表に掲げる者をもって構成する。
- 3 幹事会は、推進本部に付議する事案について必要な事項を検討し、推進本部に報告する。
- 4 幹事会は、前項の検討を進めるために検討部会を設置することができる。
- 5 幹事会に会長を置き、アカデミー推進部長の職にある者をもって充てる。
- 6 幹事会は、会長が招集する。
- 7 その他幹事会に関して必要な事項は、会長が定める。

(庶務)

第6条 推進本部及び幹事会の庶務は、アカデミー推進部アカデミー推進課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、推進本部の運営に関し必要な事項は、本部長が定める。

付 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

別 表 (第5条関係)

所 属	職
アカデミー推進部	アカデミー推進部長
企画政策部	企画課長
企画政策部	財政課長
企画政策部	広報課長
区民部	区民課長
区民部	経済課長
アカデミー推進部	アカデミー推進課長
アカデミー推進部	観光・国際担当課長
アカデミー推進部	オリンピック・パラリンピック推進担当課長
アカデミー推進部	スポーツ振興課長
福祉部	福祉政策課長
福祉部	障害福祉課長
都市計画部	都市計画課長

教育局教育推進部	教 育 総 務 課 長
教育局教育推進部	教 育 指 導 課 長
教育局教育推進部	児 童 青 少 年 課 長
教育局教育推進部	教 育 セ ン タ ー 所 長
教育局教育推進部	真 砂 中 央 図 書 館 長